Ⅴ　教育の内容と方法

1　教育学部各課程のカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシー

1-1　カリキュラム・ポリシー

全学のカリキュラム・ポリシーに即しながら、教育学部のディプロマ・ポリシーで示す教育目標を達成するためのカリキュラム・ポリシーを以下に示す。

①（体系的教育課程編成）全学の基盤教育科目と整合させながら、教育職員免許法に示す各種教員免許取得のための専門科目を４年一貫で体系的に編成する。

②（専門的知識・技能と主体的な学習）講義、演習、実技においては、専門知識・技能の基礎を習得させるとともに、学校や子どもを巡る教育問題を把握し、課題解決のための思考力、判断力、表現力を育むアクティブ・ラーニング科目を充実させる。

③（地域を志向する実践力）初年次から地域の学校現場と関わり、教員を目指す意欲を高めながら３，４年次の教育実習につなげることによって、実践的指導力を身につけさせる。

1-2　ディプロマ・ポリシー

教育学部は実践的指導力のある教員を養成する。そのために全学のディプロマ・ポリシーで示されている能力に加え、次の知識、能力を身につけることを卒業要件とする。

①（教員としての姿勢と基本的知識）教員としての倫理・使命観および教員の権利と義務に関する基礎的知識

②（学校教育に関する基本的知識）学校教育の理念、制度、運営に関する基礎的な知識

③（子どもの心理に関する基本的知識・技能）子どもの内面や多様性に配慮しながら成長・発達を促すための基礎的な知識

④（学習指導・生徒指導に関する基本的知識・技能）初等中等教育の各学校における各教科、領域、専門分野に関する基礎的な知識・技能

⑤（教員としての協働性）同僚教員や保護者、地域社会の人々と連携、協働する力

上記に加え、各課程・コースでは以下の能力を身につけることが求められる。

１）学校教育教員養成課程【教育実践科学コース】

小中学校における学習指導や生徒指導ができるとともに、カリキュラム・マネジメントやいじめ・不登校などの今日的課題への対応に主導的役割をはたすための基礎的知識・技能

２）学校教育教員養成課程【教科教育コース】

小学校における全教科と中学校における選修の教科に関する学習指導および小中学校における生徒指導のための基礎的知識・技能

３）学校教育教員養成課程【特別支援教育コース】

小学校の通常学級および特別支援学級ならびに特別支援学校における学習指導と生徒指導ができるとともに、障害のある児童生徒の指導に関する支援･助言のための基礎的知識･技能

４）養護教諭養成課程

学校における児童生徒の保健指導・管理のための基礎的かつ実践的知識・技能

2　学部の教育内容と方法

以下は茨城大学教育学部「履修要項 2017 年」から引用した。

2-1　教育課程

2-1-1　専門科目と基盤教育科目

本学の教育課程は、専門科目と基盤教育科目から編成されている。

専門科目と基盤教育科目の目的

専門科目	各学部・課程等の専攻に係る専門の学芸を教授する
基盤教育科目	幅広く深い教養及び総合的な判断力を養い、豊かな人間性を涵養する

2-1-2　卒業資格

(1)　卒業の要件

それぞれの課程毎に卒業に必要な修得単位数等が定められている。

課程・コース等毎に定められた教員免許状を取得するのに必要な条件が満たされなければ、卒業することができない。

(2)　単位の修得

単位は、授業（講義、演習、実験、実習又は実技）を履修し、定期試験（及び追試験）のほか研究報告、随時行う試験、出席及び学修の状況等により合格と判定された場合に修得できる。ただし、卒業研究等の単位については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められた場合に修得できる。

(3)　学位・教員免許状・各種資格

本学の学則で規定された修業年限（４年）以上在学し、卒業に必要な授業科目等を履修し、卒業に必要な単位（基盤教育科目を含む）を修得した者には、学長が教授会の審議を経て卒業を認定し、学士（教育学）の学位が授与される。

(4)　取得に配慮のある教員免許状の種類

課程	コース	系	選修	小学校	中学校	高等学校	情報	特別支援学校	養護教諭	幼稚園
学校教育教員養成	教育実践科学			◎	△※	△※	△			△
	教科教育	言語･社会教育	国語	◎	国語	国語 書道	△			△
			社会	◎	社会	地理歴史 公民	△			△
			英語	○	英語	英語	△			△
		理数教育	数学	◎	数学	数学	△			△
			理科	◎	理科	理科	△			△
		音楽教育	音楽	◎	音楽	音楽	△			△
		美術教育	美術	◎	美術	美術	△			△
		保健体育教育	保健体育	◎	保健体育	保健体育	△			△
		技術教育	技術	○	技術	工業	△			△
		生活科学教育	家庭	◎	家庭	家庭	△			△
	特別支援教育			◎	△			◎		△
養護教諭養成					保健	保健			◎	

◎：最も適している　　○：適している　　△：配慮されている

(5)　取得に配慮のある各種資格

資格の種類		配慮のある課程・コース・系・選修
社会教育主事		学校教育教員養成課程
学校図書館司書教諭		全課程
学芸員	博物館	教科教育コース（社会選修）
	美術館	教科教育コース（美術選修）
公認スポーツ指導者		教科教育コース（保健体育選修）

2-1-3　単位制度

(1)　単位の時間数

各授業科目は、４５時間の学修を必要とする内容（予習・復習などの自宅学習を含む）をもって１単位と定められている。授業は、講義・演習（１時間の授業につき、２時間の予習又は復習を必要とするもの）と実験・実習及び実技（２時間の授業につき、１時間の予習又は復習を必要とするもの）によって構成されている。

１単位の時間数と学期の単位設定

授業の種類	１単位時間数の内訳		週１講時		週２講時	
	大学等での学習	自宅学習（予習・復習）	８回	１５回	８回	１５回
講義・演習	１５時間	３０時間	１単位	２単位	２単位	４単位
実験、実習及び実技	３０時間	１５時間		１単位	１単位	２単位

(2)　学期と時間割

茨城大学では、４月１日～９月２０日までを前学期、９月２１日～３月３１日までを後学期とし、１年間の授業可能日は学年暦で定められている。

授業の実施については、前学期・後学期それぞれ１６週（１５週＋期末試験）にわたって行う方　式（セメスター制）と、各学期をさらに半分に分けて８週で完結する方式（クォーター制）を併用して開講する。

１日の授業時間は、５つの時間帯に分けられ、それぞれ１講時～５講時と呼ばれる。

(3)　評価基準

当該科目の修得内容から、下記の「評価の基準」に基づき、「区分」に示される評価が与えられる。「区分」における各評価は右側に示される「評価の内容」が達成されたことを示す。「評価」はA^{+}、A、B、C、Dの評語をもって表す。 A^{+}、A、B、Cを合格とし、Dは不合格とする。合格者には所定の単位が与えられる。なお、授業の出席時数が、その授業の総授業時間数の３分の２に達しない場合は、評点は０点となり評価区分は「D」となる。

評価の基準

評価区分	評　点	評　価　の　内　容
A^{+}	90 点以上 100 点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A	80 点以上 90 点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B	70 点以上 80 点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C	60 点以上 70 点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D	60 点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

(4)　履修登録単位数の上限（CAP 制）

１単位の学修に要する時間は４５時間とされていることから、単位の過剰登録を防ぎ、十分な予習・復習時間を確保し単位の実質化を図るため、１年間に履修登録できる単位数の上限を設定している。これを **CAP（キャップ）制**といい、本学部では年間の履修登録上限を

４６単位としている。ただし、卒業要件外の授業科目及び集中講義は上限単位数に含まれない。

また、４６単位を超えて履修を希望する場合、授業担当教員の許可を得て、担任又は教務委員等と面談の上、追加登録を認めることもある。

(5)　GPA 制度

GPA（Grade Point Average）とは、個々の学生の学修時間当たりの学習到達度を表す指標となる数値で、履修した授業科目の GP（Grade Point）に当該科目の単位数を乗じた値を履修した全科目について総計し、その値を履修した総単位数で除して算出する平均値（Average）をいう。

本学では、学生自身に学内での成績の相対的な位置づけを認識させることにより、学生の学習意欲を高めるとともに、学生の学習支援に資することを目的として GPA 制度を導入している。

GPA は、当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としての「学期 GPA」と在学中の全期間における指標としての「通算 GPA」に区分される。

GP 及び GPA は下記の方法により算出される。

GP＝（100 点満点の得点－55）／ 10　　（ただし GP＝0.5 未満は 0.0 とする）
GPA＝（履修登録科目の GP×当該科目の単位数）の総和 ／ 当該学期の履修総単位数
（小数点第 3 位を四捨五入し、第 2 位までを表示）

なお、卒業要件外の授業科目及び他大学、大学以外の教育施設等における学修により単位認定された授業科目については GPA に算入されない。

(6)　試験

前述したとおり、授業の出席時数がその授業の総授業時間数の３分の２に達しない場合は、評点は０点となり評価区分は「Ｄ」となる（期末試験の受験、レポート提出等の資格がない）。また、試験を受ける際には、学生証を携帯しなければならない。

a.　期末試験

期末試験は、セメスター制で実施される授業では１６回目に、クォーター制で実施される授業では８回目の後半４５分に実施されることになっている。

b.　追試験

病気又はやむを得ない理由により期末試験を受験できなかった場合は、所定の願書に診断書その他証明書を添付の上、学部長に願い出て追試験の許可を得なければならない。この願い出の期間は、期末試験期間終了後一週間以内である。追試験の期日はその都度指示される。

(7)　卒業研究

卒業研究とは、４年次において各自テーマを設定して自ら行う研究活動のことを指す。通常の授業のように学修の時間は定められていないが、学修の成果が評価され、指導教員によって単位を授与することが適切であると認められた場合に単位が修得できる。

卒業研究の提出期限

提出期限	課　　程	
１月 10 日 17 時まで	学校教育教員養成課程	教科教育コース（国語選修・英語選修） 特別支援教育コース
	養護教諭養成課程	
１月 31 日 17 時まで	学校教育教員養成課程	教育実践科学コース 教科教育コース（上記以外）

(8)　教育実習（養護実習）

教育実習は、所定の科目の単位を修得した後、３・４年次に本学部附属小・中学校及び幼稚園を中心に協力校（実習者の出身校を含む）で一定期間行われる。取得する免許の種類に応じて実習校・実習期間等が異なる。また、実習には実習校での実習の前後に学内で行われる事前・事後指導等が含まれる。

(9)　介護等の体験

小学校又は中学校教諭普通免許状を取得するためには、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験（介護等体験）が必要である。これは授業ではないので単位認定は行われないが、大学が指定する施設において適切に実施し、その証明を受けなければならない。

(10)　他大学における学修単位等の認定

他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む）において修得した単位及び入学前にすでに修得した単位は、６０単位を限度として本学卒業の所要単位として認められる。

この中には、実用英語技能検定及び日本漢字能力検定の合格に係る学修の単位認定（１０単位以内）も含まれる。

(11)　大学間単位互換協定

「福島大学・宇都宮大学・茨城大学との単位互換協定」、「放送大学との単位互換協定」、「茨城キリスト教大学との単位互換協定」及び「茨城県立医療大学との単位互換協定」を締結している。

(12) 他学部開設授業の履修

他の学部で開設されている授業（教育学部の「授業科目一覧および授業時間割」に掲載されていない授業）を履修する場合（自由履修単位となる）は、希望する授業科目の担当教員に必ず相談すること。学部によって履修申告の際の手続きが異なるので、希望する授業の当該学部学務係にその詳細を問い合わせること。

2-1-4　課程ごとの履修基準

(1)　学校教育教員養成課程

学校教育教員養成課程は、小学校・中学校・特別支援学校の教員を養成する課程で、以下に示す３つのコースからなる。いずれのコースも卒業のためには「日本国憲法２単位」「体育２単位」「外国語コミュニケーション２単位」「情報機器の操作２単位」の取得が必要となる。さらに、教育実践科学コース及び教科教育コースでは、「介護等の体験」の実施が必要となる。

【教育実践科学コース】

教育実践科学コースでは、小学校教諭一種免許状と中学校教諭二種免許状の両方について取得可能な要件を満たすことを、卒業に必要な条件としている。これらの免許状取得のための４年間の授業履修計画を立てること。

なお、小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の両方で一種を取得することも可能である。

【教科教育コース】

教科教育コースでは、小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状（各選修で定められた教科）の両方について取得可能な要件を満たすこと（小・中学校教諭どちらか必ず一種免許状の要件を満たすこと。両方二種免許状では不可。）を、卒業に必要な条件としている。小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の組み合わせは、以下２種類のタイプがある。

Ａタイプ＝小学校教諭一種免許状と中学校教諭二種免許状の取得

Ｂタイプ＝小学校教諭二種免許状と中学校教諭一種免許状の取得

このタイプとは別に、小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の両方で一種を取得することも可能である。

【特別支援教育コース】

特別支援教育コースでは、小学校教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状の両方について取得可能な要件を満たすことを、卒業に必要な条件としている。なお、中学校教諭普通免許状を取得することも可能である。

学校教育教員養成課程の履修基準

<table>
<tr><th colspan="4" rowspan="3">科目区分</th><th colspan="4">所要単位</th></tr>
<tr><th rowspan="2">教育実践科学</th><th colspan="2">教科教育</th><th rowspan="2">特別支援教育</th></tr>
<tr><th>Aタイプ</th><th>Bタイプ</th></tr>
<tr><td rowspan="8">基盤教育科目</td><td rowspan="2">入門科目</td><td colspan="2">大学入門ゼミ
茨城学</td><td colspan="4">2
2</td></tr>
<tr><td>共通基礎科目</td><td colspan="2">プラクティカル・イングリッシュ
情報リテラシー
心と体の健康（身体活動）
科学の基礎</td><td colspan="4">6
2
2
1</td></tr>
<tr><td rowspan="5">リベラルアーツ科目</td><td rowspan="3">多文化理解</td><td>異文化コミュニケーション</td><td colspan="4">2</td></tr>
<tr><td>ヒューマニティーズ</td><td colspan="4" rowspan="2">2</td></tr>
<tr><td>パフォーマンス&アート</td></tr>
<tr><td>自然と社会の広がり</td><td>自然・環境と人間
グローバル化と人間社会</td><td colspan="4">2
3</td></tr>
<tr><td>キャリアを考える</td><td>ライフデザイン</td><td colspan="4">1</td></tr>
<tr><td colspan="4">合計修得単位</td><td colspan="4">２５</td></tr>
<tr><td rowspan="7">専門科目</td><td colspan="3">教職に関する科目</td><td>４９
（3）</td><td>４９
（3）</td><td>４７
（7）</td><td>４５
（3）</td></tr>
<tr><td colspan="3">教科に関する科目（小学校）</td><td>１６
（8）</td><td>１６
（8）</td><td>4</td><td>１６
（8）</td></tr>
<tr><td colspan="3">教科に関する科目（中学校）</td><td>１０</td><td>１０</td><td>２８
（8）</td><td>0</td></tr>
<tr><td colspan="3">教育実践科学に関する科目</td><td>１０</td><td colspan="3">0</td></tr>
<tr><td colspan="3">特別支援教育に関する科目</td><td colspan="3">0</td><td>２８</td></tr>
<tr><td colspan="3">卒業研究</td><td colspan="4">4</td></tr>
<tr><td colspan="4">合計修得単位</td><td>８９</td><td>７９</td><td>８３</td><td>９３</td></tr>
<tr><td colspan="4">自由履修</td><td>１０</td><td>２０</td><td>１６</td><td>6</td></tr>
<tr><td colspan="4">卒業に必要な合計修得単位</td><td colspan="4">１２４</td></tr>
</table>

注）（　）内の数字は、教員免許状取得の際「教科又は教職に関する科目」として申請される科目の単位数を示す。詳しくは、以下の該当する項目を参照すること。

a.　教職に関する科目

「教職に関する科目」とは、教員にとって必要な教育に関する専門的知識・技能を習得するための科目群である。これには、教科指導、生徒指導等に関する科目、教育実習など学校での教授・指導に直接資する知識及び技能を習得させるための科目が含まれ、受けようとする免許状の種類（小・中学校、教科、一種・二種）に応じ、単位を修得しなければならない。

教職に関する科目（学校教育教員養成課程）

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">免許法科目</th><th rowspan="2">教育実践科学</th><th colspan="2">学校教育</th><th rowspan="2">特別支援教育</th></tr>
<tr><th>Ａタイプ</th><th>Ｂタイプ</th></tr>
<tr><td colspan="2">教職の意義等に関する科目</td><td colspan="3">必修科目２単位</td></tr>
<tr><td rowspan="3">教育の基礎理論に関する科目</td><td>教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想</td><td colspan="3" rowspan="3">必修科目６単位</td></tr>
<tr><td>幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程</td></tr>
<tr><td>教育に関する社会的、制度的又は経営的事項</td></tr>
<tr><td rowspan="6">教育課程及び指導法に関する科目</td><td>教育課程の意義及び編成の方法</td><td colspan="3">必修科目２単位</td></tr>
<tr><td>各教科の指導法（小学校）</td><td>必修科目
９教科
１８単位</td><td>選択必修
６教科１２単位（音・図工・体のうち２教科４単位以上を含む）</td><td>必修科目
９教科
１８単位</td></tr>
<tr><td>各教科の指導法（中学校）</td><td>取得する教科の指導法２単位</td><td>取得する教科の指導法
６単位</td><td>０</td></tr>
<tr><td>道徳の指導法</td><td colspan="3">必修科目２単位</td></tr>
<tr><td>特別活動の指導法</td><td colspan="3">必修科目１単位</td></tr>
<tr><td>教育の方法及び技術に関する科目</td><td colspan="3">必修科目２単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目</td><td colspan="3">必修科目４単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">教育実習</td><td colspan="2">必修科目を含み合計８単位</td><td></td><td>必修科目を含み合計６単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">教職実践演習</td><td colspan="3">必修科目２単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">合計修得単位</td><td>４９</td><td>４７</td><td>４５</td></tr>
</table>

b.　教科に関する科目（小学校）

「教科に関する科目」（小学校）とは、小学校で設定されている各教科の内容に対応させて大学が開講している授業科目群のことである。これには、初等教育段階での教科内容の背景となる専門的な知識及び技能の修得を目的とする科目が含まれる。大学の授業科目すべてが対応しているのではなく、小学校の各教科に相当する科目「〇〇科内容研究・〇〇科の内容と実践」と「教科又は教職に関する科目」の一部が、教員免許状取得のために使用できる科目として認定されている。

個々の授業科目が、「教科に関する科目」（小学校）のどの科目に対応しているか確認し、免許状取得のために必要な内容と単位数を満たさねばならない。

教科に関する科目（小学校）の履修方法

<table>
<tr><th>コース</th><th>最低条件</th><th colspan="2">選択履修</th><th>合計</th></tr>
<tr><td rowspan="2">Ａタイプ
教育実践科学
特別支援教育</td><td rowspan="2">「〇〇科内容研究・〇〇科の内容と実践」のうち各自選択した８単位</td><td>「教科に関する科目」のうち小学校の教科に対応する科目</td><td rowspan="2">８単位</td><td rowspan="2">１６単位</td></tr>
<tr><td>「教科又は教職に関する科目」のうち小学校の教科に対応する科目</td></tr>
<tr><td>Ｂタイプ</td><td>「〇〇科内容研究・〇〇科の内容と実践」のうち各自選択した４単位</td><td colspan="2"></td><td>４単位</td></tr>
</table>

Ａタイプ・教育実践科学コース及び特別支援教育コースでは、「〇〇科内容研究・〇〇科の内容と実践」と題された９教科の科目のうち８単位を、Ｂタイプでは９教科のうち４単位を各自選択して修得する。

なお、Ａタイプ・教育実践科学コース及び特別支援教育コースでは、上記の条件に加えて１６単位のうちの８単位分を「〇〇科内容研究・〇〇科の内容と実践」か「教科又は教職に関する科目」のうち小学校の教科に該当する科目を履修して修得しなければならない。これらの単位は教員免許状取得の際に「教科又は教職に関する科目」として申請される。

Ｂタイプでは、上記の条件に加えて必要単位数以上修得した単位は、卒業要件としては「自由履修」の単位数として、教員免許状取得の際には「教科又は教職に関する科目」の単位数として利用できる。

c.　教科に関する科目（中学校）

「教科に関する科目」（中学校）とは、中学校及び高等学校等の学校で設定されている各教科の内容に対応させて大学が開講している授業科目群のことである。これには、中等教育段階での教科内容の背景となる専門的な知識及び技能の習得を目的とする科目が含まれる。大学の授業科目すべてが対応しているのではなく、中学校・高校の免許教科に相当する科目及び「教科又は教職に関する科目」のうち一部が、教員免許取得のために使用できる科目として認定されている。個々の授業科目が、各教科のどの科目に対応しているか確認し、当該教科の免許取得のために必要な内容と単位数を満たさねばならない。

教科に関する科目（中学校）の履修方法

タイプ	最低条件	選択履修		合計
Ａタイプ 教育実践科学	「教科に関する科目（中学校）」のうち取得免許教科の科目１０単位（注）			１０単位
Ｂタイプ	「教科に関する科目（中学校）」のうち取得免許教科の科目２０単位	「教科に関する科目（中学校）」のうち取得免許教科の科目 「教科又は教職に関する科目」のうち中学校の取得免許教科に該当する科目	８単位	２８単位

（注）各選修が定める必修科目によっては、１０単位以上の履修が必要となる。

なお、Ｂタイプでは、上記の条件に加えて２８単位のうちの８単位分を取得免許の「教科に関する科目（中学校）」か「教科又は教職に関する科目」のうち中学校の取得免許教科に該当する科目を履修して修得しなければならない。これらの単位は教員免許状取得の際に「教科又は教職に関する科目」として申請される。

Ａタイプ及び教育実践科学コースでは、上記の条件に加えて必要単位数以上修得した単位は、卒業要件としては「自由履修」の単位数として、教員免許状取得の際には「教科又は教職に関する科目」の単位数として利用できる。

教科に関する科目（中学校）

【教育実践科学コース】

科目区分	所要単位	
	中学一種	中学二種
１教科選択必修 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語のうちから１教科を選択 ※	Ⅲ教員免許状の履修基準により単位を修得	Ⅲ教員免許状の履修基準により単位を修得
合　計	２０	１０

※免許状の取得が困難な教科もある。

【教科教育コース】

●言語・社会教育系

		科目区分	所要単位	
			中学一種	中学二種
言語・社会教育系	国語選修	国語学	２以上	２以上
		国文学	２以上	２以上
		漢文学	２以上	２以上
		書道	２以上	２以上
		合　計	２０	１０
	社会選修	日本史及び外国史	２以上	２
		地理学（地誌を含む）	２以上	２
		「法律学、政治学」	２以上	２
		「社会学、経済学」	２以上	２
		「哲学、倫理学、宗教学」	２以上	２
		合　計	２０	１０
	英語選修	英語学	２以上	２以上
		英米文学	２以上	２以上
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	２以上	２以上
		異文化理解	２以上	２以上
		合　計	２０	１０

●理数教育系

		科目区分	所要単位	
			中学一種	中学二種
理数教育系	数学選修	代数学	２以上	２
		幾何学	２以上	２
		解析学	２以上	２
		確率統計	２以上	２
		コンピュータ	２以上	２
		合　計	２０	１０
	理科選修	物理学	２以上	科目区分各領域から１単位以上
		物理学実験	２以上	
		化学	２以上	
		化学実験	２以上	
		生物学	２以上	
		生物学実験	２以上	
		地学	２以上	
		地学実験	２以上	
		合　計	２０	１０

●音楽教育系

		科目区分	所要単位	
			中学一種	中学二種
音楽教育系	音楽選修	器楽	３以上	３
		声楽	３以上	３
		ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ	１以上	１
		指揮法	１以上	１
		音楽理論	１以上	１
		音楽史	１以上	１
		合　計	２０	１０

●美術教育系

		科目区分	所要単位	
			中学一種	中学二種
美術教育系	美術選修	絵画	２以上	科目区分各領域から１単位以上
		彫刻	２以上	
		デザイン	２以上	
		工芸	２以上	
		美術理論及び美術史	２以上	
		合　計	２０	１０

●保健体育教育系

		科目区分	所要単位	
			中学一種	中学二種
保健体育教育系	保健体育選修	体育実技	５以上	5
		体育学	１以上	1
		運動学	２以上	1
		生理学	２以上	1
		衛生学	２以上	1
		学校保健	２以上	1
		合　計	２０	１０

●技術教育系

		科目区分	所要単位	
			中学一種	中学二種
技術教育系	技術選修	木材加工（製図及び実習を含む）	３以上	２以上
		金属加工（製図及び実習を含む）	３以上	２以上
		機械（実習を含む）	２以上	１以上
		電気（実習を含む）	２以上	１以上
		栽培（実習を含む）	２以上	１以上
		情報とｺﾝﾋﾟｭｰﾀ（実習を含む）	２以上	１以上
		合　計	２０	１０

●生活科学教育系

		科目区分	所要単位	
			中学一種	中学二種
生活科学教育系	家庭選修	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む）	２以上	科目区分各領域から各1単位以上
		被服学（被服製作実習を含む）	２以上	
		食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む）	２以上	
		住居学	２以上	
		保育学（実習を含む）	２以上	
		合　計	２０	１０

d.　教育実践科学に関する科目

「教育実践科学に関する科目」は、現代の教育課題や児童・生徒の発達に関する理解を深め、今日の教育現場で求められる指導力を育成するための専門科目である。教育実践科学コースの学生は、以下の履修基準にしたがって教育実践科学に関する科目の単位を修得する。

教育実践科学に関する科目

	科目区分	対応プログラム	所要単位
教育実践科学に関する科目	基底科目		2
	教育・社会・教師	プログラム（現代教育・人間発達）共通科目	4
	学校と子ども（※ａ）	現代教育プログラム科目	（※ａ）から４又は（※ｂ）から４
	子どもの理解と支援（※ｂ）	人間発達プログラム科目	
合計修得単位			１０

e.　特別支援教育に関する科目

「特別支援教育に関する科目」は、特別支援学校の教員に必要な専門的内容の習得を目的とする科目で、特別支援教育コースの学生は以下の履修基準にしたがって単位を修得する。

特別支援教育に関する科目

	科目区分		所要単位	
特別支援教育	特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	
	特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	２以上	１６
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	２以上	
	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目		5	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		5	
合計修得単位			２８	

f.　卒業研究

「卒業研究」は通常の授業のように学修の時間は定められていない。学修の成果を各コース、系、選修で定められた論文、実技又は作品等の提出や発表等の形式により公表し、その成果が評価され単位を修得する。

(2)　養護教諭養成課程

学校では養護教諭を中心として児童・生徒等の健康教育・保健指導、健康管理が行われる。保健室には、けがや疾病異常、精神的な問題を持った児童・生徒等が訪れ、いじめや保健室登校など学校が抱える様々な問題が持ち込まれる。これらの児童・生徒等に対して、担任や

保護者、医療機関等と連携をとりながら、適切なケア、健康相談活動、教育への支援を行うことができる養護教諭を養成することが本課程の目的である。

養護教諭養成課程では、養護教諭一種免許状の取得要件を満たすことを、卒業に必要な条件としている。卒業のためには「日本国憲法２単位」「体育２単位」「外国語コミュニケーション２単位」「情報機器の操作２単位」の取得が必要となる。

なお、中学校・高等学校教諭一種免許状（保健）の取得に配慮がある。

養護教諭養成課程の履修基準

<table>
<tr><th colspan="4">科目区分</th><th>所要単位</th></tr>
<tr><td rowspan="7">基盤教育科目</td><td>入門科目</td><td colspan="2">大学入門ゼミ
茨城学</td><td>2
2</td></tr>
<tr><td>共通基礎科目</td><td colspan="2">プラクティカル・イングリッシュ
情報リテラシー
心と体の健康（身体活動）
科学の基礎</td><td>6
2
2
1</td></tr>
<tr><td rowspan="5">リベラルアーツ科目</td><td rowspan="3">多文化理解</td><td>異文化コミュニケーション</td><td>2</td></tr>
<tr><td>ヒューマニティーズ</td><td rowspan="2">2</td></tr>
<tr><td>パフォーマンス＆アート</td></tr>
<tr><td>自然と社会の広がり</td><td>自然・環境と人間
グローバル化と人間社会</td><td>2
3</td></tr>
<tr><td>キャリアを考える</td><td>ライフデザイン</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="4">合計修得単位</td><td>２５</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門科目</td><td colspan="3">教職に関する科目</td><td>３２</td></tr>
<tr><td colspan="3">養護に関する科目</td><td>４０</td></tr>
<tr><td colspan="3">卒業研究</td><td>4</td></tr>
<tr><td colspan="4">合計修得単位</td><td>７６</td></tr>
<tr><td colspan="4">自由履修</td><td>２３</td></tr>
<tr><td colspan="4">卒業に必要な合計修得単位</td><td>１２４</td></tr>
</table>

a.　教職に関する科目

「教職に関する科目」とは、教員である養護教諭にとって必要な教育に関する専門的知識・技能を習得する科目群である。これには、生徒指導、教育相談等に関する科目、養護実習など学校での支援・指導に直接資する知識及び技能を習得させるための科目が含まれている。

「教職に関する科目（養護教諭養成課程）」にしたがって単位を修得することによって、養護教諭一種免許状の取得に必要な「教職に関する科目」の修得単位が満たされ、一部は「養

護又は教職に関する科目」として数えられる。また、「教育の方法及び技術」「進路指導等に関する科目」に対応した授業科目を履修し単位を修得することによって、中学校教諭一種免許状（保健）に必要な「教職に関する科目」の修得単位とすることができる。ただし、中学校教諭一種免許状（保健）を取得する場合は、次の表に加えて教育実習（養護実習とは異なる）を行い定められた単位を修得しなければならない。

教職に関する科目（養護教諭養成課程）

<table>
<tr><th colspan="2">免許法科目</th><th>所要単位</th></tr>
<tr><td colspan="2">教職の意義等に関する科目</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="3">教育の基礎理論に関する科目</td><td>教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想</td><td>2</td></tr>
<tr><td>幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程</td><td>2</td></tr>
<tr><td>教育に関する社会的、制度的又は経営的事項</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="3">教育課程に関する科目</td><td>教育課程の意義及び編成の方法</td><td rowspan="4">選択必修
免許法科目４領域から
各２単位以上
合計１３単位</td></tr>
<tr><td>道徳及び特別活動に関する内容</td></tr>
<tr><td>教育の方法及び技術</td></tr>
<tr><td colspan="2">指導法に関する科目（注）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">生徒指導及び教育相談に関する科目</td><td>生徒指導の理論及び方法</td><td rowspan="3">4</td></tr>
<tr><td>教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">進路指導等に関する科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">養護実習</td><td>5</td></tr>
<tr><td colspan="2">教職実践演習</td><td>2</td></tr>
<tr><td colspan="2">合計修得単位</td><td>３２</td></tr>
</table>

注）受けようとする中学校教諭免許教科に対応した科目を履修すること。

b.　養護に関する科目

「養護に関する科目」は、養護教諭の免許取得のために必要な専門の科目群である。学校教育教員養成課程の「教科に関する科目」に相当するものであり、中学校教諭・高等学校教諭の「保健」の免許状取得に必要な科目と重複しているものが多い。

養護教諭が学校現場で実際に活動していくために必要な実践的な科目のほか、それらの基礎となる各種の科目とから構成されている。

次の表にしたがって単位を修得することによって養護教諭一種免許状の「養護に関する科目」及び中学校教諭一種免許状（保健）の「教科に関する科目」に必要な所要単位を満たすことができる。また、それぞれの免許状に必要な修得単位を超えて修得した単位は「養護又は教職に関する科目」あるいは「教科又は教職に関する科目」の単位数として利用できる。

養護に関する科目

免許法科目	所要単位
衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む）	４以上
学校保健	２以上
養護概説	２以上
健康相談活動の理論及び方法	２以上
栄養学（食品学を含む）	２以上
解剖学及び生理学	２以上
「微生物学、免疫学、薬理概論」	２以上
精神保健	２以上
看護学（臨床実習及び救急処置を含む）	１０以上
合計修得単位	４０

c.　卒業研究

「卒業研究」は通常の授業のように学修の時間は定められていない。指導教員のもと各自が定めたテーマにしたがって論文等をまとめ、その成果が評価され単位を修得する。

2-1-5　教員免許状

教員となるためには、教育職員免許法の定める教職課程の科目を大学等で履修することなどにより、教員免許状を取得することが必要である。教員免許状には下記に示す普通免許状のほか、在学中の諸君には直接関係はないが、特別免許状、臨時免許状がある。

教員免許状（普通免許状）の種類

<table>
<tr><th>区分</th><th>大学院修士課程修了</th><th>大学卒業</th><th>短期大学卒業</th></tr>
<tr><td>小学校教諭</td><td rowspan="2">専修免許状</td><td rowspan="2">一種免許状</td><td rowspan="2">二種免許状</td></tr>
<tr><td>中学校教諭</td></tr>
<tr><td>特別支援学校教諭</td><td>専修免許状
（＋小、中、高又は幼の普通免）</td><td>一種免許状
（＋小、中、高又は幼の普通免）</td><td>二種免許状
（＋小、中、高又は幼の普通免）</td></tr>
<tr><td>養護教諭</td><td rowspan="3">専修免許状</td><td rowspan="3">一種免許状</td><td>二種免許状</td></tr>
<tr><td>高等学校教諭</td><td></td></tr>
<tr><td>幼稚園教諭</td><td>二種免許状</td></tr>
</table>

注１）中学校及び高等学校教員免許状は、更に教科別に設けられている。また、養護教諭の免許状には、学校種別はない。

注２）免許状の名称は「小学校教諭普通免許状（一種）」、あるいは「小学校教諭一種免許状」のように表記される。

注３）本学部では、普通免許状の一種・二種が取得できる。また、一種免許状を取得し、本学大学院教育学研究科において定められた単位を修得した者は、専修免許状が取得できる。

(1)　教員免許状取得に必要な共通的な科目

教育職員免許法では、文部省令にしたがって「日本国憲法（２単位）」「体育（２単位）」

「外国語コミュニケーション（２単位）」及び「情報機器の操作（２単位）」の修得を定めている。本大学ではこれらの科目について次のように対応させている。

教員免許状取得に必要な共通的な科目とその対応科目区分

免許状取得に必要な共通的な科目	本学で対応している科目区分	
日本国憲法	基盤教育科目	日本国憲法
体育	基盤教育科目	心と体の健康（身体活動）
外国語コミュニケーション	基盤教育科目	Integrated English ⅠA・ⅡA・ⅢA
情報機器の操作	基盤教育科目	情報リテラシー

注１）これらの科目の単位をそれぞれ２単位ずつ修得していること。

(2)　教員免許状（普通免許状）取得に必要な専門科目

教育職員免許法では、免許状の種類によって履修すべき科目と必要単位数が細かく定められているが、大きくわけると次のようになる。

教員免許状取得に必要な専門科目の区分と必要単位数

免許状の種類		専門科目の区分と必要単位数					
学校種別		教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	教科に関する科目	特別支援教育に関する科目	養護又は教職に関する科目	養護に関する科目
小学校教諭	一種	４１	１０	８			
	二種	３１	２	４			
中学校教諭	一種	３１	８	２０			
	二種	２１	４	１０			
特別支援学校教諭	一種				２６		
	二種				１６		
養護教諭	一種	２１				７	２８
	二種	１４				４	２４
高等学校教諭	一種	２３	１６	２０			
幼稚園教諭	一種	３５	１０	６			
	二種	２７		４			

注１）一種については「学士」の学位、二種については「準学士」の称号を有すること。

注２）特別支援学校教諭については、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。

(3)　教員免許状取得の際の留意点

①　修得した単位は、卒業に必要な単位として数えると同時に教員免許状取得に必要な単位としても数えることができる（別の枠組みであると考える）。

②　修得した教員免許状に対応した専門科目の単位は、複数の免許状取得に共通している場合、それぞれに必要な単位として数えることができる。ただし、「教職科目」の一部と「教科又は教職に関する科目」については、学校種別によって共通的に数えることができ

ない場合があるので注意すること。

③　同一教科の中学校教諭免許状と高等学校教諭免許状を取得する際、「科目区分」が異なっている教科があるのでよく確認すること。また、「教職に関する科目」についても一部異なるので注意すること。

④　免許状取得のために履修しなければならない授業科目は、「各教諭免許状の履修基準」に掲げる免許法上の科目を別誌の「授業科目一覧および授業時間割」の免許区分欄によって求めることができる。

⑤　以下「各教諭免許状の履修基準」の表記については、次のように理解すること。

a.　「科目」とあるのは、免許法上にいう科目のことである。

b.　「科目」欄に“・・・（〇〇〇を含む。）”とあるのは、それを含めて履修する必要があるもの。たとえば“国文学（国文学史を含む。）”とある場合は、国文学に関する授業科目中に国文学史を含んでいる科目を履修しなければならない。

c.　“・・・及び〇〇〇”は、両方の科目の履修を必要とするもの。たとえば、“日本史及び外国史”は、日本史に関する科目と外国史に関する科目の両方を履修しなければならない。

d.　“「・・・、〇〇〇」”と科目名にカギカッコを付して列挙されているものは、その中の一つ以上の科目を履修する必要があるもの。たとえば、“「哲学、倫理学、宗教学」”は、哲学、倫理学、宗教学の中から一つ以上の科目を選んで履修する。

(4)　小学校教諭普通免許状

小学校教諭の免許状を取得するには、次表に示す科目の単位を修得しなければならない。

小学校教諭普通免許状

科目の区分		各科目に含めることが必要な事項	各区分の最低修得単位 一種	各区分の最低修得単位 二種
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割		
		(2)教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）		
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	２単位	２単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	６単位	４単位
	教育課程及び指導法に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法		
		(2)各教科の指導法	小学校９教科各２単位以上	小学校９教科のうち、６教科以上（音楽、図画工作及び体育のうち、２教科以上を含む）をそれぞれ２単位以上
		(3)道徳の指導法	２単位	１単位
		(4)特別活動の指導法		
		(5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	２２単位	１４単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法		
		(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		
		(3)進路指導の理論及び方法		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	４単位	４単位
	教育実習		５単位	５単位
	教職実践演習		２単位	２単位
合　計			４１単位	３１単位
教科又は教職に関する科目			１０単位	２単位
教科に関する科目			小学校９教科のうち１教科以上の科目を修得	小学校９教科のうち１教科以上の科目を修得
合　計			８単位	４単位

(5)　中学校教諭普通免許状

中学校教諭の免許状を取得するには、次の表に示す「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」及び免許教科ごとに定められた「教科に関する科目」の単位を修得しなければならない。

中学校教諭普通免許状（教職に関する科目・教科又は教職に関する科目）

科目の区分		各科目に含めることが必要な事項	各区分の最低修得単位 一種	各区分の最低修得単位 二種
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割		
		(2)教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）		
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	２単位	２単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	６単位	４単位
	教育課程及び指導法に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法		
		(2)各教科の指導法	それぞれ受けようとする免許教科ごとに２単位以上（注）	それぞれ受けようとする免許教科ごとに２単位以上
		(3)道徳の指導法	２単位	１単位
		(4)特別活動の指導法		
		(5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	１２単位	４単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法		
		(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		
		(3)進路指導の理論及び方法		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	４単位	４単位
	教育実習		５単位	５単位
	教職実践演習		２単位	２単位
	合　計		３１単位	２１単位
教科又は教職に関する科目			８単位	４単位

注）一種の「各教科の指導法」について、教育職員養成審議会の答申で８単位程度修得することが望ましいとされている。本学部では６単位を原則としている。

中学校教諭普通免許状（教科に関する科目）

免許教科	教科に関する科目	最低修得単位 一種	最低修得単位 二種
国語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	１以上	１以上
	国文学（国文学史を含む。）	１以上	１以上
	漢文学	１以上	１以上
	書道（書写を中心とする。）	１以上	１以上
	合計修得単位	２０	１０
社会	日本史及び外国史	１以上	１以上
	地理学（地誌を含む。）	１以上	１以上
	「法律学、政治学」	１以上	１以上
	「社会学、経済学」	１以上	１以上
	「哲学、倫理学、宗教学」	１以上	１以上
	合計修得単位	２０	１０
数学	代数学	１以上	１以上
	幾何学	１以上	１以上
	解析学	１以上	１以上
	「確率論、統計学」	１以上	１以上
	コンピュータ	１以上	１以上
	合計修得単位	２０	１０
理科	物理学	１以上	１以上
	物理学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む。）	１以上	１以上
	化学	１以上	１以上
	化学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む。）	１以上	１以上
	生物学	１以上	１以上
	生物学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む。）	１以上	１以上
	地学	１以上	１以上
	地学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む。）	１以上	１以上
	合計修得単位	２０	１０
音楽	ソルフェージュ	１以上	１以上
	声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）	１以上	１以上
	器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）	１以上	１以上
	指揮法	１以上	１以上
	音楽理論、作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）	１以上	１以上
	合計修得単位	２０	１０
美術	絵画（映像メディア表現を含む。）	１以上	１以上
	彫刻	１以上	１以上
	デザイン（映像メディア表現を含む。）	１以上	１以上
	工芸	１以上	１以上
	美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	１以上	１以上
	合計修得単位	２０	１０

免許教科	教科に関する科目	最低修得単位 一種	最低修得単位 二種
保健体育	体育実技	１以上	１以上
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学（運動方法学を含む。）	１以上	１以上
	生理学（運動生理学を含む。）	１以上	１以上
	衛生学及び公衆衛生学	１以上	１以上
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	１以上	１以上
	合計修得単位	２０	１０
保健	生理学及び栄養学	１以上	１以上
	衛生学及び公衆衛生学	１以上	１以上
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	１以上	１以上
	合計修得単位	２０	１０
技術	木材加工（製図及び実習を含む。）	１以上	１以上
	金属加工（製図及び実習を含む。）	１以上	１以上
	機械（実習を含む。）	１以上	１以上
	電気（実習を含む。）	１以上	１以上
	栽培（実習を含む。）	１以上	１以上
	情報とコンピュータ（実習を含む。）	１以上	１以上
	合計修得単位	２０	１０
家庭	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	１以上	１以上
	被服学（被服製作実習を含む。）	１以上	１以上
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）	１以上	１以上
	住居学	１以上	１以上
	保育学（実習を含む。）	１以上	１以上
	合計修得単位	２０	１０
英語	英語学	１以上	１以上
	英米文学	１以上	１以上
	英語コミュニケーション	１以上	１以上
	異文化理解	１以上	１以上
	合計修得単位	２０	１０

(6)　特別支援学校教諭普通免許状

特別支援学校教諭の免許状を取得するには、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有し、次の表に示す「特別支援教育に関する科目」の単位を修得しなければならない。

特別支援学校教諭普通免許状（特別支援教育に関する科目）

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">特別支援教育に関する科目</th><th colspan="4">最低修得単位</th></tr>
<tr><th colspan="2">一種</th><th colspan="2">二種</th></tr>
<tr><td colspan="2">特別支援教育の基礎理論に関する科目</td><td colspan="2">2</td><td colspan="2">2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">特別支援教育領域に関する科目</td><td>心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目</td><td>1</td><td rowspan="2">１６</td><td>1</td><td rowspan="2">8</td></tr>
<tr><td>心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目</td><td>2</td><td>1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目</td><td>心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目</td><td colspan="2" rowspan="2">5</td><td colspan="2" rowspan="2">3</td></tr>
<tr><td>心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習</td><td colspan="2">3</td><td colspan="2">3</td></tr>
<tr><td colspan="2">合計修得単位</td><td colspan="2">２６</td><td colspan="2">１６</td></tr>
</table>

(7)　養護教諭普通免許状

養護教諭の免許状を取得するには、次の表に示す「養護に関する科目」、「養護又は教職に関する科目」及び「教職に関する科目」の単位を修得しなければならない。

養護教諭普通免許状（教職に関する科目・養護又は教職に関する科目）

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">科目の区分</th><th colspan="2">最低修得単位</th></tr>
<tr><th>各科目に含めることが必要な事項</th><th>一種</th><th>二種</th></tr>
<tr><td rowspan="19">教職に関する科目</td><td rowspan="4">教職の意義等に関する科目</td><td>(1)教職の意義及び教員の役割</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>(2)教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>(3)進路選択に資する各種の機会の提供等</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合計修得単位（各事項を含むこと）</td><td>2</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="4">教育の基礎理論に関する科目</td><td>(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合計修得単位（各事項を含むこと）</td><td>4</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="4">教育課程に関する科目</td><td>(1)教育課程の意義及び編成の方法</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>(2)道徳及び特別活動に関する内容</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>(3)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合計修得単位（各事項を含むこと）</td><td>4</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="3">生徒指導及び教育相談に関する科目</td><td>(1)生徒指導の理論及び方法</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合計修得単位（各事項を含むこと）</td><td>4</td><td>2</td></tr>
<tr><td colspan="2">養護実習</td><td>5</td><td>4</td></tr>
<tr><td colspan="2">教職実践演習</td><td>2</td><td>2</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　計</td><td>２１</td><td>１４</td></tr>
<tr><td colspan="3">養護又は教職に関する科目</td><td>7</td><td>4</td></tr>
</table>

養護教諭普通免許状（養護に関する科目）

養護に関する科目	最低修得単位	
	一種	二種
衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	4	2
学校保健	2	1
養護概説	2	1
健康相談活動の理論及び方法	2	2
栄養学（食品学を含む。）	2	2
解剖学及び生理学	2	2
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	2
精神保健	2	2
看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	１０	１０
合計修得単位	２８	２４

(8)　高等学校教諭普通免許状

高等学校教諭の免許状を取得するには、次の表に示す「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」及び免許教科ごとに定められた「教科に関する科目」の単位を修得しなければならない。

高等学校教諭普通免許状（教職に関する科目・教科又は教職に関する科目）

科目の区分			一種
		各科目に含めることが必要な事項	各区分の最低修得単位
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割	
		(2)教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）	
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等	
		合計修得単位（各事項を含むこと）	２単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	
		合計修得単位（各事項を含むこと）	６単位
	教育課程及び指導法に関する科目注)	(1)教育課程の意義及び編成の方法	
		(2)各教科の指導法	それぞれ受けようとする免許教科ごとに2単位以上
		(4)特別活動の指導法	
		(5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	
		合計修得単位（各事項を含むこと）	６単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法	
		(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	
		(3)進路指導の理論及び方法	
		合計修得単位（各事項を含むこと）	４単位
	教育実習		３単位
	教職実践演習		２単位
合　計			２３単位
教科又は教職に関する科目			１６単位

注）高等学校教諭普通免許状では、小・中学校における「教職に関する科目」の「教育課程及び指導法に関する科目」

第(3)項「道徳の指導法」がないので注意すること。

高等学校教諭普通免許状（教科に関する科目）

免許教科	教科に関する科目	最低修得単位（一種）
国語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	１以上
	国文学（国文学史を含む。）	１以上
	漢文学	１以上
	合計修得単位	２０
地理歴史	日本史	１以上
	外国史	１以上
	人文地理学及び自然地理学	１以上
	地誌	１以上
	合計修得単位	２０
公民	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	１以上
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	１以上
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	１以上
	合計修得単位	２０
数学	代数学	１以上
	幾何学	１以上
	解析学	１以上
	「確率論、統計学」	１以上
	コンピュータ	１以上
	合計修得単位	２０
理科	物理学	１以上
	化学	１以上
	生物学	１以上
	地学	１以上
	「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	１以上
	合計修得単位	２０
音楽	ソルフェージュ	１以上
	声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）	１以上
	器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）	１以上
	指揮法	１以上
	音楽理論、作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）	１以上
	合計修得単位	２０
情報	情報社会及び情報倫理	１以上
	コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）	１以上
	情報システム（実習を含む。）	１以上
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）	１以上
	マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	１以上
	情報と職業	１以上
	合計修得単位	２０

免許教科	教科に関する科目	最低修得単位（一種）
美術	絵画（映像メディア表現を含む。）	１以上
	彫刻	１以上
	デザイン（映像メディア表現を含む。）	１以上
	美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	１以上
	合計修得単位	２０
書道	書道（書写を含む。）	１以上
	書道史	１以上
	「書論、鑑賞」	１以上
	「国文学、漢文学」	１以上
	合計修得単位	２０
保健体育	体育実技	１以上
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学（運動方法学を含む。）	１以上
	生理学（運動生理学を含む。）	１以上
	衛生学及び公衆衛生学	１以上
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	１以上
	合計修得単位	２０
保健	「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」	１以上
	衛生学及び公衆衛生学	１以上
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	１以上
	合計修得単位	２０
家庭	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	１以上
	被服学（被服製作実習を含む。）	１以上
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）	１以上
	住居学（製図を含む。）	１以上
	保育学（実習及び家庭看護を含む。）	１以上
	家庭電気・機械及び情報処理	１以上
	合計修得単位	２０
工業	工業の関係科目	１以上
	職業指導	１以上
	合計修得単位	２０
英語	英語学	１以上
	英米文学	１以上
	英語コミュニケーション	１以上
	異文化理解	１以上
	合計修得単位	２０

(9)　幼稚園教諭普通免許状

幼稚園教諭の免許状を取得するには、次の表に示す科目の単位を修得しなければならない。

幼稚園教諭普通免許状

科目の区分		各科目に含めることが必要な事項	各区分の最低修得単位 一種	各区分の最低修得単位 二種
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割		
		(2)教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）		
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	２単位	２単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び　学習の過程を含む。）		
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	６単位	４単位
	教育課程及び指導法に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法		
		(2)保育内容の指導法（注１）		
		(3)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	１８単位	１２単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)幼児理解の理論及び方法		
		(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	２単位	２単位
	教育実習		５単位（注２）	５単位（注２）
	教職実践演習		２単位	２単位
合　計			３５単位	２７単位
教科又は教職に関する科目			１０単位	
教科に関する科目			小学校の教科に関する科目のうちから国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育の教科に関する科目のうち１教科以上の科目を修得	小学校の教科に関する科目のうちから国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育の教科に関する科目のうち１教科以上の科目を修得
合　計			６単位	４単位
合　計			６単位	４単位

（注１）保育内容の指導法の計算方法については

（１８※①－Ｂ）÷２＝Ａ（小数点以下切り捨て）

Ａ：保育内容の指導法に充てられる、小学校教科の指導法の単位数

Ｂ：課１及び課５の修得単位数

※①教育課程及び指導法に関する科目の所要単位

（注２）教育実習（幼稚園）５単位については、初等教育実地研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ｛教育実習（小学校）｝をもって代えることができる。また、教育実習（幼稚園）５単位のうち３単位までは中等教育実地研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ｛教育実習（中学校）｝をもって代えることができる。

2-1-6　諸資格

(1)　社会教育主事

社会教育主事とは、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与えることを職務とする専門職員（地方公務員）である。各都道府県及び市町村の教育委員会事務局に置かれ、各都道府県や市町村などで青少年から高齢者に対する様々な事業（講座等）の企画を立てたり、実際に公民館や青少年教育施設で指導・助言などをする。

本学部在学中に法令で定められた社会教育に関する科目の単位を修得し、さらに卒業後、１年以上社会教育主事補の職にあった者が、社会教育主事になることができる。つまり対応科目の単位修得によって直ちに資格が得られるものではないが、将来、社会教育関係に進む場合、有利な条件を持つことになる。

この社会教育主事となる資格を取得するには、次の表に示す基準にしたがって所要の単位を修得しなければならない。

法令に規定する科目と単位（社会教育主事）

<table>
<tr><th colspan="2">科　目（本学部の授業科目名ではない）</th><th>所要単位</th></tr>
<tr><td colspan="2">生涯学習概論</td><td>4</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会教育計画</td><td>4</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会教育演習、社会教育実習又は社会教育課題研究のうち一以上の科目</td><td>4</td></tr>
<tr><td>社会教育特講Ⅰ（現代社会と社会教育）</td><td rowspan="3">社会教育特講Ⅰ・Ⅱ及びⅢにわたって履修すること</td><td rowspan="3">１２</td></tr>
<tr><td>社会教育特講Ⅱ（社会教育活動・事業・施設）</td></tr>
<tr><td>社会教育特講Ⅲ（その他必要な科目）</td></tr>
<tr><td colspan="2">合計修得単位</td><td>２４</td></tr>
</table>

注）上記に該当する本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

(2)　学校図書館司書教諭

高度情報社会を迎え、学校図書館は「学習情報センター」及び「読書センター」としての機能の充実が求められている。その中心的役割を担うのが学校図書館司書教諭で、小学校・中学校・高等学校（特別支援学校を含む。）において、図書のみならず、視聴覚教育の資料・各種学習資料を収集・整理・保存し、これを児童・生徒・教師の利用に供するために様々な事業を行う専門職である。現在、小規模校を除く全ての学校に学校図書館司書教諭を置くことが推進されている。

「学校図書館司書教諭」は、いわゆる「資格」とは若干性質が異なり、「資格証明書」や「免許状」を所有するわけではない。「学校図書館司書教諭講習規定」に基づく所定の講習を受けた者に対して、文部科学大臣による「修了証書」が授与され、この「修了証書」を持つ教員（小・中・高及び特別支援学校の教諭普通免許状を持つ者）が、その勤務校において「学校図書館司書教諭」となる資格を持つのである。（つまり、「修了証書」を所持していても学校に正規教員として勤務し、さらにその学校において発令がくだされなければ、「学校図書館司書教諭」にはなれない。）

本学部では、この講習科目に該当する科目が設けられており、５科目１０単位を履修し単位を修得した者は、卒業後の所定の手続きにより修了証書が授与される。

学校図書館司書教諭講習科目と単位数

科　　目	単位数	備　　考
学校経営と学校図書館	2	「教科又は教師邦関する科目」に掲載
学校図書館メディアの構成	2	
情報メディアの活用	2	
学習指導と学校図書館	2	
読書と豊かな人間性	2	
合計修得単位	１０	

注）上記に該当する本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

(3)　学芸員

学芸員とは、国立・公立・私立を問わず、様々な博物館・美術館・資料館等において資料の収集や保管、調査研究及び教育普及活動に従事する専門職員である。

本学部では、歴史系、美術系の学芸員の資格取得に配慮がある。ただし、近年、学芸員は専門的な知識ばかりでなく文化・社会・芸術について幅広い教養を備えた研究者としての役割が期待されており、学芸員となるためには、次のような努力が必要である。

②　修士課程を修了しておきたい。

②　地方自治体の博物館や美術館では、専門職を現職教員や現職員から採用することがあるので、あらかじめそれらの職種に就ける資格を得ておきたい。

法令に規定する科目と単位（学芸員資格）

科　目（本学の授業科目名称ではない）		所要単位	
博物館に関する科目	生涯学習概論	2	全て必修
	博物館概論	2	
	博物館経営論	2	
	博物館資料論	2	
	博物館資料保存論	2	
	博物館展示論	2	
	博物館教育論	2	
	博物館情報・メディア論	2	
	博物館実習	3	
選択	文化史	これらの中から２科目以上８単位	
	美術史		
	考古学		
	民俗学		

注１）上記に該当する本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

注２）資格証書は交付されない。上記科目の単位修得証明書等を採用される博物館等に提出することで認定される。

(4)　公認スポーツ指導者

公認スポーツ指導者とは、スポーツ医・科学の知識を活かし、安全に、正しく、本質的な楽しさ、素晴らしさを伝えることができる指導者のことを指す。所定のカリキュラムによる講習会等に参加し、試験に合格すると認定される。その種類と役割は次のとおり。

公認スポーツ指導者の種類と役割

種　類		役　割	所定時間
スポーツ指導者基礎資格	スポーツリーダー	地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる。	35h
競技別指導者資格	指導員	地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に個々人の年齢や性別などに合わせた指導にあたる。	共通Ⅰ:35h 専門:40h 以上
	上級指導員	年齢や競技レベルに応じた指導にあたり、事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う。	共通Ⅰ＋Ⅱ:70h 専門:20h 以上
	コーチ	広域スポーツセンターや競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。	共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ:152.5h 専門:60h 以上
	上級コーチ	ナショナルレベルのトレーニング拠点において、選抜された競技者の育成強化にあたる。	共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ:192.5h 専門:40h 以上
	教師	商業スポーツ施設等において競技別の専門的指導者として会員のニーズに合わせた実技指導を行う。	共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ:152.5h 専門：80h 以上
	上級教師	各種事業に関する計画の立案、指導方針の決定など組織内指導者の中心的な役割を担う。	共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ:152.5h 専門:60h 以上
フィットネス系資格	ジュニアスポーツ指導員	地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通した動きづくりの指導を行う。	共通Ⅰ:35h 専門:40h
	スポーツプログラマー	青年期以降のすべての人に対し、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。	共通Ⅰ＋Ⅱ:70h 専門:63h
メディカル・コンディショニング資格	スポーツドクター	スポーツマンの健康管理、スポーツ障害、スポーツ外傷の診断、治療予防研究等にあたる。	基礎:21 単位 応用:20 単位
	アスレティックトレーナー	スポーツドクター及びコーチと協力しながら、競技者の障害予防、応急処置、リハビリテーション、トレーニング、コンディショニング等にあたる。	共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ:152.5h 専門:136h
マネジメント指導者資格	アシスタントマネジャー	総合型の地域スポーツクラブにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブ経営のための諸活動をサポートする。	共通Ⅰ:35h 専門:35h
	クラブマネジャー	総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブの経営資源を有効に活用し、クラブ会員が継続的に快適なクラブライフを送ることができるよう健全なマネジメントを行う。	共通Ⅰ:35h 専門:167.5h

本学部は、公認スポーツ指導者養成講習会の免除適応コースになっている。したがって、本学部が開設している所定の科目の単位を修得することにより、資格別に、講習あるいは試験が免除される。

免除される公認スポーツ指導者資格の種類と区分

公認スポーツ指導者の種類	共通科目	専門科目
	講習・試験	講習・試験
スポーツリーダー（注１）	免除される	該当なし
指導員・上級指導員 コーチ・上級コーチ	免除される (共通Ⅳは免除されない)	免除されない（注２）
ジュニアスポーツ指導員 スポーツプログラマー	免除される	講習のみ免除される
アスレティックトレーナー	免除される	免除されない
アシスタントマネジャー	免除される	講習のみ免除される

注１）スポーツリーダーは、基礎資格なので共通科目のみ。本学部保健体育選修修了者は、修得科目の種類にかかわらず、申請すれば資格が得られる。

注２）競技別指導者資格の専門科目は、それぞれの種目の中央競技団体が主催する講習及び検定試験を受けなければならない。

注３）スポーツドクターは医師免許を有している人のみ対象。

注４）いずれの場合も、資格申請や修了証明書発行手続きには審査料等が必要となる。

（財）日本体育協会公認スポーツ指導者共通科目カリキュラム

共通Ⅰ	文化としてのスポーツ	3.75h	共通Ⅲ	社会の中のスポーツ	5h
	指導者の役割Ⅰ	5h		指導者の役割Ⅱ	7.5h
	トレーニング論	3.75h		スポーツと法	5h
	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ	7.5h		アスリートの栄養・食事	5h
				スポーツの心理Ⅰ	7.5h
	スポーツと栄養	2.5h		スポーツの心理Ⅱ	10h
	指導計画と安全管理	3.75h		身体のしくみと働き	10h
	ジュニア期のスポーツ	5h		トレーニング論Ⅱ	20h
	地域におけるスポーツ振興	3.75h		競技者育成のための指導法	10h
共通Ⅱ	社会の中のスポーツ	5h		スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ	20h
	スポーツと法	5h			
	スポーツの心理Ⅰ	7.5h	共通Ⅳ	トップアスリートを取り巻く諸問題	20h
	スポーツ組織の運営と事業	10h			
	対象に合わせたスポーツ指導	7.5h		指導能力を高めるためのスキルアッププログラム	20h

注５）免除を受けるために必要な本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

注６）スポーツプログラマー及びジュニアスポーツ指導員の専門科目については、「授業科目一覧及び授業時間割」を参照すること。

2-1-7　教育実践力養成プログラム

(1)　「教育実践力養成プログラム」について

小学校教員養成としては、各教科の専門性はもちろんのこと、環境教育、健康教育といった教科横断的な課題や発達障害支援、特別支援、いじめ・不登校対応などの新しい教育的課題に向けたプログラム、さらにはグローバリズム社会を迎えて理数教育、英語教育に対応できる小学校教員の養成を目指したプログラム、さらに特別支援養成や養護教諭養成に対しても、優れた教育実践力を目指したプログラムを設けている。具体的には、表Ⅴ－１のようなプログラムである。

(2)　「教育実践力養成プログラム」認定要件

各プログラムに対応する免許（小・中学校は１種免許）に要する単位を修得した上で、「授業科目一覧および授業時間割」に示された各プログラムの対象科目を８単位以上（初等教育実践力養成プログラム）、もしくは１０単位（それ以外のプログラム）を修得することが要件となる。この要件を満たしたものには、卒業時に各プログラムの修了認定証を交付する。

各「教育実践力養成プログラム」と目的

プログラム名（認定要件）			目　　的
初等教育実践力養成プログラム (小学校教諭１種免許＋それぞれのプログラムの対象科目８単位以上の修得)	教育実践科学プログラム（＊１）	現代教育プログラム	現代教育の課題を理解した上で、いじめ、不登校、学習指導、ＩＣＴ教育等に対応できる教員の養成
		人間発達プログラム	現代教育の課題を理解した上で、子どもの発達、児童・生徒支援に対応できる教員の養成
	理数・英語対応プログラム	小学校算数プログラム	小学校算数および小学校算数の専科化に対応できる教員の養成
		小学校理科プログラム	小学校理科、小学校理科における実験および小学校理科の専科化に対応できる教員の養成
		小学校英語プログラム	小学校英語の教科化および小学校英語の専科化に対応できる教員の養成
	教科・領域横断的プログラム	言語活動プログラム	全教科を通した言語活動の充実、アイデンティティを高める国語教育に対応できる教員の養成
		環境教育プログラム	教科横断的な環境教育の実施および生活科や総合的な学習の時間に対応できる教員の養成
		健康教育プログラム	子どもの生活習慣の改善・体力向上や健康増進に対応できる教員の養成
		情報教育プログラム	ＩＣＴを活用した教育の実践、また、必修化されるプログラミング教育に対応できる教員の養成
		発達障害支援プログラム（＊２）	一般学級における発達障害児の支援に対応できる教員、特別支援学級の担任になる教員の養成
中等教育実践力養成プログラム (対応する教科の中学校教諭１種免許＋それぞれのプログラムの対象科目１０単位以上の修得)		国語科教育プログラム	生徒一人一人のニーズに応える授業を実践できる教科に関する優れた教育実践力を持つ教員の養成
		社会科教育プログラム	
		英語科教育プログラム	
		数学科教育プログラム	
		理科教育プログラム	
		音楽科教育プログラム	
		美術科教育プログラム	
		保健体育科教育プログラム	
		技術科教育プログラム	
		家庭科教育プログラム	
特別支援教育実践力養成プログラム (特別支援学校教諭免許＋対象科目１０単位以上の修得)			子ども一人一人のニーズに応える授業を実践できる特別支援教育に関する優れた教育実践力を持つ教員の養成
養護教育実践力養成プログラム (養護教諭免許＋対象科目１０単位以上の修得)			子ども一人一人のニーズに応えることのできる養護についての実践・展開力を持つ養護教諭の養成

（＊１）教育実践科学コース向けだが、他コース学生でも所定の単位が修得できれば修了認定可能。

（＊２）対象科目が特別支援教育に関する科目となるため、特別支援学校教諭免許を取得しないものは対象科目の単位は自由履修の扱いとなる。

2-1-8　資料

(1)　教育実習

a.　教育実習とは

教育実習とは、大学在学中に一定期間継続的に幼稚園・小学校・中学校・高等学校、及び特別支援学校等での教育場面に触れ、教師や子どもが行う教育の実際を観察し、様々な教員としての職務に参加し、教材研究をして授業を実施する（あるいは指導計画を作成し授業以外の諸活動を行う）授業科目である。具体的な目的は以下のとおり。

① 大学での講義や、書物で学んだ教育理論の実際の教育場面への適用を試みること。
② 教育活動の実際に触れ、その全般について体験的に理解を深め、教育の本質を体得すること。
③ 学生の立場で教員としての生活を疑似体験し、自己の教職適性を検証すること。
④ 実際の教育実践の中で生身の教師・子どもと触れることによって、新たに教育理論を学ぶ意欲を刺激すること。

b.　教育（医療）現場における実習の種類

教育実習は教員免許状を取得するために必ず行わなければならない。全ての学校種に共通に「教職に関する科目」として設定されているものであり、幼稚園・小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校教諭免許状の取得には「教育実習」、養護教諭免許状の取得には「養護実習」として、それぞれの学校種毎に必要単位が定められている。

この他に、特別支援学校教諭（特別支援学校の先生）の免許状を取得する場合は「特別支援教育に関する科目」、養護教諭（保健室の先生）の免許状を取得する場合は「養護に関する科目」の中にも実際に学校や病院において行われる実習（それぞれ「心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習」「臨床実習」）が設定されている。

ここでは、全ての学校種に共通した「教職に関する科目」の教育実習（養護実習）について解説しており、上述した「特別支援教育に関する科目」及び「養護に関する科目」にある実習科目については、該当する課程・コースのガイダンスに留意すること。

c.　教育実習に対応した授業科目の種類

教育職員免許法（教免法）で規定されている教育実習（養護実習）には「事前事後指導」が平行して設定されており、これを同時に受講することで教育実習の事前準備、実習中必要な知識・技術や心構え等の学習、さらに実習の成果を後につなげ、さらに深めるための学習等が行われる。

本学部では、各学校種等に応じて３・４年次に２―３週間程度の集中授業として設定される「教育実地研究（４又は２単位）」及び「養護教育実地研究（２単位）」と、１・２年次に行われる「教育実地研究入門I・II（各１単位）」及び２年次に行われる「養護実地研究入門（１単位）」が設定されている。

教育実習に対応した本学部の科目の種類

	必要単位数	教育実習	事前指導
小学校教諭	5	初等教育実地研究（事後指導を含む）	教育実地研究入門
中学校教諭	5	中等教育実地研究（事後指導を含む）	
高等学校教諭	3	中等教育実地研究（事後指導を含む）	
幼稚園教諭	5	幼児教育実地研究（事後指導を含む）	
特別支援学校教諭	3	特別支援教育実地研究（事前事後指導を含む）	
養護教諭	5	養護教育実地研究（事後指導を含む）	養護実地研究入門

注意事項

① 教育職員免許法（教免法）施行規則の定めでは、教育実習の総単位数の一定部分には、他の学校種の免許状取得のための教育実習の単位をあてることが可能となっている。そこで、学校教育教員養成課程教育実践科学コース及び教科教育コースでは、初等教育実地研究４又は２単位と中等教育実地研究４又は２単位に加えて教育実地研究入門Ⅰ・Ⅱの２単位を修得すれば、計８単位で、小学校・中学校両方の教員免許が取得できるように設定されている。

② 同様に教免法では、隣り合った学校段階で教育実習を代替することも可能とされている。したがって、たとえば小学校教諭免許状を取得するために「初等教育実地研究」を履修していれば、それはそのまま幼稚園教諭免許状取得のための教育実習の単位として使用することができる。

③ 教育実習の履修にあたっては、履修申告のためのオリエンテーションが行われる。そこで履修基準を満たしているかどうかが判断され、各学校種の教員免許状取得のために必要な教育実習の種類と単位数が示される。オリエンテーションは教育実習実施前に随時行われるので、掲示に注意すること。

d. 教育実習を実施する学校

教育実習は、本学部附属学校（園）を中心に周辺の協力校及び実習者の出身校で行われる。実施する学校は事前のオリエンテーションによって割り振られる。このオリエンテーションで必要な手続きをとらなければ実施できないので注意すること。

(2) 介護等体験

a. 介護等体験の趣旨

平成９年に「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」、いわゆる「介護等体験特例法」が公布された。これにより「義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連体の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点」から、小・中学校の教諭の普通免許状を取得しようとする者に、「障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験」を行うことが義務づけられた。この体験を通して、以下のこ

とを学ぶ。

① 人間の尊さや人権を理解する。

② 一人一人が違った個性と能力を有していることを実感し、様々な価値観があることを理解する。

③ 諸施設やそこで働いている人々について理解する。

b. 対象学生

上記の法律は平成１０年度から施行されており、平成１０年度以降の大学等入学者に適用される。本学部の学校教育教員養成課程（特別支援教育コースを除く）及び養護教諭養成課程の学生が対象となる。看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士などの免許を既に取得している人や、身体障害者手帳の交付を受けている人は免除される。

c. 体験の期間・時間

１８歳に達した後に、原則として社会福祉施設又は老人保健施設で５日間、特別支援学校で２日間、合計７日間以上の介護等の体験を行う必要がある。茨城大学では、２年次に上記の日数をそれぞれ連続５日間及び連続２日間、大学の割り当てた施設で行うこととしている。１年次の１月頃にオリエンテーションが実施される。

１日当たりの必要時間は、「介護等の体験の内容等を総合的に勘案しつつ、適切な時間を確保するものとすること」となっており、受入施設側の裁量に委ねられる。社会福祉施設の場合、原則として日帰りで概ね５～６時間程度とする。

d. 介護等体験の内容

介護等体験の内容は次の２つに大別されるが、具体的に何を行うかは受け入れ側の判断による。

① 直接的に介護・介助・交流等を行う：食事、排泄等の介護・介助、話し相手、散歩等の交流、学習活動等の支援や手伝い

② 受入施設・学校の職員の業務の補助：行事・バザー等の手伝い、掃除・洗濯・おむつたたみ等

e. 受入施設及び学校の概要

① 社会福祉施設又は老人保健施設

ア．社会福祉施設：憲法第２５条に定めた国民の「生存権」、すなわち「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保障するためにつくられたもの。

a. 高齢者施設（特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、デイサービスセンター、他）

b. 児童福祉・障害児施設（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、知的障害児施設、肢体不自由児施設、児童自立支援施設、他）

c. 障害者にかかわる施設（身体障害者施設、知的障害者施設、精神障害者施設）

d.　生活保護にかかわる施設（救護施設、他）

イ．老人保健施設：高齢者の病院等からの居宅復帰を支援するためにリハビリテーション機能を重視し、医療ケアと生活サービスをあわせて提供する施設。医療施設と福祉施設の中間的機能を有する。

②　特別支援学校：視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱などの子どもが通っている学校。

ア．盲学校（盲児、強度弱視児）

イ．聾学校（聾児、高度難聴児）

ウ．知的障害特別支援学校（知的発達の遅滞の程度が中等以上の子ども等）

エ．肢体不自由特別支援学校（運動・動作の不自由の程度が重度な子ども等）

オ．病弱特別支援学校(慢性疾患で長期にわたって医療又は生活規則が必要な子ども等)

(3)　手続き

概ね次の事項が必要となる。

①　健康診断書

体験前には、健康診断を受診し、健康診断書を体験先に持参しなければならない。

②　証明書

体験終了時には、それぞれの体験先で「証明書」を受け取ることになる。これは、教員免許状を申請する際（４年次の１１月頃）に必要となるので、大切に保管する必要がある。

③　学生個人票

体験前に作成し、証明書の用紙とともに体験先に持参する。

④　保険

以下の２つの保険に加入する。

・「学生教育研究災害傷害保険」
　原則として、学生本人の傷害等に対して支払われる。

・「学研災付帯賠償責任保険（Ａコース：学生教育研究賠償責任保険）」
　他人に傷害を与えたり、他人の財物を損壊した場合に支払われる。

(4)　実用英語技能検定等及び日本漢字能力検定合格者に係る単位認定

a.　認定授業科目及び単位数

このことについて、下記のように単位が認定される。

実用英語技能検定等の認定科目及び単位数

ＣＥＦＲ Ｂ２ ※1			ＣＥＦＲ Ｃ１ ※2		
認定授業科目	区分	単位数	認定授業科目	区分	単位数
英語コミュニケーションＳ 英語コミュニケーションＤ	専門科目 専門科目	2 2	英語コミュニケーションＴ 英語コミュニケーションＣ 英語コミュニケーションＪ	専門科目 専門科目 専門科目	2 2 2
認定単位数		4	認定単位数		6
合計			６単位（限度）		

※1【ＣＥＦＲ Ｂ２】･･･ 実用英語技能検定（2300－2599）、ＧＴＥＣ ＣＢＴ（1250－1399）、ＴＯＥＩＣ ｉＢＴ（72－94）、ＴＯＥＦＬ ｉＢＴ（1095－1300）、ＴＯＥＩＣ Ｌ＆Ｒ／Ｓ＆Ｗ（1560－1840）など、ＣＥＦＲ該当レベルに準ずる得点が公的に提示されているもの

※2【ＣＥＦＲ Ｃ１】･･･ 実用英語技能検定（2600－3299）、ＧＴＥＣ ＣＢＴ（1400）、ＴＯＥＩＣ ｉＢＴ（95－120）、ＴＯＥＦＬ ｉＢＴ（1305－1390）、ＴＯＥＩＣ Ｌ＆Ｒ／Ｓ＆Ｗ（1845－1990）など、ＣＥＦＲ該当レベルに準ずる得点が公的に提示されているもの

日本漢字能力検定合格者の認定科目及び単位数

準　１　級　以　上			
認定授業科目	区分	単位数	備　考
国語学演習II	専門科目	２	認定は１回、２単位とする。

b.　認定願受付期間（受付最終日が土曜日の場合は前日、日曜日の場合は前々日）

受付は年２回とし、次の期間とする。

１回目：８月２０日～８月３１日

２回目：１月２０日～１月３１日

c.　**認定の通知**

認定された者については、「単位認定通知書」を本人に交付する。なお、交付日等に関しては別に掲示する。

d.　その他

①　上記認定は、「茨城大学における大学以外の教育施設等における学修及び入学前の既修得単位等認定に関する規程」第１条（１２）に基づく単位の認定である。

②　「単位認定願」は教育学部学務第一係で受領し、受付期間内に同係へ提出すること。

①　上記の単位認定については、教育学部在籍者に限る。

2-1-8　開設科目と受講者数

2-1-8-1　平成２９年度入学者用

（1）教職に関する科目

a. 共通

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP0001	教育実践と教師	望月　厚志	前期	火	1	常勤	198
PP0002	教育実践と教師	望月　厚志	前期	火	2	常勤	85
PP0003	教育の本質と理念	小川　哲哉	後期	木	1	常勤	197
PP0004	教育の本質と理念	小川　哲哉	前期	木	1	常勤	85
PP0005	人間教育の心理学	丸山　広人	前期	木	1	常勤	198
PP0006	人間教育の心理学	丸山　広人	後期	木	1	常勤	85
PP0027	幼児教育の内容と方法	神永　直美	前期	月	5	常勤	19

b. 初等教育の教科の指導法

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
―	―	―	―	―	―	―	―

c. 中等教育の教科の指導法

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP0309	中等社会科教育法Ⅰ	村山　朝子	後期	木	5	常勤	23
PP0323	中等理科教育法Ⅰ	松川　覚	後期	月	5	常勤	25
PP0357	技術科教育法Ⅰ	大西　有	4Q	木	2	常勤	17
PP0369	中等家庭科教育法Ⅰ	野中　美津枝	前期	金	2	常勤	21
PP0377	英語科教育法Ⅰ	猪井　新一	後期	木	2	常勤	20
PP0385	保健科教育法Ⅰ	青柳　直子	後期	火	1	常勤	34

d. 教育実習

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP0601	教育実地研究入門Ⅰ	関係教員	通年	集中		―	266

（2）教科又は教職に関する科目

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP0701	特別な支援を必要とする子どもの教育	関係教員	2Q	火	3	―	52
PP0704	子どもの発達を知る	村野井　均	後期	月	2	常勤	55
PP0706	地球環境論	阿部　信一郎	後期	金	3	常勤	1
PP0715	子どもの遊びと体験学習	日下　裕弘	前期	水	3	常勤	60
PP0716	子どもの体力と健康	松坂　晃	後期	金	3	常勤	28
PP0719	郷土の言葉	川嶋　秀之	後期	金	3	常勤	35
PP0720	茨城の風土と生活	小野寺　淳	通年	集中		常勤	0
PP0722	小学校英語ⅠＡ	猪井　新一	後期	金	3	常勤	29
PP0725	英語コミュニケーションS	トゥール　ティモシー	前期	火	1	非常勤	19
PP0728	小学校算数入門	松村　初	後期	金	3	常勤	9

PP0735	初等地学	伊藤　孝	後期	金	3	常勤	15
PP0736	情報教育入門	佐々木　忠之	後期	金	3	常勤	8
PP0744	茨城の歴史と文化	小野寺　淳	後期	金	2	常勤	21
PP0747	異文化理解実習	未定	通年	集中		ー	0
PP0749	デッサンの基礎Ⅰ	島　剛	1Q	月	4	常勤	12
PP0750	デッサンの基礎Ⅱ	島　剛	2Q	月	4	常勤	12
PP0751	石膏デッサン	片口　直樹	後期	金	2	常勤	12
PP0752	美術教育概論	向野　康江	通年	集中		常勤	0
PP0758	住居環境学	乾　康代	後期	木	2	常勤	16

(3)教科に関する科目

a. 小学校

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP0801	初等国語科内容研究	川嶋　秀之	4Q	火	3	常勤	55
PP0802	初等国語科内容研究	宮﨑　尚子	4Q	火	3	常勤	60
PP0803	初等国語科内容研究	川嶋　秀之	3Q	火	3	常勤	58
PP0804	初等国語科内容研究	増子　和男	3Q	火	3	常勤	61
PP0806	初等書写内容研究	齋木　久美	1Q	木	4	常勤	57
PP0807	初等書写内容研究	齋木　久美	2Q	木	4	常勤	58
PP0808	初等書写内容研究	齋木　久美	3Q	木	5	常勤	58
PP0809	初等書写内容研究	齋木　久美	4Q	木	5	常勤	61
PP0810	初等社会科内容研究	大島　規江	4Q	月	2	常勤	106
PP0811	初等社会科内容研究	大島　規江	4Q	火	1	常勤	109
PP0813	算数科内容研究	吉井　豊	3Q	火	2	常勤	48
PP0814	算数科内容研究	吉井　豊	4Q	火	2	常勤	56
PP0815	算数科内容研究	松村　初	4Q	水	2	常勤	50
PP0816	算数科内容研究	松村　初	3Q	水	2	常勤	59
PP0818	初等理科内容研究	松川　覚	3Q	火	3	常勤	108
PP0819	初等理科内容研究	松川　覚	4Q	火	3	常勤	109
PP0821	生活科内容研究	木村　勝彦	3Q	月	2	常勤	116
PP0822	生活科内容研究	木村　勝彦	3Q	火	1	常勤	118
PP0828	図画工作科内容研究	島田　裕之	4Q	火	2	常勤	51
PP0829	図画工作科内容研究	島田　裕之	3Q	火	2	常勤	58
PP0830	図画工作科内容研究	金子　一夫	3Q	水	2	常勤	58
PP0831	図画工作科内容研究	金子　一夫	4Q	水	2	常勤	60

b. 中学校

国語

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP0901	国語学概論	川嶋　秀之	前期	月	5	常勤	43
PP0906	国文学概論	宮﨑　尚子	後期	水	1	常勤	48
PP0916	漢文学概論	増子　和男	前期	月	2	常勤	41
PP0917	漢文学基礎	増子　和男	後期	火	2	常勤	29
PP0922	書道Ⅰ	齋木　久美	前期	金	3	常勤	50

PP0923	書道Ⅱ	齋木　久美	後期	金	2	常勤	48

社会

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP1001	基礎日本史	千葉　真由美	1Q	火	1	常勤	9
PP1002	基礎世界史	藤崎　衛	前期	金	4	非常勤	9
PP1003	基礎地理	大島　規江	前期	月	2	常勤	21
PP1004	日本史概論Ⅰ	千葉　真由美	後期	集中		常勤	31
PP1016	人文地理学概論	小野寺　淳	後期	木	2	常勤	24
PP1021	地理学野外実習Ⅰ	小野寺　淳	通年	集中		常勤	6
PP1026	地誌学概論	大島　規江	後期	水	1	常勤	31
PP1031	法学概論	中野　雅紀	後期	月	5	常勤	31
PP1036	社会学概論	岩佐　淳一	後期	木	1	常勤	0
PP1041	経済学概論	山本　尚史	前期	集中		非常勤	30
PP1044	哲学概論Ⅱ	伊藤　聡	前期	金	4	常勤	0
PP1047	倫理学概論	木村　競	前期	水	1	常勤	30

英語

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP1101	英語学概論A	安原　正貴	後期	金	5	常勤	30
PP1103	学校英文法	安原　正貴	前期	金	4	常勤	33
PP1115	英米文学・文化から教える英語テキスト	君塚　淳一	後期	月	5	常勤	25
PP1116	英語コミュニケーションD	齋藤　英敏	前期	金	2	常勤	19
PP1117	英語コミュニケーションT	トゥール　ティモシー	後期	水	1	非常勤	21
PP1119	英語コミュニケーションP	相原　和恵	後期	金	1	非常勤	26

数学

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP1201	代数学概論	吉井　豊	前期	金	5	常勤	35
PP1202	代数学基礎	吉井　豊	後期	金	5	常勤	33
PP1207	幾何学概論	栗原　博之	前期	木	5	常勤	34
PP1212	解析学概論	梅津　健一郎	前期	月	5	常勤	34
PP1213	解析学基礎	梅津　健一郎	後期	水	1	常勤	32

理科

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP1301	物理学概論	永尾　敬一	前期	火	2	常勤	33
PP1302	電磁気学	永尾　敬一	後期	水	1	常勤	2
PP1307	物理学実験	矢島　裕介	後期	金	1	常勤	15
PP1316	生物学概論	棗田　孝晴	後期	木	2	常勤	29
PP1322	地学概論	上栗　伸一	前期	木	2	常勤	29
PP1330	地学実験	伊藤　孝	前期	金	4	常勤	29

音楽

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP1401	ピアノ	田中　宏明	前期	火	2	常勤	7
PP1402	ピアノ	田中　宏明	後期	水	1	常勤	7
PP1403	ピアノ	神部　智	前期	金	3	常勤	6
PP1404	ピアノ	神部　智	後期	木	5	常勤	6
PP1411	管打楽器	脇岡　宗一	前期	水	3	非常勤	4
PP1413	管打楽器	脇岡　宗一	後期	水	3	非常勤	4
PP1415	弦楽器	野末　あけみ	前期	水	5	非常勤	5
PP1415	弦楽器	野末　あけみ	後期	集中		非常勤	2
PP1417	日本音楽(箏)	大須賀　佳緒里	後期	集中		非常勤	13
PP1418	独唱	谷川　佳幸	前期	月	4	常勤	7
PP1419	独唱	谷川　佳幸	後期	金	2	常勤	7
PP1420	独唱	藤田　文子	前期	金	4	常勤	6
PP1421	独唱	藤田　文子	後期	金	2	常勤	6
PP1430	ソルフェージュ	山口　哲人	前期	水	1	常勤	13
PP1431	ソルフェージュ演習	田中　宏明	後期	木	2	常勤	13
PP1433	音楽通論	山口　哲人	後期	水	2	常勤	13

美術

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP1501	絵画実技概論	片口　直樹	1Q	金	3	常勤	12
PP1504	絵画特別演習	片口　直樹	後期	集中		常勤	3
PP1507	彫刻実技概論	島　剛	2Q	金	3	常勤	12
PP1510	彫刻特別演習	島　剛	前期	集中		常勤	5
PP1511	塑造特別演習	島　剛	通年	集中		常勤	2
PP1514	デザイン実技概論	島田　裕之	後期	水	2	常勤	12
PP1519	工芸実技概論	石黒　美男	後期	木	5	非常勤	12
PP1525	美術概論	小泉　晋弥	1Q	火	3	常勤	12

体育

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP1603	ダンス・身体表現	篠田　明音	後期	火	2	常勤	21
PP1604	水泳	富樫　泰一	前期	集中		常勤	22
PP1605	バスケットボール	加藤　敏弘	前期	火	2	常勤	23
PP1606	ソフトボール	大津　展子	前期	金	4	常勤	19
PP1608	バレーボール	勝本　真	前期	木	3	常勤	21
PP1610	柔道	中嶋　哲也	前期	火	3	常勤	21
PP1611	剣道	小澤　聡	前期	月	4	非常勤	21
PP1612	野外運動	富樫　泰一	前期	集中		常勤	1
PP1613	スキー	渡邊　將司	後期	集中		常勤	23
PP1614	体育学概論	中嶋　哲也	前期	金	1	常勤	21
PP1616	測定評価	渡邊　將司	後期	金	2	常勤	0
PP1620	体育スポーツ社会学	日下　裕弘	後期	月	2	常勤	21

PP1621	運動学概論	勝本　真	後期	金	1	常勤	24
PP1622	トレーニング法	渡邊　將司	後期	水	1	常勤	2
PP1623	コーチング論Ⅰ	白井　祐介	後期	集中		非常勤	20
PP1629	武道方法論	中嶋　哲也	後期	木	2	常勤	19
PP1631	形態学	渡邊　將司	前期	水	1	常勤	21
PP1635	運動障害予防法	白木　仁	後期	集中		非常勤	24
PP1636	スポーツ栄養学	古旗　照美	通年	集中		非常勤	20

技術

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP1701	製図Ⅰ	堤　一郎	前期	木	3	常勤	18
PP1702	木材加工概論	臼坂　高司	前期	火	3	常勤	18
PP1703	木材加工の基礎技術	臼坂　高司	前期	月	4	常勤	18
PP1704	木材加工の応用技術	臼坂　高司	後期	水	1	常勤	18
PP1707	製図Ⅱ	野崎　英明	後期	金	2	常勤	18
PP1708	金属加工概論	野崎　英明	前期	木	5	常勤	18
PP1713	機械技術概論	堤　一郎	後期	火	1	常勤	18
PP1718	電気技術概論	榊　守	後期	木	5	常勤	18
PP1723	生物育成概論	大西　有	前期	金	2	常勤	18

家庭

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP1801	食物学概論	西川　陽子	前期	火	1	常勤	16
PP1802	食品衛生管理学	西川　陽子	後期	集中		常勤	10
PP1806	調理学基礎	石島　恵美子	3Q	金	1	常勤	19
PP1809	被服学概論	木村　美智子	後期	火	2	常勤	19
PP1814	被服構成学基礎	木村　美智子	前期	水	1	常勤	16
PP1815	被服構成学応用	米今　由希子	後期	集中		非常勤	3
PP1820	保育学概論	数井　みゆき	前期	木	3	常勤	21
PP1824	家庭経営学概論	佐藤　裕紀子	前期	金	4	常勤	21
PP1829	家庭電気・機械	榊　守	後期	集中		常勤	6

教育実践科学に関する科目

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP1901	教育実践科学研究	小川　哲哉	後期	木	2	常勤	26

（4）高等学校「情報」

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP1951	情報社会及び情報倫理	實原　隆志	通年	集中		非常勤	2
PP1955	コンピュータ及び情報処理	松村　初	後期	金	1	常勤	7
PP1956	情報技術演習	佐々木　忠之	後期	金	4	常勤	0
PP1968	静止画像処理	島田　裕之	4Q	火	3	常勤	1
PP1969	動画像処理	折笠　良	通年	集中		非常勤	0

（5）特別支援教育に関する科目

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP2111	肢体不自由児の心理・生理・病理	岡澤　慎一	通年	集中		非常勤	16
PP2117	肢体不自由児の教育方法	新井　英靖	後期	月	2	常勤	21
PP2121	感覚障害児の教育	田原　敬	前期	集中		常勤	19
PP2122	重度重複障害児教育論	勝二　博亮	1Q	金	5	常勤	20
PP2123	発達障害児教育概論	細川　美由紀	後期	金	3	常勤	31
PP2124	障害児教育総論	荒川　智	1Q	火	3	常勤	25

（6）養護に関する科目

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP3008	養護学概論	斉藤　ふくみ	後期	火	2	常勤	34
PP3017	解剖生理学概論Ⅰ	石原　研治	前期	金	1	常勤	34
PP3018	解剖生理学概論Ⅱ	石原　研治	後期	金	1	常勤	34
PP3019	生化学	石原　研治	前期	木	3	常勤	34
PP3021	免疫学Ⅰ	石原　研治	後期	木	2	常勤	34
PP3028	学校看護学概論	廣原　紀恵	前期	水	1	常勤	34

（7）特別専門科目

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PP5504	インターンシップ	岩佐　淳一	通年	集中		常勤	0

2-1-8-2　平成２８年度以前入学者用

（1）教職に関する科目

a. 共通

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P0001	教育実践と教師	望月　厚志	前期	火	1	常勤	7
P0002	教育実践と教師	望月　厚志	前期	火	2	常勤	6
P0003	教育の本質と理念	小川　哲哉	後期	木	1	常勤	5
P0004	教育の本質と理念	小川　哲哉	前期	木	1	常勤	16
P0005	学校と教育の歴史	佐藤　環	後期	木	4	常勤	186
P0006	人間教育の心理学	丸山　広人	前期	木	1	常勤	16
P0007	人間教育の心理学	丸山　広人	後期	木	1	常勤	20
P0008	発達の理解Ⅰ	渡部　玲二郎	前期	木	3	常勤	135
P0009	発達の理解Ⅱ	村野井　均	後期	木	3	常勤	101
P0010	教育の制度と経営	加藤　崇英	後期	木	2	常勤	192
P0011	教育の制度と経営	加藤　崇英	前期	木	2	常勤	126
P0012	学校教育課程論	佐藤　環	前期	月	1	常勤	1
P0013	学校教育課程論	佐藤　環	後期	月	1	常勤	0
P0014	学校教育課程論	佐藤　環	前期	月	1	常勤	214
P0015	学校教育課程論	佐藤　環	後期	月	1	常勤	102
P0016	幼児教育課程論	佐藤　環	後期	集中		常勤	30
P0017	道徳と価値の教育	青柳　路子	前期	木	3	常勤	208
P0018	道徳と価値の教育	青柳　路子	前期	月	2	常勤	116
P0019	学習指導の方法	杉本　憲子	後期	木	3	常勤	255
P0020	教育の方法と技術	杉本　憲子	前期	木	3	常勤	124

P0021	教育の方法と技術	杉本　憲子	後期	火	4	常勤	172
P0022	技能伝達法	加藤　敏弘	前期	火	1	常勤	42
P0023	視聴覚教育メディア論	小泉　晋弥	通年	集中		常勤	0
P0024	生活指導の方法	生越　達	後期	木	2	常勤	2
P0025	生活指導の方法	生越　達	前期	木	2	常勤	1
P0026	生活指導の方法	生越　達	前期	木	2	常勤	205
P0027	生活指導の方法	生越　達	後期	木	2	常勤	131
P0028	学校教育相談	三輪　壽二	前期	木	3	常勤	1
P0029	学校教育相談	三輪　壽二	前期	月	2	常勤	0
P0030	学校教育相談	三輪　壽二	前期	月	2	常勤	196
P0031	学校教育相談	三輪　壽二	前期	木	3	常勤	113
P0033	社会教育	望月　厚志	後期	集中		常勤	18
P0034	生涯学習論	望月　厚志	後期	集中		常勤	5
P0035	学校経営と学校図書館	名城　邦孝	前期	金	2	非常勤	92
P0036	学校図書館メディアの構成	名城　邦孝	後期	金	2	非常勤	76
P0037	情報メディアの活用	速水　智子	通年	集中		非常勤	27
P0038	学習指導と学校図書館	名城　邦孝	後期	集中		非常勤	31
P0039	幼児教育の内容と方法	神永　直美	前期	月	5	常勤	34
P0040	教職実践演習(教諭)	野崎　英明	後期	集中		常勤	265
P0041	教職実践演習(養護教諭)	青柳　直子	後期	集中		常勤	38

b. 初等教育の教科の指導法

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P0201	初等国語科教育法研究	昌子　佳広	前期	月	3	常勤	56
P0202	初等国語科教育法研究	鈴木　一史	前期	月	3	常勤	63
P0203	初等国語科教育法研究	昌子　佳広	後期	月	3	常勤	59
P0204	初等国語科教育法研究	鈴木　一史	後期	月	3	常勤	61
P0205	初等社会科教育法研究	木村　勝彦	後期	月	2	常勤	125
P0206	初等社会科教育法研究	木村　勝彦	前期	月	2	常勤	116
P0207	算数科教育法研究	小口　祐一	後期	火	2	常勤	57
P0208	算数科教育法研究	根本　博	後期	火	2	常勤	62
P0209	算数科教育法研究	小口　祐一	後期	木	1	常勤	54
P0210	算数科教育法研究	根本　博	後期	木	1	常勤	57
P0211	算数科教育法特講Ⅰ	久野　勝敬	前期	水	2	非常勤	21
P0212	初等理科教育法研究	宮本　直樹	後期	月	5	常勤	114
P0213	初等理科教育法研究	宮本　直樹	後期	金	1	常勤	116
P0214	初等音楽科教育法研究	田中　健次	前期	月	1	常勤	52
P0215	初等音楽科教育法研究	田中　健次	前期	月	3	常勤	53
P0216	初等音楽科教育法研究	田中　健次	前期	火	3	常勤	60
P0217	初等音楽科教育法研究	藤田　文子	前期	水	1	常勤	59
P0218	初等音楽科教育法研究	藤田　文子	前期	金	2	常勤	14
P0219	図画工作科教育法研究	向野　康江	前期	月	2	常勤	62
P0220	図画工作科教育法研究	向野　康江	後期	木	1	常勤	59
P0221	図画工作科教育法研究	金子　一夫	後期	月	2	常勤	79
P0222	図画工作科教育法研究	金子　一夫	前期	木	1	常勤	85
P0223	体育科教育法研究	吉野　聡	前期	火	1	常勤	50
P0224	体育科教育法研究	吉野　聡	前期	火	3	常勤	62
P0225	体育科教育法研究	大津　展子	前期	木	1	常勤	53
P0226	体育科教育法研究	大津　展子	前期	木	2	常勤	56
P0227	初等家庭科教育法研究	石島　恵美子	後期	木	1	常勤	46
P0228	初等家庭科教育法研究	野中　美津枝	後期	木	5	常勤	64
P0231	生活科教育法研究	木村　勝彦	後期	火	5	常勤	165
P0232	生活科教育法研究	木村　勝彦	後期	火	5	常勤	64
P0233	保育内容の研究(健康)	神永　直美	前期	水	2	常勤	15
P0234	保育内容の研究(人間関係)	神永　直美	後期	火	1	常勤	38
P0235	保育内容の研究(環境)	野崎　英明	前期	火	2	常勤	44
P0236	保育内容の研究(言葉)	神永　直美	前期	木	5	常勤	46
P0237	保育内容の研究(表現)	神永　直美	後期	水	5	常勤	27

c. 中等教育の教科の指導法

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P0301	国語科教育法研究	鈴木　一史	前期	集中		常勤	49
P0302	国語科教育法特講Ⅰ	鈴木　一史	後期	集中		常勤	34
P0303	国語科教育法特講Ⅱ	昌子　佳広	前期	火	4	常勤	32
P0304	国語科教育法演習Ⅰ	昌子　佳広	後期	火	1	常勤	51
P0307	書道科教育法研究Ⅰ	齋木　久美	前期	水	2	常勤	8
P0309	中等社会科教育法研究	村山　朝子	後期	木	5	常勤	8
P0309	中等社会科教育法研究	村山　朝子	後期	集中		常勤	23
P0310	社会科教育法特講Ⅰ	木村　勝彦	前期	火	2	常勤	50
P0311	社会科教育法特講Ⅱ	村山　朝子	後期	金	3	常勤	30
P0312	社会科教育法演習Ⅰ	木村　勝彦	通年	月	4	常勤	5
P0313	社会科教育法演習Ⅱ	村山　朝子	通年	火	4	常勤	3
P0314	社会科教科論	村山　朝子	4Q	木	3	常勤	16
P0315	地理歴史科教育法研究Ⅰ	村山　朝子	前期	金	3	常勤	24
P0316	公民科教育法研究Ⅰ	木村　勝彦	前期	水	2	常勤	18
P0317	中等数学科教育法Ⅰ	根本　博	前期	金	2	常勤	27
P0318	中等数学科教育法Ⅴ	根本　博	4Q	金	2	常勤	21
P0319	中等数学科教育法Ⅵ	小口　祐一	前期	木	3	常勤	0
P0320	中等数学科教育法Ⅱ	根本　博	前期	木	5	常勤	25
P0321	中等数学科教育法Ⅲ	小口　祐一	1Q	火	3	常勤	26
P0322	中等数学科教育法Ⅳ	根本　博	2Q	火	3	常勤	26
P0323	中等理科教育法Ⅰ	関係教員	後期	月	5	―	3
P0324	中等理科教育法Ⅱ	郡司　晴元	前期	月	4	常勤	33
P0325	中等理科教育法Ⅲ	関係教員	後期	金	2	―	26
P0326	中等理科教育法Ⅳ	山本　勝博	前期	金	2	非常勤	28
P0328	物理学実験指導法	矢島　裕介	後期	金	1	常勤	2
P0329	化学実験指導法	松川　覚	前期	金	4	常勤	3
P0330	生物学実験指導法	棗田　孝晴	前期	火	4	常勤	0
P0331	地学実験指導法	伊藤　孝	前期	金	4	常勤	5
P0332	理科教育演習Ⅰ	宮本　直樹	4Q	木	3	常勤	9
P0333	理科教育演習Ⅱ	宮本　直樹	通年	木	5	常勤	6
P0334	音楽科教育法研究Ⅰ	田中　健次	後期	月	3	常勤	14
P0335	音楽科教育法研究Ⅱ	田中　健次	前期	火	5	常勤	15
P0336	音楽科教育法研究Ⅲ	藤田　文子	前期	木	2	常勤	15
P0337	音楽科教育法研究Ⅳ	田中　健次	前期	水	2	常勤	0
P0338	美術科教育法研究	金子　一夫	前期	木	5	常勤	5
P0339	美術科内容研究	向野　康江	後期	水	3	常勤	19
P0340	美術科教科論	金子　一夫	前期	水	4	常勤	21
P0342	保健体育科教育法研究Ⅰ	吉野　聡	後期	金	2	常勤	39
P0343	保健体育科教育法研究Ⅱ	大津　展子	前期	月	4	常勤	36
P0344	保健体育科教育法研究Ⅲ	青柳　直子	前期	金	1	常勤	33
P0345	陸上競技指導法	上地　勝	前期	木	4	常勤	3
P0348	水泳指導法	富樫　泰一	前期	集中		常勤	19
P0349	バスケットボール指導法	加藤　敏弘	前期	火	2	常勤	1
P0350	サッカー指導法	吉野　聡	前期	金	3	常勤	0
P0351	バレーボール指導法	勝本　真	前期	木	3	常勤	6
P0352	卓球・テニス指導法	日下　裕弘	前期	月	1	常勤	8
P0353	ソフトボール指導法	大津　展子	前期	金	4	常勤	5
P0354	柔道指導法	中嶋　哲也	前期	火	3	常勤	1
P0356	野外運動指導法	富樫　泰一	前期	集中		常勤	1
P0357	スキー指導法	富樫　泰一	後期	集中		常勤	1
P0358	技術科教育法研究Ⅰ	大西　有	後期	木	2	常勤	0
P0359	技術科教育法研究Ⅱ	大西　有	後期	木	4	常勤	18
P0360	技術科教科論	工藤　雄司	前期	火	2	常勤	15
P0361	技術科内容研究	大西　有	前期	木	2	常勤	13
P0362	技術科指導法（木材加工実習）	臼坂　高司	前期	月	4	常勤	12
P0363	技術科指導法（金属加工実習）	野崎　英明	前期	金	4	常勤	6
P0364	技術科指導法（機械実習）	堤　一郎	前期	火	4	常勤	5

P0365	技術科教育演習	工藤　雄司	前期	木	1	常勤	3
P0366	技術科教育法特講Ⅰ	工藤　雄司	後期	集中		常勤	2
P0367	技術科教育法特講Ⅱ	工藤　雄司	後期	集中		常勤	2
P0368	工業科教育法	工藤　雄司	前期	火	3	常勤	9
P0369	中等家庭科教育法Ⅰ	野中　美津枝	前期	金	2	常勤	0
P0370	中等家庭科教育法Ⅱ	野中　美津枝	前期	火	2	常勤	17
P0371	中等家庭科教育法Ⅲ	野中　美津枝	後期	金	3	常勤	16
P0372	中等家庭科教育法Ⅳ	野中　美津枝	前期	木	4	常勤	14
P0373	家庭科教育学演習Ⅰ	石島　恵美子	4Q	火	4	常勤	3
P0374	家庭科教育学演習Ⅱ	野中　美津枝	4Q	水	2	常勤	2
P0376	情報科教育法Ⅱ	工藤　雄司	前期	月	5	常勤	9
P0377	英語科教育法研究Ⅰ	猪井　新一	前期	水	1	常勤	15
P0378	英語科教育法研究Ⅱ	齋藤　英敏	通年	集中		常勤	13
P0379	英語科内容研究	猪井　新一	後期	金	2	常勤	19
P0380	英語科教育法特講	齋藤　英敏	通年	集中		常勤	4
P0381	英語科教科論Ⅰ	猪井　新一	後期	木	2	常勤	2
P0382	英語科教科論Ⅱ	齋藤　英敏	前期	木	4	常勤	19
P0383	保健科教育法Ⅰ	青柳　直子	後期	火	1	常勤	37
P0384	保健科教育法Ⅱ	青柳　直子	前期	金	1	常勤	40
P0385	保健科教育法Ⅲ	青柳　直子	後期	火	3	常勤	37
P0386	保健科教育法Ⅳ	青柳　直子	前期	金	5	常勤	4

d. 教育実習

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P0601	教育実地研究入門	関係教員	通年	集中		―	0
P0602	教育実地研究入門	関係教員	通年	集中		―	0
P0603	教育実地研究入門	関係教員	通年	集中		―	0
P0604	教育実践研究	関係教員	通年	集中		―	0
P0605	教育実地研究入門Ⅰ	関係教員	通年	集中		―	37
P0606	教育実地研究入門Ⅱ	関係教員	通年	火	2	―	26
P0606	教育実地研究入門Ⅱ	関係教員	通年	火	3	―	56
P0606	教育実地研究入門Ⅱ	関係教員	通年	火	3	―	33
P0607	教育実地研究入門Ⅱ	関係教員	通年	火	2	―	104
P0607	教育実地研究入門Ⅱ	関係教員	通年	火	3	―	60
P0608	初等教育実地研究Ⅰ	関係教員	通年	集中		―	0
P0609	中等教育実地研究Ⅰ	関係教員	通年	集中		―	0
P0610	初等教育実地研究Ⅰ	関係教員	通年	集中		―	133
P0611	中等教育実地研究Ⅰ	関係教員	通年	集中		―	96
P0612	初等教育実地研究Ⅱ	関係教員	通年	集中		―	101
P0613	中等教育実地研究Ⅱ	関係教員	通年	集中		―	126
P0615	中等教育実地研究Ⅲ	関係教員	通年	集中		―	2
P0616	中等教育実地研究Ⅳ	関係教員	通年	集中		―	1
P0617	中等教育実地研究Ⅴ	関係教員	通年	集中		―	6
P0618	中等教育実地研究Ⅵ	関係教員	通年	集中		―	28
P0619	特別支援教育実地研究	関係教員	通年	集中		―	0
P0620	特別支援教育実地研究	関係教員	通年	集中		―	21
P0621	特別支援教育実地研究	関係教員	通年	集中		―	15
P0622	幼児教育実地研究Ⅰ	関係教員	通年	集中		―	3
P0623	幼児教育実地研究Ⅱ	関係教員	通年	集中		―	2
P0624	養護実地研究入門	関係教員	通年	集中		―	39
P0625	養護実践研究Ⅰ	関係教員	通年	集中		―	39
P0627	養護実践研究Ⅲ	関係教員	通年	集中		―	33
P0628	養護教育実地研究Ⅰ	関係教員	通年	集中		―	39
P0629	養護教育実地研究Ⅱ	関係教員	通年	集中		―	39
P0630	養護教育実地研究Ⅲ	関係教員	通年	集中		―	0

(2)教科又は教職に関する科目

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数

P0701	特別なニーズをもつ子どもの教育	新井　英靖	2Q	火	3	常勤	54
P0702	学校における子ども虐待の予防と防止(1 単位)	数井　みゆき	4Q	火	3	常勤	52
P0704	環境教育論	郡司　晴元	後期	金	2	常勤	3
P0705	食生活と健康	西川　陽子	前期	金	3	常勤	17
P0707	ものづくり体験	堤　一郎	前期	水	2	常勤	6
P0708	コミュニケーション演習	加藤　敏弘	後期	水	2	常勤	11
P0709	こころを育てるグループワーク	正保　春彦	後期	月	3	常勤	22
P0710	子どもの遊びと体験学習	日下　裕弘	前期	水	3	常勤	24
P0711	現代教育の実践的課題	野崎　英明	通年	集中		常勤	125
P0712	茨城の風土と生活	小野寺　淳	通年	集中		常勤	17
P0713	小学校英語ⅠA	下　薫	前期	木	5	非常勤	17
P0714	小学校英語ⅠB	猪井　新一	後期	金	3	常勤	9
P0715	小学校英語ⅡA	下　薫	4Q	木	4	非常勤	7
P0716	小学校英語ⅡB	下　薫	4Q	木	5	非常勤	1
P0717	読書と豊かな人間性	昌子　佳広	前期	火	2	常勤	46
P0718	郷土の言葉	川嶋　秀之	後期	金	3	常勤	10
P0719	ヨーロッパの歴史と文化	藤崎　衛	前期	金	2	非常勤	26
P0720	憲法と社会生活	中野　雅紀	後期	木	5	常勤	6
P0721	茨城の歴史と文化	小野寺　淳	後期	金	2	常勤	13
P0723	言語と文化の諸相	君塚　淳一	通年	集中		常勤	10
P0724	音楽通論Ⅱ	山口　哲人	後期	水	2	常勤	0
P0725	現代音楽へのいざない	山口　哲人	前期	火	4	常勤	14
P0726	デッサンの基礎Ⅰ	島　剛	前期	月	4	常勤	0
P0727	デッサンの基礎Ⅱ	島　剛	前期	月	4	常勤	0
P0728	石膏デッサン	片口　直樹	後期	金	2	常勤	3
P0729	デッサンⅠ	島　剛	後期	集中		常勤	5
P0730	デッサンⅡ	片口　直樹	後期	集中		常勤	2
P0734	住居環境学	乾　康代	後期	木	2	常勤	2
P0735	住環境計画学	乾　康代	前期	金	2	常勤	2
P0736	小児・思春期保健学	青柳　直子	前期	金	3	常勤	1

（3）教科に関する科目

a. 小学校

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P0801	初等国語科内容研究	川嶋　秀之	後期	火	3	常勤	14
P0802	初等書写内容研究	齋木　久美	前期	木	4	常勤	1
P0803	初等社会科内容研究	大島　規江	前期	月	5	常勤	90
P0804	初等社会科内容研究	大島　規江	前期	火	3	常勤	88
P0805	算数科内容研究	松村　初	前期	金	1	常勤	114
P0806	算数科内容研究	吉井　豊	前期	金	1	常勤	98
P0807	初等理科内容研究	松川　覚	前期	水	1	常勤	111
P0808	初等理科内容研究	青島　政之	前期	水	1	常勤	18
P0809	初等理科実験観察内容研究	松川　覚	前期	木	3	常勤	1
P0810	生活科内容研究	木村　勝彦	前期	火	4	常勤	119
P0811	生活科内容研究	木村　勝彦	前期	火	5	常勤	63
P0812	初等音楽科内容研究	山口　哲人	後期	月	3	常勤	42
P0813	初等音楽科内容研究	田中　宏明	前期	木	4	常勤	50
P0814	初等音楽科内容研究	谷川　佳幸	前期	月	3	常勤	50
P0815	初等音楽科内容研究	神部　智	後期	木	5	常勤	35
P0816	図画工作科内容研究	甲斐　教行	前期	火	2	常勤	26
P0817	図画工作科内容研究	島田　裕之	前期	金	2	常勤	23
P0818	図画工作科内容研究	向野　康江	前期	月	3	常勤	0
P0819	初等家庭科内容研究	石島　恵美子	前期	火	3	常勤	52
P0820	初等家庭科内容研究	石島　恵美子	前期	火	3	常勤	42
P0821	初等家庭科内容研究	石島　恵美子	後期	火	3	常勤	56
P0822	初等家庭科内容研究	石島　恵美子	後期	火	3	常勤	59
P0823	体育科内容研究	大津　展子	後期	月	1	常勤	92
P0824	体育科内容研究	吉野　聡	前期	月	1	常勤	57

b. 中学校

国語

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P0901	国語学概論	川嶋　秀之	前期	月	5	常勤	6
P0902	国語表現法	川嶋　秀之	後期	月	5	常勤	50
P0903	国語学演習Ⅰ	川嶋　秀之	前期	金	5	常勤	25
P0904	国語学演習Ⅱ	川嶋　秀之	前期	月	3	常勤	8
P0906	国文学史	宮﨑　尚子	後期	水	1	常勤	53
P0908	古典文学研究Ⅱ	稲垣穣	通年	集中		非常勤	21
P0911	近・現代韻文演習Ⅰ	宮﨑　尚子	前期	金	3	常勤	27
P0912	近・現代韻文演習Ⅱ	宮﨑　尚子	後期	金	3	常勤	37
P0913	近・現代散文研究Ⅰ	宮﨑　尚子	前期	金	4	常勤	19
P0914	近・現代散文研究Ⅱ	宮﨑　尚子	後期	金	4	常勤	13
P0916	漢文学基礎	増子　和男	後期	火	2	常勤	1
P0917	漢文学概論	増子　和男	前期	月	2	常勤	6
P0918	漢文学研究法Ⅰ	増子　和男	前期	月	5	常勤	15
P0919	漢文学研究法Ⅱ	増子　和男	前期	木	4	常勤	21
P0920	漢文学演習Ⅰ	増子　和男	後期	水	1	常勤	4
P0920	漢文学演習Ⅰ	増子　和男	後期	金	4	常勤	10
P0921	漢文学演習Ⅱ	増子　和男	前期	木	2	常勤	23
P0923	書道Ⅰ	齋木　久美	前期	金	3	常勤	2
P0924	書道Ⅱ	齋木　久美	後期	金	2	常勤	2
P0925	書道Ⅲ	齋木　久美	前期	金	2	常勤	13
P0927	書論	齋木　久美	後期	集中		常勤	11
P0929	漢字書法研究	齋木　久美	前期	水	1	常勤	17

社会

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1001	基礎日本史	千葉　真由美	1Q	火	1	常勤	2
P1002	基礎世界史	藤崎　衛	前期	金	4	非常勤	4
P1003	基礎地理	大島　規江	前期	月	2	常勤	0
P1004	日本史概説Ⅰ	千葉　真由美	後期	集中		常勤	27
P1006	日本史特講Ⅰ	千葉　真由美	前期	金	2	常勤	10
P1007	日本史特講Ⅱ	内山　俊身	後期	金	4	非常勤	2
P1008	日本史特講Ⅲ	添田　仁	後期	火	4	常勤	4
P1009	日本史特講Ⅳ	佐川　享平	前期	月	4	非常勤	2
P1010	日本史演習	千葉　真由美	通年	火	4	常勤	12
P1013	考古学特講	小笠原　永隆	後期	金	2	非常勤	6
P1015	西洋史概説Ⅱ	藤崎　衛	後期	金	2	非常勤	26
P1016	西洋史特講Ⅰ	藤崎　衛	前期	木	4	非常勤	8
P1017	西洋史特講Ⅳ	森下　嘉之	前期	木	3	常勤	0
P1018	西洋史演習Ⅰ	藤崎　衛	通年	火	5	非常勤	9
P1019	西洋史演習Ⅱ	森下　嘉之	通年	木	4	常勤	0
P1020	東洋史概説	澁谷　浩一	後期	月	3	常勤	33
P1022	東洋史特講Ⅱ	山田　桂子	後期	火	2	常勤	9
P1023	東洋史演習Ⅰ	澁谷　浩一	通年	火	5	常勤	0
P1024	東洋史演習Ⅱ	山田　桂子	通年	月	5	常勤	0
P1025	人文地理学Ⅰ	小野寺　淳	後期	木	2	常勤	1
P1026	人文地理学Ⅲ	小原　規宏	通年	月	2	常勤	0
P1027	人文地理学Ⅳ	小原　規宏	前期	金	3	常勤	0
P1028	人文地理学Ⅴ	Chienwei YEH	前期	火	4	常勤	3
P1029	人文地理学Ⅵ	Chienwei YEH	後期	火	4	常勤	0
P1031	歴史地理学Ⅱ	小野寺　淳	前期	木	2	常勤	9
P1032	人文地理学演習	小野寺　淳	通年	火	5	常勤	8
P1033	地理学研究法	大島　規江	前期	火	1	常勤	12
P1034	地理学野外実習Ⅰ	小野寺　淳	通年	集中		常勤	16
P1035	自然地理学Ⅰ	田瀬　則雄	前期	金	4	常勤	22

P1036	自然地理学Ⅱ	田瀬　則雄	前期	月	5	常勤	0
P1037	自然地理学Ⅲ	島野　安雄	前期	集中		非常勤	9
P1038	自然地理学演習	田瀬　則雄	通年	月	4	常勤	2
P1040	地誌学Ⅰ	横山　貴史	後期	集中		非常勤	5
P1041	地誌学Ⅱ	田中　耕市	前期	水	2	常勤	7
P1042	地誌学Ⅲ	大島　規江	後期	水	1	常勤	37
P1043	地誌学Ⅳ	大島　規江	前期	水	1	常勤	3
P1044	地誌学演習	大島　規江	通年	火	5	常勤	3
P1046	法と社会	中野　雅紀	前期	木	5	常勤	28
P1047	法学概論	中野　雅紀	後期	月	5	常勤	1
P1048	法学演習	中野　雅紀	通年	木	4	常勤	3
P1049	法学特論	中野　雅紀	通年	集中		常勤	0
P1052	政治学概論	竹峰　誠一郎	後期	集中		非常勤	35
P1054	政治学概論	竹峰　誠一郎	後期	集中		非常勤	23
P1055	文化の社会学	岩佐　淳一	後期	木	2	常勤	13
P1056	マス･コミュニケーション論	岩佐　淳一	前期	木	1	常勤	31
P1057	社会学特講	岩佐　淳一	後期	木	1	常勤	5
P1058	社会福祉論	渋谷　敦司	前期	火	3	常勤	15
P1059	国際経済史	山本　尚史	通年	集中		非常勤	35
P1062	社会と思想	木村　競	前期	金	5	常勤	16
P1064	哲学概論Ⅱ	伊藤　聡	前期	金	4	常勤	0
P1065	哲学特講Ⅰ	渡邉　邦夫	前期	月	3	常勤	6
P1067	倫理学概論	木村　競	前期	水	1	常勤	4

英語

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤･非常勤	受講者数
P1101	英語学概論Ⅰ	安原　正貴	後期	金	5	常勤	14
P1102	英語学概論Ⅱ	安原　正貴	前期	月	1	常勤	21
P1103	英文法	安原　正貴	前期	金	4	常勤	11
P1107	英語学演習Ⅰ	安原　正貴	後期	金	4	常勤	7
P1108	英語学演習Ⅱ	安原　正貴	4Q	金	3	常勤	1
P1109	英米文学概論Ⅰ	小林　英美	前期	火	1	常勤	23
P1110	英米文学概論Ⅱ	君塚　淳一	前期	木	5	常勤	7
P1111	英米文学特講Ⅰ	小林　英美	前期	水	2	常勤	20
P1112	英米文学特講Ⅱ	小林　英美	前期	火	4	常勤	7
P1113	英米文学特講Ⅲ	君塚　淳一	4Q	木	4	常勤	3
P1114	英米文学特講Ⅳ	君塚　淳一	前期	月	4	常勤	0
P1115	英米文学演習Ⅰ	小林　英美	後期	木	5	常勤	25
P1116	英米文学演習Ⅱ	小林　英美	4Q	月	4	常勤	1
P1117	英米文学演習Ⅲ	君塚　淳一	前期	月	5	常勤	11
P1118	英米文学演習Ⅳ	君塚　淳一	4Q	木	1	常勤	3
P1119	英米文学･文化から教える英語テキスト	君塚　淳一	後期	月	5	常勤	0
P1120	英語コミュニケーションⅠ	トゥール　ティモシー	前期	火	1	非常勤	1
P1121	英語コミュニケーションⅡ	未定	後期	火	2	―	0
P1122	英語コミュニケーションⅢ	相原　和恵	後期	金	1	非常勤	4
P1123	英語コミュニケーションⅣ	アーメンド　ディナ	前期	火	2	非常勤	10
P1124	英語コミュニケーションⅥ	アーメンド　ディナ	後期	火	1	非常勤	13
P1125	英語コミュニケーションⅦ	齋藤　英敏	後期	金	3	常勤	3
P1125	英語コミュニケーションⅦ	齋藤　英敏	後期	集中		常勤	4
P1126	英語コミュニケーションⅧ	君塚　淳一	後期	集中		常勤	6
P1127	英語コミュニケーションⅨ	齋藤　英敏	前期	金	2	常勤	4
P1128	英語コミュニケーションⅩ	クレイバッシンジャー	前期	月	3	非常勤	16
P1129	英語コミュニケーションⅩⅡ	齋藤　英敏	前期	金	4	常勤	10
P1130	異文化理解	小林　英美	後期	集中		常勤	1
P1131	異文化間コミュニケーション	サヴィッジ	通年	集中		非常勤	28

数学

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1201	代数学の基礎Ⅰ	吉井　豊	前期	金	5	常勤	4
P1202	代数学の基礎Ⅱ	吉井　豊	後期	金	5	常勤	7
P1203	代数学A	吉井　豊	前期	金	2	常勤	32
P1204	代数学B	吉井　豊	後期	金	2	常勤	29
P1205	代数学C	松村　初	4Q	火	5	常勤	23
P1206	代数学D	吉井　豊	4Q	金	3	常勤	22
P1207	応用線形代数学	曽我　日出夫	後期	月	5	非常勤	22
P1208	幾何学の基礎Ⅰ	栗原　博之	前期	木	5	常勤	17
P1210	幾何学A	栗原　博之	前期	金	5	常勤	26
P1211	幾何学B	栗原　博之	後期	金	5	常勤	23
P1212	幾何学C	栗原　博之	前期	金	4	常勤	11
P1213	幾何学D	栗原　博之	4Q	金	4	常勤	7
P1214	解析学の基礎Ⅰ	梅津　健一郎	前期	月	5	常勤	29
P1215	解析学の基礎Ⅱ	梅津　健一郎	後期	水	1	常勤	27
P1216	解析学A	梅津　健一郎	前期	月	4	常勤	42
P1217	解析学B	梅津　健一郎	後期	月	4	常勤	34
P1218	解析学C	梅津　健一郎	前期	火	4	常勤	17
P1219	解析学D	梅津　健一郎	4Q	火	4	常勤	18
P1220	確率統計概論	松村　初	前期	金	5	常勤	37
P1221	コンピュータ概論	松村　初	後期	木	3	常勤	0

理科

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1301	物理学概論	永尾　敬一	前期	火	2	常勤	10
P1302	電磁気学	永尾　敬一	後期	水	1	常勤	10
P1305	物理学演習Ⅰ	矢島　裕介	4Q	木	3	常勤	4
P1306	物理学演習Ⅱ（4単位）	矢島　裕介	通年	木	5	常勤	1
P1307	物理学実験Ⅰ	矢島　裕介	後期	金	1	常勤	2
P1309	化学概論	青島　政之	後期	水	2	常勤	2
P1310	有機化学	松川　覚	前期	金	2	常勤	23
P1311	環境化学	松川　覚	後期	火	1	常勤	20
P1312	無機物理化学	青島　政之	前期	火	1	常勤	11
P1313	化学演習Ⅰ（2単位）	松川　覚	4Q	木	3	常勤	7
P1314	化学演習Ⅱ（4単位）	松川　覚	通年	木	5	常勤	2
P1315	化学実験Ⅰ	松川　覚	前期	金	4	常勤	22
P1316	化学実験Ⅱ	松川　覚	後期	金	4	常勤	9
P1317	生物学概論	棗田　孝晴	後期	木	2	常勤	1
P1318	植物学	未定	前期	集中		―	0
P1319	動物生態学	棗田　孝晴	後期	月	3	常勤	22
P1324	生物学演習Ⅰ（2単位）	棗田　孝晴	後期	木	5	常勤	2
P1326	生物学野外実習	棗田　孝晴	通年	集中		常勤	6
P1327	生物学実験	棗田　孝晴	前期	火	4	常勤	17
P1328	地学概論	上栗　伸一	前期	木	2	常勤	1
P1329	環境地球科学	伊藤　孝	通年	集中		常勤	0
P1331	地質学	上栗　伸一	後期	金	1	常勤	19
P1332	天文学	伊藤　孝	前期	金	3	常勤	13
P1334	地学演習Ⅰ（2単位）	伊藤　孝	4Q	木	3	常勤	1
P1335	地学演習Ⅱ（4単位）	伊藤　孝	通年	木	5	常勤	7
P1336	地学実験	伊藤　孝	前期	金	4	常勤	1

音楽

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1401	ピアノ	田中　宏明	前期	火	2	常勤	1
P1402	ピアノ	田中　宏明	後期	水	1	常勤	0
P1403	ピアノ	神部　智	前期	金	3	常勤	0
P1404	ピアノ	神部　智	後期	木	5	常勤	0

P1405	ピアノ	田中　宏明	前期	火	1	常勤	7
P1406	ピアノ	田中　宏明	後期	火	1	常勤	7
P1407	ピアノ	神部　智	前期	金	2	常勤	6
P1408	ピアノ	神部　智	後期	金	2	常勤	6
P1409	ピアノ	田中　宏明	前期	水	2	常勤	5
P1410	ピアノ	田中　宏明	4Q	火	2	常勤	5
P1411	管打楽器	脇岡　宗一	前期	水	3	非常勤	12
P1413	管打楽器	脇岡　宗一	後期	水	3	非常勤	11
P1415	弦楽器	野末　あけみ	前期	水	5	非常勤	9
P1415	弦楽器	野末　あけみ	後期	集中		非常勤	5
P1416	合奏	山口　哲人	1Q	火	1	常勤	15
P1417	日本音楽(箏)	大須賀　佳緒里	後期	集中		非常勤	14
P1418	独唱	谷川　佳幸	前期	月	4	常勤	0
P1419	独唱	谷川　佳幸	後期	金	2	常勤	0
P1420	独唱	藤田　文子	前期	金	4	常勤	0
P1421	独唱	藤田　文子	後期	金	2	常勤	0
P1422	独唱	谷川　佳幸	前期	火	2	常勤	7
P1423	独唱	谷川　佳幸	後期	金	1	常勤	7
P1424	独唱	藤田　文子	前期	金	3	常勤	6
P1425	独唱	藤田　文子	後期	金	5	常勤	6
P1426	独唱	谷川　佳幸	前期	水	1	常勤	4
P1427	独唱	谷川　佳幸	4Q	水	1	常勤	5
P1428	合唱	谷川　佳幸	前期	月	5	常勤	14
P1430	ソルフェージュⅠ	山口　哲人	前期	水	1	常勤	0
P1431	ソルフェージュⅡ	田中　宏明	後期	木	2	常勤	1
P1432	指揮法	山口　哲人	2Q	火	1	常勤	14
P1433	和声学	山口　哲人	前期	月	2	常勤	14
P1434	対位法	山口　哲人	前期	月	3	常勤	14
P1435	作曲法	山口　哲人	前期	月	4	常勤	14
P1436	作曲特別演習Ⅰ	山口　哲人	前期	月	1	常勤	0
P1437	作曲特別演習Ⅱ(1単位)	山口　哲人	4Q	月	4	常勤	1
P1438	音楽史	神部　智	前期	木	5	常勤	14
P1439	音楽学	神部　智	後期	金	3	常勤	13
P1440	音楽学特別演習Ⅰ	神部　智	前期	水	2	常勤	0
P1441	音楽学特別演習Ⅱ(1単位)	神部　智	後期	水	2	常勤	0
P1442	音楽教育特別演習Ⅰ	田中　健次	前期	集中		常勤	0
P1443	音楽教育特別演習Ⅱ(1単位)	田中　健次	後期	水	1	常勤	0
P1444	音楽教育特別演習Ⅲ	藤田　文子	前期	水	2	常勤	0
P1445	音楽教育特別演習Ⅳ(1単位)	藤田　文子	後期	水	2	常勤	0

美術

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1501	絵画基礎	片口　直樹	1Q	金	3	常勤	1
P1502	絵画Ⅰ	片口　直樹	前期	金	2	常勤	14
P1504	絵画表現演習Ⅰ	片口　直樹	前期	木	4	常勤	5
P1505	絵画表現演習Ⅱ	片口　直樹	後期	集中		常勤	4
P1507	絵画特別演習	片口　直樹	後期	集中		常勤	11
P1508	彫刻基礎	島　剛	前期	金	3	常勤	0
P1509	彫刻Ⅰ	島　剛	後期	金	3	常勤	13
P1511	彫刻表現演習Ⅰ	島　剛	前期	金	1	常勤	4
P1512	彫刻表現演習Ⅱ	島　剛	通年	集中		常勤	0
P1513	塑造特別演習	島　剛	通年	集中		常勤	4
P1514	彫刻特別演習	島　剛	通年	集中		常勤	2
P1515	デザイン基礎	島田　裕之	後期	水	2	常勤	0
P1516	デザインⅠ	島田　裕之	前期	金	4	常勤	18
P1517	デザインⅡ	島田　裕之	後期	金	4	常勤	13
P1518	デザイン表現演習Ⅰ	島田　裕之	前期	木	5	常勤	9
P1519	デザイン表現演習Ⅱ	島田　裕之	後期	集中		常勤	9
P1521	工芸基礎	石黒　美男	後期	木	5	非常勤	18

P1522	工芸Ⅰ	石黒　美男	後期	集中		非常勤	9
P1523	工芸Ⅱ	未定	通年	集中		ー	0
P1527	西洋美術史Ⅰ	甲斐　教行	前期	火	1	常勤	15
P1528	西洋美術史Ⅱ	甲斐　教行	後期	火	1	常勤	4
P1529	日本美術史Ⅰ	小泉　晋弥	前期	金	5	常勤	14
P1530	日本美術史Ⅱ	小泉　晋弥	後期	金	1	常勤	9
P1531	西洋美術史特別演習Ⅰ	甲斐　教行	前期	火	5	常勤	4
P1532	西洋美術史特別演習Ⅱ	甲斐　教行	後期	木	2	常勤	4
P1533	日本美術史特別演習Ⅰ	小泉　晋弥	前期	月	3	常勤	2
P1534	日本美術史特別演習Ⅱ	小泉　晋弥	通年	集中		常勤	0
P1535	日本美術実地研究	関係教員	通年	集中		ー	14
P1536	造形美学	小泉　晋弥	前期	水	3	常勤	18
P1537	工芸理論	石黒　美男	通年	集中		非常勤	10
P1540	現代アート論	小泉　晋弥	後期	火	2	常勤	10
P1541	美術教育特別演習ＡⅠ	金子　一夫	前期	火	4	常勤	6
P1542	美術教育特別演習ＢⅠ	向野　康江	前期	木	2	常勤	5
P1543	美術教育特別演習ＡⅡ	金子　一夫	後期	集中		常勤	6
P1544	美術教育特別演習ＢⅡ	向野　康江	後期	集中		常勤	3

体育

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1601	陸上競技	上地　勝		木	4	常勤	19
P1602	ギムナスティック	清水　満		金	4	非常勤	20
P1603	ダンス・身体表現	篠田　明音	後期	火	2	常勤	0
P1604	水泳	富樫　泰一		集中		常勤	2
P1605	バスケットボール	加藤　敏弘	前期	火	2	常勤	2
P1606	ソフトボール	大津　展子	前期	金	4	常勤	20
P1608	バレーボール	勝本　真	前期	木	3	常勤	19
P1609	卓球・テニス	日下　裕弘	前期	月	1	常勤	18
P1610	柔道	中嶋　哲也	前期	火	3	常勤	0
P1611	剣道	未定	前期	月	4	ー	0
P1612	野外運動	富樫　泰一	前期	集中		常勤	3
P1613	スキー	渡邊　將司	後期	集中		常勤	7
P1614	体育学概論	中嶋　哲也	前期	金	1	常勤	0
P1615	体育史	中嶋　哲也	前期	金	3	常勤	0
P1616	測定評価	渡邊　將司	後期	金	2	常勤	2
P1618	体育経営管理学	日下　裕弘	前期	火	2	常勤	17
P1620	体育スポーツ社会学	日下　裕弘	後期	月	2	常勤	0
P1621	運動学概論	勝本　真	後期	金	1	常勤	0
P1622	トレーニング法	渡邊　將司	後期	水	1	常勤	1
P1623	コーチング論Ⅰ	白井　祐介	後期	集中		非常勤	18
P1624	コーチング論Ⅱ	勝本　真	通年	集中		常勤	37
P1625	陸上競技方法論	上地　勝	前期	木	2	常勤	19
P1628	ボールゲーム方法論	吉野　聡	前期	火	4	常勤	17
P1629	武道方法論	中嶋　哲也	後期	木	2	常勤	0
P1630	生理学概論（保健体育選修）	松坂　晃	前期	月	4	常勤	20
P1631	形態学	渡邊　將司	前期	水	1	常勤	1
P1633	栄養学	西川　陽子	後期	木	4	常勤	0
P1634	運動処方論	松坂　晃	前期	月	3	常勤	2
P1635	運動障害予防法	白木　仁	後期	集中		非常勤	18
P1636	スポーツ栄養学	古旗　照美	通年	集中		非常勤	2
P1637	衛生公衆衛生学概論	上地　勝	後期	金	4	常勤	23
P1640	救急処置法	富樫　泰一	通年	集中		常勤	24
P1641	保健体育総合演習	大津　展子	通年	集中		常勤	16
P1642	保健体育特別演習Ⅰ	大津　展子	通年	集中		常勤	18
P1643	保健体育特別演習Ⅱ	大津　展子	通年	集中		常勤	11

技術

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1701	製図Ⅰ	堤　一郎	前期	木	3	常勤	1
P1702	基礎木材加工	臼坂　高司	前期	火	3	常勤	3
P1703	木材加工の基礎技術	臼坂　高司	前期	月	4	常勤	0
P1704	木材加工の応用技術	臼坂　高司	後期	水	1	常勤	0
P1705	木材加工学	臼坂　高司	後期	木	5	常勤	6
P1706	木材加工演習	臼坂　高司	前期	水	1	常勤	3
P1707	製図Ⅱ	野崎　英明	後期	金	2	常勤	1
P1708	基礎金属加工	野崎　英明	前期	木	5	常勤	0
P1709	金属加工の基礎技術	野崎　英明	前期	金	4	常勤	19
P1710	金属加工の応用技術	野崎　英明	後期	金	4	常勤	18
P1711	金属加工学	野崎　英明	前期	金	3	常勤	15
P1712	金属加工演習	野崎　英明	前期	水	1	常勤	3
P1713	基礎機械工学	堤　一郎	後期	火	1	常勤	0
P1714	機械の基礎技術	堤　一郎	前期	火	4	常勤	17
P1715	機械の応用技術	堤　一郎	4Q	木	1	常勤	5
P1716	機械工学	堤　一郎	前期	金	2	常勤	7
P1717	機械工学演習	堤　一郎	前期	水	1	常勤	2
P1718	基礎電気	榊　守	後期	木	5	常勤	6
P1719	電気の基礎技術	榊　守	前期	木	4	常勤	19
P1720	電気の応用技術	榊　守	3Q	金	1	常勤	2
P1721	電気工学	榊　守	前期	金	2	常勤	12
P1722	電気工学演習	榊　守	前期	水	1	常勤	2
P1723	基礎栽培学	大西　有	前期	金	2	常勤	0
P1724	栽培の基礎技術	大西　有	前期	月	3	常勤	17
P1725	栽培の応用技術	大西　有	4Q	月	3	常勤	9
P1727	栽培演習	大西　有	前期	水	1	常勤	4
P1728	基礎情報処理	工藤　雄司	前期	木	4	常勤	12
P1729	情報処理の基礎技術Ⅰ	佐々木　忠之	前期	金	3	常勤	18
P1730	情報処理の基礎技術Ⅱ	佐々木　忠之	前期	金	4	常勤	17
P1731	情報処理の応用技術	佐々木　忠之	4Q	金	4	常勤	3
P1732	情報教育研究法	工藤　雄司	後期	集中		常勤	3
P1734	情報基礎演習	田村　俊之	通年	集中		非常勤	2

家庭

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1801	食物学概論	西川　陽子	前期	火	1	常勤	6
P1802	食品衛生管理学	西川　陽子	後期	集中		常勤	2
P1803	食生活論	西川　陽子	前期	木	4	常勤	16
P1804	栄養学	西川　陽子	後期	木	4	常勤	14
P1805	食物学演習	西川　陽子	4Q	水	2	常勤	3
P1806	調理学基礎	石島　恵美子	後期	金	1	常勤	0
P1808	被服学概論	木村　美智子	後期	火	2	常勤	2
P1809	衣生活論	木村　美智子	前期	木	5	常勤	18
P1810	被服環境学	木村　美智子	通年	集中		常勤	3
P1811	アパレル科学	木村　美智子	前期	火	4	常勤	3
P1812	被服学演習	木村　美智子	4Q	水	1	常勤	2
P1813	被服構成学基礎	木村　美智子	前期	水	1	常勤	1
P1814	被服構成学応用	米今　由希子	後期	集中		非常勤	2
P1815	住居学概論	乾　康代	前期	金	5	常勤	16
P1816	住居デザインⅠ	乾　康代	後期	金	5	常勤	1
P1817	住居デザインⅡ	乾　康代	前期	水	2	常勤	0
P1818	住居学演習	乾　康代	後期	火	3	常勤	0
P1819	保育学概論	数井　みゆき	前期	木	3	常勤	2
P1821	親子関係学	数井　みゆき	前期	月	4	常勤	16
P1822	保育学演習	数井　みゆき	4Q	木	4	常勤	3
P1823	家庭経営学概論	佐藤　裕紀子	前期	金	4	常勤	0
P1824	家事労働論	佐藤　裕紀子	後期	金	2	常勤	16

P1825	現代家族論	佐藤　裕紀子	後期	金	4	常勤	43
P1826	家族とジェンダー	佐藤　裕紀子	前期	火	1	常勤	11
P1827	家庭経営学演習	佐藤　裕紀子	4Q	木	2	常勤	3
P1828	家庭電気・機械	榊　守	後期	集中		常勤	1
P1829	情報教育研究法	工藤　雄司	後期	集中		常勤	18

教育基礎

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1901	教育哲学	青柳　路子	後期	月	4	常勤	11
P1902	教育哲学特講	小川　哲哉	前期	火	3	常勤	4
P1903	教育思想	青柳　路子	前期	月	4	常勤	9
P1905	教育史演習Ⅰ	小川　哲哉	後期	火	3	常勤	6
P1906	教育史演習Ⅱ	佐藤　環	後期	金	2	常勤	8
P1907	教育史特講	佐藤　環	前期	金	1	常勤	5
P1908	教育行政特講	加藤　崇英	前期	金	5	常勤	0
P1909	教育行政演習	加藤　崇英	後期	金	5	常勤	1
P1910	社会教育計画Ⅰ	長谷川　幸介	前期	木	3	非常勤	40
P1912	社会教育演習	佐々木　尚毅	通年	集中		非常勤	4
P1913	社会教育実習	望月　厚志	後期	集中		常勤	1
P1915	学習指導演習	杉本　憲子	後期	金	4	常勤	15
P1917	教育的関係論特講	未定	通年	集中		―	0
P1918	学習指導特講	杉本　憲子	前期	金	4	常勤	13
P1919	教育課程演習	打越　正貴	前期	月	3	常勤	3

（4）高等学校「情報」

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1951	情報社会及び情報倫理	實原　隆志	通年	集中		非常勤	6
P1952	情報技術の基礎	松村　初	後期	金	1	常勤	13
P1953	情報技術演習Ⅰ	佐々木　忠之	4Q	金	4	常勤	6
P1954	情報技術演習Ⅱ	本村　猛能	後期	集中		非常勤	1
P1955	情報処理技術	佐々木　忠之	前期	木	2	常勤	5
P1956	情報システム	工藤　雄司	前期	火	1	常勤	17
P1957	情報システム演習	田村　俊之	通年	集中		非常勤	11
P1959	情報通信ネットワーク演習	工藤　雄司	前期	木	4	常勤	13
P1960	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ技法	榊　守	通年	集中		常勤	0
P1961	ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ表現の理論及び演習	小泉　晋弥	後期	集中		常勤	2
P1962	情報編集法	関　友作	後期	火	1	常勤	12
P1964	データ解析法	関　友作	後期	木	1	常勤	6
P1965	静止画像処理	島田　裕之	4Q	火	3	常勤	1
P1966	動画像処理	折笠　良	通年	集中		非常勤	0
P1967	情報と職業	工藤　雄司	後期	集中		常勤	16

（5）特別支援教育に関する科目

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P2101	特別支援教育原論	荒川　智	前期	月	5	常勤	43
P2102	障害児教育学演習Ⅰ	荒川　智	後期	集中		常勤	3
P2103	障害児教育学演習Ⅱ	新井　英靖	後期	集中		常勤	6
P2104	特別支援教育研究法	新井　英靖	前期	水	2	常勤	19
P2105	知的障害児の心理	細川　美由紀	前期	月	4	常勤	32
P2106	知的障害児の生理	勝二　博亮	前期	火	5	常勤	40
P2107	知的障害児の病理	東條　吉邦	前期	木	4	常勤	27
P2108	障害児心理学演習Ⅰ	細川　美由紀	後期	集中		常勤	4
P2109	障害児心理学演習Ⅱ	東條　吉邦	通年	集中		常勤	0
P2110	障害児生理学演習Ⅰ	田原　敬	後期	集中		常勤	4
P2111	障害児生理学演習Ⅱ	勝二　博亮	後期	集中		常勤	4
P2112	肢体不自由児の生理	岡澤　慎一	通年	集中		非常勤	15
P2113	病弱児の生理	勝二　博亮	前期	火	4	常勤	27

P2114	知的障害児の教育方法	新井　英靖	1Q	火	1	常勤	36
P2115	知的障害児教育実践論	新井　英靖	2Q	火	1	常勤	32
P2117	障害児発達臨床学	東條　吉邦	前期	木	5	常勤	2
P2118	障害児心理診断法	細川　美由紀	前期	金	3	常勤	12
P2120	肢体不自由児の教育方法	新井　英靖	後期	月	2	常勤	66
P2121	病弱児の教育方法	新井　英靖	前期	月	3	常勤	42
P2122	聴覚言語病理	田原　敬	後期	金	2	常勤	30
P2123	感覚障害児の教育	田原　敬	通年	集中		常勤	20
P2124	重度重複障害児教育論	新井　英靖	1Q	金	5	常勤	38
P2125	重度重複障害児教育実践論	新井　英靖	通年	集中		常勤	6
P2126	発達障害児教育概論	細川　美由紀	後期	金	3	常勤	45
P2127	障害児生理機能評価法	勝二　博亮	後期	金	5	常勤	28
P2128	障害児教育総論	荒川　智	1Q	火	3	常勤	13

（6）養護に関する科目

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P3001	衛生学	瀧澤　利行	前期	金	2	常勤	39
P3002	公衆衛生学	瀧澤　利行	前期	火	5	常勤	39
P3003	保健福祉論	瀧澤　利行	前期	金	3	常勤	9
P3004	保健学演習	青柳　直子	4Q	火	4	常勤	37
P3005	学校保健概論	瀧澤　利行	前期	金	5	常勤	40
P3006	小児健康運動学	松坂　晃	前期	金	4	常勤	39
P3007	学校環境衛生	瀧澤　利行	3Q	金	3	常勤	37
P3008	養護学概論	斉藤　ふくみ	後期	火	2	常勤	3
P3009	養護実践論	斉藤　ふくみ	前期	月	3	常勤	38
P3010	養護活動と関連法規	瀧澤　利行	4Q	金	2	常勤	37
P3011	養護活動演習Ⅰ	斉藤　ふくみ	後期	月	3	常勤	39
P3012	養護活動演習Ⅱ	斉藤　ふくみ	前期	木	1	常勤	37
P3013	学校ヘルスカウンセリング	人見　健太郎	後期	集中		非常勤	31
P3014	健康相談活動	斉藤　ふくみ	前期	火	3	常勤	39
P3015	栄養学	西川　陽子	後期	木	4	常勤	39
P3016	解剖生理学	石原　研治	前期	金	1	常勤	0
P3017	解剖生理学演習	石原　研治	後期	火	1	常勤	0
P3018	障害児の病理	東條　吉邦	前期	木	4	常勤	38
P3019	免疫学Ⅰ	石原　研治	後期	木	2	常勤	0
P3020	免疫学Ⅱ	石原　研治	前期	水	1	常勤	38
P3021	薬理学	石原　研治	前期	金	2	常勤	37
P3022	精神保健	瀧澤　利行	前期	火	4	常勤	38
P3023	精神医学	古池　雄治	前期	金	1	常勤	38
P3024	臨床医学概論	古池　雄治	前期	木	5	常勤	38
P3025	学校看護学概論	廣原　紀恵	前期	水	1	常勤	1
P3026	学校看護学実習	廣原　紀恵	前期	火	3	常勤	39
P3027	学校救急看護	廣原　紀恵	前期	火	1	常勤	38
P3028	学校救急看護実習	廣原　紀恵	後期	金	1	常勤	38
P3029	学校救急看護演習Ⅰ	廣原　紀恵	後期	集中		常勤	35
P3031	内科系臨床医学・看護学	古池　雄治	後期	木	5	常勤	33
P3032	外科系臨床医学・看護学	古池　雄治	後期	木	1	常勤	34
P3033	母性・小児系臨床医学・看護学	古池　雄治	前期	木	2	常勤	38
P3034	感覚器系臨床医学・看護学	古池　雄治	前期	木	4	常勤	38
P3037	臨床医学・看護学臨床実習	古池　雄治	通年	集中		常勤	37
P3038	小児・思春期保健学	青柳　直子	前期	金	3	常勤	37

（7）情報文化課程
課程共通科目

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P4501	情報文化論	小山　昌宏	通年	集中		非常勤	7
P4501	情報文化論	小山　昌宏	通年	集中		非常勤	65
P4502	情報と倫理	實原　隆志	通年	集中		非常勤	22

P4503	情報教育論	小林　祐紀	後期	木	2	常勤	21
P4504	プログラミング入門	本村　猛能	後期	集中		非常勤	5
P4505	基礎情報処理	工藤　雄司	前期	木	4	常勤	19
P4506	動画像処理（初級）a	折笠　良	後期	集中		非常勤	11
P4508	Illustrator で DTP（初級）	島田　裕之	2Q	火	3	常勤	31
P4509	静止画像処理（初級）	佐々木　忠之	前期	金	3	常勤	2
P4510	ウェブ制作（初級）a	林　延哉	前期	木	5	常勤	0
P4511	ウェブ制作（初級）b	林　延哉	2Q	木	5	常勤	15
P4512	人間工学	齋藤　芳徳	後期	月	2	常勤	29
P4513	子どもアート論	石山　幸弘	前期	金	4	非常勤	11
P4514	統計の初歩	林　延哉	前期	火	5	常勤	45
P4515	統計学の基礎	小林　祐紀	前期	金	3	常勤	42
P4516	チームワーク＆コーチング論	加藤　敏弘	後期	火	1	常勤	37
P4517	課題図書講読Ⅰ	林　延哉	通年	集中		常勤	19
P4518	課題図書講読Ⅱ	林　延哉	通年	集中		常勤	58
P4519	課題図書講読Ⅲ	林　延哉	通年	集中		常勤	16
P4520	生涯学習論	望月　厚志	後期	集中		常勤	24
P4521	インターンシップ	岩佐　淳一	通年	集中		常勤	6

課程専門科目

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P4522	情報文化広報プロジェクトⅠ	林　延哉	前期	集中		常勤	39
P4523	情報文化広報プロジェクトⅡ	林　延哉	後期	集中		常勤	38
P4524	メディア批評プロジェクトⅠ	小泉　晋弥	前期	集中		常勤	10
P4525	メディア批評プロジェクトⅡ	小泉　晋弥	後期	集中		常勤	9
P4526	地域活動プロジェクトⅠ	小泉　晋弥	前期	集中		常勤	21
P4527	地域活動プロジェクトⅡ	小泉　晋弥	後期	集中		常勤	21
P4528	映像工房プロジェクトⅠ	島田　裕之	前期	集中		常勤	23
P4529	映像工房プロジェクトⅡ	島田　裕之	後期	集中		常勤	24
P4530	子ども文化プロジェクトⅠ	林　延哉	前期	集中		常勤	32
P4531	子ども文化プロジェクトⅡ	林　延哉	後期	集中		常勤	31
P4532	音×環境プロジェクト 1	林　延哉	前期	集中		常勤	5
P4533	音×環境プロジェクト 2	林　延哉	後期	集中		常勤	5
P4534	ICT演習	小林　祐紀	後期	火	1	常勤	20
P4535	静止画像処理（中級）	島田　裕之	4Q	火	3	常勤	8
P4536	情報技術演習	佐々木　忠之	4Q	金	4	常勤	13
P4537	マルチメディア・コンテンツ制作	本村　猛能	後期	集中		非常勤	16
P4538	設計製図Ⅰ	乾　康代	後期	金	5	常勤	10
P4539	設計製図Ⅱ	齋藤　芳徳	前期	火	4	常勤	4
P4540	設計製図Ⅲ	齋藤　芳徳	後期	月	3	常勤	7
P4541	図学演習	齋藤　芳徳	前期	火	3	常勤	35
P4543	住居計画学	乾　康代	前期	金	5	常勤	30
P4544	住居環境学	乾　康代	後期	木	2	常勤	13
P4545	住環境計画学	乾　康代	前期	金	2	常勤	32
P4546	居住地計画演習	乾　康代	後期	木	4	常勤	34
P4547	インテリアデザイン演習	齋藤　芳徳	前期	月	2	常勤	24
P4548	ユニバーサルデザイン演習	齋藤　芳徳	後期	火	2	常勤	11
P4550	デザイン素材研究	未定	通年	集中		―	0
P4551	生活デザイン演習Ⅰ	佐々木　忠之	後期	木	4	常勤	19
P4552	生活デザイン演習Ⅱ	佐々木　忠之	前期	火	4	常勤	9
P4557	視覚コミュニケーション演習	島田　裕之	後期	水	2	常勤	10
P4558	デザイン史演習	島田　裕之	前期	金	4	常勤	23
P4560	感覚の科学	佐々木　忠之	前期	木	2	常勤	67
P4563	子どもアート演習	福田　邦夫	通年	集中		非常勤	0
P4568	表象文化論	小泉　晋弥	前期	木	3	常勤	56
P4569	現代美術論	小泉　晋弥	後期	火	2	常勤	94
P4570	現代工芸論	石黒　美男	通年	集中		非常勤	8
P4571	造形理論	甲斐　教行	前期	水	3	常勤	24
P4572	日本美術史Ⅰ	小泉　晋弥	前期	金	5	常勤	50

P4573	日本美術史Ⅱ	小泉　晋弥	後期	金	1	常勤	55
P4574	西洋美術史Ⅰ	甲斐　教行	前期	火	1	常勤	51
P4575	西洋美術史Ⅱ	甲斐　教行	後期	火	1	常勤	15
P4576	西洋美術史特別講義Ⅰ	藤原　貞朗	前期	火	2	常勤	32
P4578	古美術実地研究	林　延哉	通年	集中		常勤	5
P4581	表現の基礎Ⅰ	島　剛	1Q	月	4	常勤	1
P4582	表現の基礎Ⅱ	島　剛	2Q	月	4	常勤	1
P4583	造形実技Ⅱ	片口　直樹	後期	集中		常勤	1
P4584	平面表現演習Ⅰ	片口　直樹	1Q	金	3	常勤	1
P4585	平面表現演習Ⅱ	片口　直樹	前期	金	2	常勤	15
P4588	絵画特別演習	片口　直樹	後期	集中		常勤	8
P4589	立体表現演習Ⅰ	島　剛	2Q	金	3	常勤	1
P4590	立体表現演習Ⅱ	島　剛	後期	金	3	常勤	1
P4592	塑造特別演習	島　剛	通年	集中		常勤	1
P4594	絵本制作演習	島田　裕之	後期	金	4	常勤	25
P4596	社会調査の基礎	小林　祐紀	後期	月	4	常勤	7
P4597	メディア・リテラシーⅠ	村野井　均	後期	月	3	常勤	91
P4598	メディア・リテラシーⅡ	岩佐　淳一	4Q	水	1	常勤	10
P4599	フィールドワークの科学	岩佐　淳一	1Q	水	1	常勤	19
P4601	社会文化情報演習Ⅰ	小林　祐紀	前期	金	4	常勤	28
P4602	社会文化情報演習Ⅱ	岩佐　淳一	前期	火	5	常勤	14
P4604	社会臨床演習Ⅱ	林　延哉	後期	火	5	常勤	28
P4605	情報社会論	岩佐　淳一	後期	木	1	常勤	50
P4606	マス・コミュニケーション論	岩佐　淳一	前期	木	1	常勤	34
P4607	文化の社会学	岩佐　淳一	後期	木	2	常勤	38
P4608	人文地理学	小野寺　淳	後期	木	2	常勤	28
P4609	社会と文化Ⅰ	小林　祐紀	前期	火	1	常勤	24
P4610	社会と文化Ⅱ	小林　祐紀	後期	金	2	常勤	16
P4614	視聴覚教育メディア論	小泉　晋弥	後期	集中		常勤	1
P4615	茨城の歴史と文化	小野寺　淳	後期	金	2	常勤	47
P4616	ヨーロッパの歴史と文化	藤崎　衛	前期	金	2	非常勤	7
P4617	アメリカ文学史	君塚　淳一	前期	木	5	常勤	47
P4618	アメリカ社会論	君塚　淳一	前期	月	4	常勤	61
P4619	映像作品と時代そして文化的背景	君塚　淳一	後期	木	5	常勤	64
P4620	博物館学Ⅰ	田中　裕	前期	木	5	常勤	0
P4621	博物館学Ⅰ(教育と理念)	田中　裕	前期	木	5	常勤	27
P4622	博物館学Ⅱ(経営論)	梶山　孝	後期	月	4	常勤	29
P4623	博物館学Ⅱ	梶山　孝	後期	月	4	常勤	0
P4624	博物館学Ⅲ	小泉　晋弥	前期	木	2	常勤	1
P4625	博物館学Ⅲ(資料論)	小泉　晋弥	前期	木	2	常勤	5
P4626	博物館学Ⅳ(展示論)	関係教員	前期	集中		―	8
P4627	文化財保存と博物館	田中　裕	通年	集中		常勤	6
P4628	情報メディアと博物館	田中　裕	後期	水	3	常勤	8
P4629	博物館実習Ⅰ	小泉　晋弥	通年	集中		常勤	0
P4630	博物館実習Ⅱ	小泉　晋弥	通年	集中		常勤	5
P4631	美術館ワークショップ実習	片口　直樹	通年	集中		常勤	28
P4632	博物館実習Ⅰ(校内実習)	小泉　晋弥	通年	集中		常勤	5
P4635	構造力学	野崎　英明	前期	月	3	常勤	43
P4636	材料力学	車谷　麻緒	後期	月	1	常勤	18
P4637	コンクリート構造学	原田　隆郎	後期	木	1	常勤	0
P4639	建築法規	齋藤　芳徳	前期	火	2	常勤	7
P4642	測量学	桑原　祐史	前期	金	3	常勤	3
P4643	建設材料学	沼尾　達弥	前期	月	1	常勤	1
P4644	都市・地域計画	金　利昭	後期	火	1	常勤	7
P4645	建築学概論	一ノ瀬　彩	前期	金	4	常勤	4
P4646	都市計画論Ⅰ	斎藤　義則	後期	火	2	常勤	1
P4647	都市計画論Ⅱ	斎藤　義則	前期	火	2	常勤	9
P4648	特別演習Ⅰ	林　延哉	前期	集中		常勤	66
P4649	特別演習Ⅱ	林　延哉	後期	集中		常勤	67

（8）人間環境教育課程

共通

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P5001	社会と思想	木村　競	後期	火	5	常勤	22
P5002	現代のナショナリズム	木村　競	後期	火	3	常勤	10
P5003	科学技術と社会	曽我　日出夫	前期	水	1	非常勤	13
P5004	教育実践と教師	望月　厚志	前期	火	1	常勤	4
P5005	教育の本質と理念	小川　哲哉	後期	木	1	常勤	4
P5009	情報化社会の諸問題	郡司　晴元	前期	金	1	常勤	13
P5010	生活の中の環境問題	郡司　晴元	後期	月	1	常勤	7
P5011	子どもの遊びと体験学習（人間環境教育課程）	日下　裕弘	前期	水	3	常勤	10
P5013	現代社会の人間関係	村野井　均	前期	月	3	常勤	20
P5014	人間教育の心理学	丸山　広人	前期	木	1	常勤	3
P5016	データ解析法	関　友作	後期	木	1	常勤	22
P5018	情報編集法	関　友作	後期	火	1	常勤	14
P5019	技能伝達法	加藤　敏弘	前期	火	1	常勤	41
P5020	コミュニケーション演習	加藤　敏弘	後期	水	2	常勤	22
P5022	チームワーク＆コーチング論	加藤　敏弘	後期	火	1	常勤	25
P5023	組織の合意	曽我　日出夫	前期	水	2	非常勤	14
P5024	生涯学習論	望月　厚志	通年	集中		常勤	0
P5027	総合演習	関　友作	通年	集中		常勤	5
P5028	知識経営特別演習Ⅰ	関　友作	後期	集中		常勤	7
P5029	知識経営特別演習Ⅱ	関　友作	通年	集中		常勤	0
P5030	総合演習	郡司　晴元	通年	集中		常勤	9
P5031	環境特別演習Ⅰ	郡司　晴元	後期	集中		常勤	9
P5032	環境特別演習Ⅱ	郡司　晴元	通年	集中		常勤	14
P5033	総合演習	渡邊　將司	通年	集中		常勤	11
P5034	スポーツ特別演習Ⅰ	渡邊　將司	後期	集中		常勤	12
P5035	スポーツ特別演習Ⅱ	渡邊　將司	通年	集中		常勤	9
P5036	総合演習	上地　勝	通年	集中		常勤	12
P5037	健康特別演習Ⅰ	上地　勝	後期	集中		常勤	11
P5038	健康特別演習Ⅱ	上地　勝	通年	集中		常勤	10
P5039	総合演習	丸山　広人	通年	集中		常勤	9
P5040	心理特別演習Ⅰ	丸山　広人	後期	集中		常勤	10
P5041	心理特別演習Ⅱ	丸山　広人	通年	集中		常勤	10

環境コース

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P5102	地球環境論	阿部　信一郎	後期	金	3	常勤	2
P5104	生物学概論	棗田　孝晴	後期	木	2	常勤	0
P5105	化学概論	青島　政之	後期	水	2	常勤	1
P5106	地学概論	上栗　伸一	前期	木	2	常勤	0
P5107	環境と社会	賀来　健輔	後期	集中		非常勤	11
P5108	環境政策論	賀来　健輔	後期	集中		非常勤	26
P5111	コミュニティー心理学	丸山　広人	前期	月	5	常勤	20
P5112	複雑系の適応行動	曽我　日出夫	後期	木	1	非常勤	12
P5113	住居環境学	乾　康代	後期	木	2	常勤	13
P5114	衛生公衆衛生学概論	上地　勝	後期	金	4	常勤	7
P5115	環境教育論	郡司　晴元	後期	金	2	常勤	3
P5116	環境教育演習	郡司　晴元	前期	木	2	常勤	9
P5117	環境地球科学	伊藤　孝	後期	集中		常勤	11
P5119	地質学	上栗　伸一	後期	金	1	常勤	7
P5121	地形学Ⅰ	田瀬　則雄	前期	金	4	常勤	2
P5122	地学実験	伊藤　孝	前期	金	4	常勤	2
P5123	地学実験指導法	伊藤　孝	前期	金	4	常勤	1
P5125	無機物理化学	青島　政之	前期	火	1	常勤	0
P5126	有機化学	松川　覚	前期	金	2	常勤	13

P5127	水環境論	阿部　信一郎	前期	木	5	常勤	14
P5128	汚染化学論	根岸　正美	前期	火	3	非常勤	14
P5129	化学実験Ⅰ	松川　覚	前期	金	4	常勤	11
P5130	化学実験Ⅱ	松川　覚	後期	金	4	常勤	1
P5131	環境化学	松川　覚	後期	火	1	常勤	11
P5132	植物学	未定	前期	集中		―	0
P5134	動物生態学	棗田　孝晴	後期	月	3	常勤	12
P5135	保全生物学	阿部　信一郎	後期	木	5	常勤	12
P5137	環境科学実験	阿部　信一郎	前期	水	1	常勤	14
P5138	生物学実験	棗田　孝晴	前期	火	4	常勤	5
P5139	臨湖実習	中里　亮治	通年	集中		常勤	6
P5140	生物学野外実習	棗田　孝晴	通年	集中		常勤	5
P5142	最適状態の解析法	曽我　日出夫	後期	月	5	非常勤	11
P5143	微分積分の基礎	梅津　健一郎	前期	月	5	常勤	0
P5144	物理学概論	永尾　敬一	前期	火	2	常勤	12
P5146	物理学実験Ⅰ	矢島　裕介	後期	金	1	常勤	6
P5148	博物館学Ⅰ	田中　裕	前期	木	5	常勤	1
P5149	博物館学Ⅱ	梶山　孝	後期	月	4	常勤	3

スポーツコース

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P5201	体育スポーツ社会学	日下　裕弘	後期	月	2	常勤	11
P5203	コーチング論Ⅰ	白井　祐介	後期	集中		非常勤	18
P5204	体育学概論	中嶋　哲也	前期	金	1	常勤	0
P5205	体育史	中嶋　哲也	前期	金	3	常勤	0
P5206	体育経営管理学	日下　裕弘	前期	火	2	常勤	3
P5207	運動学概論	勝本　真	後期	金	1	常勤	0
P5208	コーチング論Ⅱ	勝本　真	前期	集中		常勤	38
P5209	栄養学	西川　陽子	後期	木	4	常勤	3
P5210	トレーニング法	渡邊　將司	後期	水	1	常勤	4
P5212	運動障害予防法	白木　仁	後期	集中		非常勤	9
P5213	運動障害救急法	富樫　泰一	通年	集中		常勤	14
P5214	生理学概論（スポーツコース）	松坂　晃	前期	月	4	常勤	10
P5215	形態学	渡邊　將司	前期	水	1	常勤	0
P5216	測定評価	渡邊　將司	後期	金	2	常勤	10
P5217	スポーツ栄養学	古旗　照美	通年	集中		非常勤	3
P5218	運動処方論	松坂　晃	前期	月	3	常勤	0
P5219	衛生公衆衛生学概論	上地　勝	後期	金	4	常勤	10
P5223	健康心理学	櫻井　由美子	通年	集中		非常勤	16
P5224	野外運動	富樫　泰一	前期	集中		常勤	7
P5225	スキー	渡邊　將司	通年	集中		常勤	0
P5226	陸上競技	渡邊　將司	前期	木	4	常勤	14
P5227	ギムナスティック	會沢　哲史	前期	金	4	非常勤	10
P5228	ダンス・身体表現	篠田　明音	後期	火	2	常勤	10
P5229	水泳	富樫　泰一	通年	集中		常勤	0
P5230	バスケットボール	加藤　敏弘	前期	火	2	常勤	0
P5232	バレーボール	勝本　真	前期	木	3	常勤	10
P5233	卓球・テニス	日下　裕弘	前期	月	1	常勤	12
P5234	ソフトボール	大津　展子	前期	金	4	常勤	6
P5235	柔道	中嶋　哲也	前期	火	3	常勤	0
P5236	剣道	未定	前期	月	4	―	0
P5237	陸上競技方法論	渡邊　將司	前期	木	2	常勤	14
P5240	ボールゲーム方法論	吉野　聡	前期	火	4	常勤	4
P5241	武道方法論	中嶋　哲也	後期	木	2	常勤	1
P5242	陸上競技指導法	渡邊　將司	前期	木	4	常勤	5
P5244	ダンス・身体表現指導法	篠田　明音	後期	火	2	常勤	0
P5245	水泳指導法	富樫　泰一	前期	集中		常勤	21
P5246	バスケットボール指導法	加藤　敏弘	前期	火	2	常勤	4
P5247	サッカー指導法	吉野　聡	前期	金	3	常勤	0

P5248	バレーボール指導法	勝本　真	前期	木	3	常勤	13
P5249	卓球・テニス指導法	日下　裕弘	前期	月	1	常勤	8
P5250	ソフトボール指導法	大津　展子	前期	金	4	常勤	1
P5251	柔道指導法	中嶋　哲也	前期	火	3	常勤	0
P5253	野外運動指導法	富樫　泰一	前期	集中		常勤	3
P5254	スキー指導法	富樫　泰一	後期	集中		常勤	2

健康コース

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P5301	衛生公衆衛生学概論	上地　勝	後期	金	4	常勤	11
P5302	健康文化論	瀧澤　利行	前期	火	3	常勤	11
P5304	運動学概論	勝本　真	後期	金	1	常勤	0
P5305	形態学	渡邊　將司	前期	水	1	常勤	0
P5306	生理学概論（健康コース）	松坂　晃	前期	月	4	常勤	11
P5307	栄養学	西川　陽子	後期	木	4	常勤	7
P5308	臨床医学概論	古池　雄治	前期	木	5	常勤	12
P5309	健康心理学	櫻井　由美子	通年	集中		―	10
P5310	測定評価	渡邊　將司	後期	金	2	常勤	11
P5311	保健福祉論	瀧澤　利行	前期	金	3	常勤	0
P5312	トレーニング法	渡邊　將司	後期	水	1	常勤	2
P5314	運動処方論	松坂　晃	前期	月	3	常勤	1
P5315	運動障害予防法	白木　仁	後期	集中		非常勤	12
P5316	運動障害救急法	富樫　泰一	通年	集中		常勤	14
P5317	メンタルヘルス	瀧澤　利行	前期	火	4	常勤	5
P5319	体育史	中嶋　哲也	前期	金	3	常勤	0
P5320	体育経営管理学	日下　裕弘	前期	火	2	常勤	7
P5322	体育学概論	中嶋　哲也	前期	金	1	常勤	0
P5323	体育スポーツ社会学	日下　裕弘	後期	月	2	常勤	11
P5324	食生活と健康	西川　陽子	前期	金	3	常勤	15
P5325	スポーツ栄養学	古旗　照美	通年	集中		非常勤	1
P5327	環境と社会	未定	前期	集中		―	0
P5328	環境政策論	未定	後期	集中		―	0
P5329	住居環境学	乾　康代	後期	木	2	常勤	1
P5330	発達心理学	村野井　均	前期	火	2	常勤	14
P5331	臨床心理学	三輪　壽二	後期	木	2	常勤	0
P5332	保健科教育法Ⅱ	青柳　直子	前期	金	1	常勤	9
P5334	健康相談活動（健康コース）	斉藤　ふくみ	前期	火	3	常勤	10
P5335	障害児生理心理学	勝二　博亮	後期	金	5	常勤	5
P5336	ダンス・身体表現	篠田　明音	後期	火	2	常勤	10
P5337	アクアフィットネス	富樫　泰一	通年	集中		常勤	0
P5338	卓球・テニス	日下　裕弘	前期	月	1	常勤	11
P5339	野外運動	富樫　泰一	前期	集中		常勤	5
P5340	バスケットボール	加藤　敏弘	前期	火	2	常勤	0
P5342	バレーボール	勝本　真	前期	木	3	常勤	10
P5343	ソフトボール	大津　展子	前期	金	4	常勤	2
P5344	ギムナスティック	會沢　哲史	前期	金	4	非常勤	9
P5345	陸上競技	渡邊　將司	前期	木	4	常勤	12
P5346	ボールゲーム方法論	吉野　聡	前期	火	4	常勤	1
P5348	陸上競技方法論	渡邊　將司	前期	木	2	常勤	13
P5349	健康運動指導実習	上地　勝	通年	集中		常勤	22
P5350	健康施設実習	上地　勝	通年	集中		常勤	0

心理コース

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P5403	臨床心理学	三輪　壽二	後期	木	2	常勤	18
P5406	心理学研究法Ⅱ	渡部　玲二郎	後期	火	2	常勤	19
P5409	心理学文献講読Ⅰ	渡部　玲二郎	前期	火	4	常勤	11
P5410	心理学文献講読Ⅱ	村野井　均	後期	火	3	常勤	19

P5413	カウンセリング特講	正保　春彦	前期	月	3	常勤	22
P5414	生涯学習とメディア	村野井　均	後期	火	4	常勤	32
P5418	コミュニティー心理学	丸山　広人	前期	月	5	常勤	20
P5419	健康心理学	櫻井　由美子	通年	集中		非常勤	13
P5421	心理臨床診断法	三輪　壽二	前期	木	4	常勤	21
P5422	職業指導の原理Ⅰ	大平　典男	通年	集中		非常勤	0
P5424	発達の理解A	渡部　玲二郎	前期	木	3	常勤	10
P5425	発達の理解B	村野井　均	後期	木	3	常勤	15
P5426	学校教育相談	三輪　壽二	前期	木	3	常勤	0
P5427	学校教育相談	三輪　壽二	前期	木	3	常勤	9
P5431	心理臨床援助法実習Ⅰ	三輪　壽二	前期	金	3	常勤	11
P5432	心理臨床援助法実習Ⅱ	三輪　壽二	後期	金	4	常勤	9
P5433	衛生公衆衛生学概論	上地　勝	後期	金	4	常勤	0
P5434	生理学概論（心理コース）	松坂　晃	前期	月	4	常勤	8
P5436	健康相談活動（心理コース）	斉藤　ふくみ	前期	火	3	常勤	1
P5437	保健科教育法Ⅰ	青柳　直子	後期	火	1	常勤	0
P5439	学校における子ども虐待の予防と防止(1 単位)	数井　みゆき	後期	火	3	常勤	0
P5440	栄養学	西川　陽子	後期	木	4	常勤	3
P5441	社会福祉論	渋谷　敦司	前期	火	3	常勤	5
P5442	スポーツ心理学	中島　宣行	通年	集中		非常勤	0
P5443	複雑系の適応行動	曽我　日出夫	後期	木	1	非常勤	0
P5444	運動障害救急法	富樫　泰一	通年	集中		常勤	0

（9）特別専門科目

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P5501	教師の資質と教職設計A	五島　浩一	前期	金	5	常勤	93
P5502	教師の資質と教職設計B	五島　浩一	4Q	金	4	常勤	75

（10）卒業研究

授業コード	科目名	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PG301	卒業研究	青島　政之	通年	集中		常勤	2
PG302	卒業研究	青柳　直子	通年	集中		常勤	6
PG303	卒業研究	青柳　路子	通年	集中		常勤	2
PG304	卒業研究	阿部　信一郎	通年	集中		常勤	5
PG305	卒業研究	新井　英靖	通年	集中		常勤	6
PG306	卒業研究	荒川　智	通年	集中		常勤	3
PG307	卒業研究	石島　恵美子	通年	集中		常勤	3
PG308	卒業研究	石原　研治	通年	集中		常勤	6
PG309	卒業研究	伊藤　孝	通年	集中		常勤	4
PG310	卒業研究	乾　康代	通年	集中		常勤	1
PG311	卒業研究	猪井　新一	通年	集中		常勤	1
PG312	卒業研究	岩佐　淳一	通年	集中		常勤	13
PG313	卒業研究	上地　勝	通年	集中		常勤	5
PG314	卒業研究	臼坂　高司	通年	集中		常勤	4
PG315	卒業研究	打越　正貴	通年	集中		常勤	2
PG316	卒業研究	梅津　健一郎	通年	集中		常勤	5
PG317	卒業研究	大島　規江	通年	集中		常勤	2
PG318	卒業研究	大津　展子	通年	集中		常勤	6
PG319	卒業研究	大西　有	通年	集中		常勤	4
PG320	卒業研究	小川　哲哉	通年	集中		常勤	2
PG321	卒業研究	小口　祐一	通年	集中		常勤	5
PG322	卒業研究	生越　達	通年	集中		常勤	3
PG323	卒業研究	小野　義隆	通年	集中		非常勤	0
PG324	卒業研究	小野寺　淳	通年	集中		常勤	3
PG325	卒業研究	甲斐　教行	通年	集中		常勤	2
PG326	卒業研究	賀来　健輔	通年	集中		非常勤	0
PG327	卒業研究	数井　みゆき	通年	集中		常勤	3

PG328	卒業研究	片口　直樹	通年	集中		常勤	7
PG329	卒業研究	勝本　真	通年	集中		常勤	5
PG330	卒業研究	加藤　崇英	通年	集中		常勤	1
PG331	卒業研究	加藤　敏弘	通年	集中		常勤	1
PG332	卒業研究	金子　一夫	通年	集中		常勤	2
PG333	卒業研究	金丸　隆太	通年	集中		常勤	0
PG334	卒業研究	上栗　伸一	通年	集中		常勤	4
PG335	卒業研究	川嶋　秀之	通年	集中		常勤	5
PG336	卒業研究	神部　智	通年	集中		常勤	0
PG337	卒業研究	岸　良範	通年	集中		常勤	0
PG338	卒業研究	君塚　淳一	通年	集中		常勤	3
PG339	卒業研究	木村　勝彦	通年	集中		常勤	4
PG340	卒業研究	木村　競	通年	集中		常勤	1
PG341	卒業研究	木村　美智子	通年	集中		常勤	3
PG342	卒業研究	日下　裕弘	通年	集中		常勤	4
PG343	卒業研究	工藤　雄司	通年	集中		常勤	3
PG344	卒業研究	栗原　博之	通年	集中		常勤	4
PG345	卒業研究	郡司　晴元	通年	集中		常勤	4
PG346	卒業研究	古池　雄治	通年	集中		常勤	6
PG347	卒業研究	小泉　晋弥	通年	集中		常勤	1
PG348	卒業研究	向野　康江	通年	集中		常勤	0
PG349	卒業研究	五島　浩一	通年	集中		常勤	0
PG350	卒業研究	小林　英美	通年	集中		常勤	5
PG351	卒業研究	小林　祐紀	通年	集中		常勤	7
PG352	卒業研究	齋木　久美	通年	集中		常勤	3
PG353	卒業研究	齋藤　英敏	通年	集中		常勤	1
PG354	卒業研究	斉藤　ふくみ	通年	集中		常勤	6
PG355	卒業研究	齋藤　芳徳	通年	集中		常勤	3
PG356	卒業研究	榊　守	通年	集中		常勤	2
PG357	卒業研究	坂場克身	通年	集中		常勤	0
PG358	卒業研究	佐々木　忠之	通年	集中		常勤	3
PG359	卒業研究	佐藤　環	通年	集中		常勤	0
PG360	卒業研究	佐藤　裕紀子	通年	集中		常勤	3
PG361	卒業研究	篠田　明音	通年	集中		常勤	0
PG362	卒業研究	柴原　宏一	通年	集中		常勤	0
PG363	卒業研究	島　剛	通年	集中		常勤	3
PG364	卒業研究	島田　裕之	通年	集中		常勤	13
PG365	卒業研究	勝二　博亮	通年	集中		常勤	3
PG366	卒業研究	昌子　佳広	通年	集中		常勤	3
PG367	卒業研究	正保　春彦	通年	集中		常勤	2
PG368	卒業研究	杉本　憲子	通年	集中		常勤	2
PG369	卒業研究	鈴木　一史	通年	集中		常勤	7
PG370	卒業研究	関　友作	通年	集中		常勤	3
PG371	卒業研究	曽我　日出夫	通年	集中		非常勤	0
PG372	卒業研究	瀧澤　利行	通年	集中		常勤	7
PG373	卒業研究	田瀬　則雄	通年	集中		常勤	2
PG374	卒業研究	巽　申直	通年	集中		非常勤	0
PG375	卒業研究	田中　健次	通年	集中		常勤	0
PG376	卒業研究	田中　宏明	通年	集中		常勤	8
PG377	卒業研究	谷川　佳幸	通年	集中		常勤	3
PG378	卒業研究	田原　敬	通年	集中		常勤	3
PG379	卒業研究	千葉　真由美	通年	集中		常勤	5
PG380	卒業研究	堤　一郎	通年	集中		常勤	2
PG381	卒業研究	寺本　輝正	通年	集中		非常勤	0
PG382	卒業研究	照屋　翔大	通年	集中		常勤	0
PG383	卒業研究	東條　吉邦	通年	集中		常勤	0
PG384	卒業研究	富樫　泰一	通年	集中		常勤	6
PG385	卒業研究	永尾　敬一	通年	集中		常勤	1
PG386	卒業研究	中嶋　哲也	通年	集中		常勤	0
PG387	卒業研究	中野　雅紀	通年	集中		常勤	2

PG388	卒業研究	棗田　孝晴	通年	集中		常勤	0
PG389	卒業研究	野中　美津枝	通年	集中		常勤	3
PG390	卒業研究	西川　陽子	通年	集中		常勤	3
PG391	卒業研究	根本　博	通年	集中		常勤	5
PG392	卒業研究	野崎　英明	通年	集中		常勤	5
PG393	卒業研究	橋浦　洋志	通年	集中		常勤	0
PG394	卒業研究	林　延哉	通年	集中		常勤	17
PG395	卒業研究	廣原　紀恵	通年	集中		常勤	6
PG396	卒業研究	藤井　とし子	通年	集中		常勤	0
PG397	卒業研究	藤崎　衛	通年	集中		非常勤	3
PG398	卒業研究	藤田　文子	通年	集中		常勤	0
PG399	卒業研究	藤田　達人	通年	集中		常勤	0
PG400	卒業研究	細川　美由紀	通年	集中		常勤	6
PG401	卒業研究	本田　敏明	通年	集中		常勤	3
PG402	卒業研究	増子　和男	通年	集中		常勤	2
PG403	卒業研究	松川　覚	通年	集中		常勤	1
PG404	卒業研究	松坂　晃	通年	集中		常勤	5
PG405	卒業研究	松村　初	通年	集中		常勤	5
PG406	卒業研究	丸山　広人	通年	集中		常勤	3
PG407	卒業研究	三輪　壽二	通年	集中		常勤	2
PG408	卒業研究	村野井　均	通年	集中		常勤	7
PG409	卒業研究	村山　朝子	通年	集中		常勤	3
PG410	卒業研究	望月　厚志	通年	集中		常勤	3
PG411	卒業研究	守屋　英子	通年	集中		常勤	0
PG412	卒業研究	矢島　裕介	通年	集中		常勤	1
PG413	卒業研究	山口　哲人	通年	集中		常勤	4
PG414	卒業研究	山本　勝博	通年	集中		非常勤	0
PG415	卒業研究	吉井　豊	通年	集中		常勤	4
PG416	卒業研究	吉野　聡	通年	集中		常勤	5
PG417	卒業研究	脇岡　宗一	通年	集中		非常勤	0
PG418	卒業研究	渡邊　將司	通年	集中		常勤	5
PG419	卒業研究	渡部　玲二郎	通年	集中		常勤	2
PG420	卒業研究	宮﨑　尚子	通年	集中		常勤	7
PG421	卒業研究	宮本　直樹	通年	集中		常勤	6
PG422	卒業研究	安原　正貴	通年	集中		常勤	2
PG423	卒業研究	神永　直美	通年	集中		常勤	2
PG424	卒業研究	島田　裕之	後期	集中		常勤	1

2-2 開設授業科目の各種比率

学校教育教員養成課程

				(特別支援学校教育コース)	
専門科目	専任担当科目数		637		30
	兼任担当科目数		68		2
	全体の科目数及び専任割合	705	90.4%	32	93.8%

養護教諭養成課程

専門科目	専任担当科目数		40
	兼任担当科目数		1
	全体の科目数及び専任割合	41	97.6%

情報文化課程

専門科目	専任担当科目数		106
	兼任担当科目数		10
	全体の科目数及び専任割合	116	91.4%

人間環境教育課程

専門科目	専任担当科目数		275
	兼任担当科目数		27
	全体の科目数及び専任割合	302	91.1%

2-3　単位互換協定及び大学独自の単位認定の状況

				学校教育教員養成課程	養護教諭養成課程	情報文化課程	人間環境教育課程	計
単位互換協定に基づくもの	認定者数(a)			2	1	1	0	4
	他大学	認定単位総数（b）	専門科目	0	0	0	0	0
			専門以外	6	2	7	0	15
	短期大学	認定単位総数（c）	専門科目	0	0	0	0	0
			専門以外	0	0	0	0	0
	1人当たり平均認定単位数(b＋c) /a			3.0	2.0	7.0	0.0	3.8
単位互換協定以外のもの	認定者数(d)			7	1	0	1	9
	他大学	認定単位総数(e)	専門科目	8	0	0	0	8
			専門以外	14	0	0	0	14
	短期大学高専含む・その他	認定単位総数(f)	専門科目	6	33	0	2	41
			専門以外	4	13	0	0	17
	1人当たり平均認定単位数(e＋f) /d			4.6	46.0	0.0	2.0	9

3　大学院教育学研究科のカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシー

3-1　障害児教育専攻

3-1-1　カリキュラム・ポリシー

障害児教育専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

①教員としての専門性を満たすに十分な、障害をもつ児童・生徒についての教育学的、心理学的、生理学的な知識を身に付けさせる。

②特別なニーズをもつ子どもたちに対応できる専門的な実践力を身に付けさせる。

③特別支援教育の課題に対応し、指導・援助の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。

④個々の児童・生徒、学校の実情に沿った特別支援教育を展開できる力を身に付けさせる。

3-1-2　ディプロマ・ポリシー

障害児教育専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

・教員としての高い専門性を満たすに十分な、障害をもつ児童・生徒についての教育学的、心理学的、生理学的な知識を有している。

・特別なニーズをもつ子どもたちに対応できる専門的な実践力を有している。

・特別支援教育に活かせる研究を行う能力を有している。

・専門的知識と研究能力を活かして特別支援教育を行うことができる能力を有している。

3-2　教科教育専攻

3-2-1　カリキュラム・ポリシー

教科教育専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

①教科内容について、教員としての専門性を満たすに十分な知識を身に付けさせる。

②教材化と教育方法についての専門的知識と高い実践力を身に付けさせる。

③教育内容の深化・変化に対応し、教科指導の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。

④児童・生徒、学校の実情に合わせた教科指導を展開できる力を身に付けさせる。

3-2-2　ディプロマ・ポリシー

教科教育専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

・教員としての高い専門性を満たすに十分な、教科内容についての知識を有している。

・教科における教材化と教育方法についての専門的知識と高い実践力を有している。

・教科教育に活かせる研究を行う能力を有している。

・専門的知識と研究能力を活かして教科教育を行うことができる能力を有している。

3-3　養護教育専攻

3-3-1　カリキュラム・ポリシー

養護教育専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

①養護教諭としての専門性を満たすに十分な、児童・生徒の心身の健康に関する専門的知識

と学校教育における多様な課題を理解させる。
②児童・生徒の状況を把握し、発達段階や特性に応じて、心身の健康に関する課題に適切に対応できる専門的な実践力を身に付けさせる。
③課題の変化に対応し、指導・援助の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。
④児童・生徒、学校の実情に沿って、養護教諭としての活動を展開できる力を身に付けさせる。

3-3-2　ディプロマ・ポリシー
養護教育専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。
・養護教諭としての高い専門性を満たすに十分な、児童・生徒の心身の健康に関する専門的知識障を有し、学校教育における課題を理解している。
・児童・生徒および学校の状況に応じて、心身の健康に関する課題に適切に対応できる専門的な実践力を有している。
・養護教諭としての活動に活かせる研究を行う能力を有している。

3-4　学校臨床心理専攻

3-4-1　カリキュラム・ポリシー
学校臨床心理専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。
①こころの問題の専門家としての専門性を満たすに十分な臨床心理学的な知識を身に付けさせる。
②こころの問題の多様性及びその変化に対応できる実践力を身に付けさせる。
③こころの問題の様々な変化に対応し、心理学的な支援の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。

3-4-2　ディプロマ・ポリシー
学校臨床心理専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。
・教育をはじめとする様々な分野における多様なこころの問題への心理学的援助に関わる実践と研究を専門的に行う力を有している。
・こころの問題に関する様々な分野において、こころの問題に取り組む専門家としての見識と専門的技能を有し、それぞれの分野において社会の発展に寄与することができる力を有している。

3-5 教育実践高度化専攻

3-5-1　カリキュラム・ポリシー
教育実践高度化専攻（専門職学位課程）では，以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。
①　共通科目としての５領域（「教育課程の編成及び実施に関する領域」「教科等の実践的な

指導方法に関する領域」「生徒指導及び教育相談に関する領域」「学級経営及び学校経営に関する領域」「学校教育と教員の在り方に関する領域」）に加えて，「校内組織作りに関する領域」によって学校全体に貢献できる力を育成するとともに，各コース（学校運営，教育方法開発，児童生徒支援）の専門科目及び実習科目によって，教育者としての使命感と豊かな人間性を有し，子ども理解に基づく高度な専門性を有する実践力を身に付けさせる。

② 知識基盤社会における変化の激しい教育現場において，高度な洞察力に基づいて学校実践の課題を多面的・多角的視点で捉える知識と理解力を身に付けさせる。

③ 以下のような高度専門職業人としての知識，技能及び自立的に課題を発見し，解決できる実践力を身に付けさせる。また，学校現場における実習と省察を重視し，研究者教員と実務家教員による指導によって，理論と実践の架橋・往還を図る。

a）スクールリーダーとしてビジョンを形成し，学校経営の課題を構築しながら，教育上の問題解決を行うマネジメントの実践力

b）授業実践上の課題を洞察し，自らの実践を省察しながら，児童・生徒理解に根ざした授業を開発・改善する高度な実践力

c）児童生徒の心の状態を察知し，その背景要因を含めて見立てながら，環境を調整することで介入し，支援する実践力

④ 専門的知識・技能を活かして，同僚教師や保護者・地域とともに教育課題の解決に取り組む協働性を身に付けさせる。

3-5-2　ディプロマ・ポリシー

教育実践高度化専攻（専門職学位課程）では，以下が認められる場合，修了を認定し，教職修士（専門職）の学位を授与する。

① 使命感を持ち，子ども理解に基づく高度な専門性を有し，教育者として資質能力に優れた人間性を有している。

② 知識基盤社会における変化の激しい教育現場において，高度な洞察力に基づいて学校実践の課題を多面的・多角的視点で捉える知識と理解力を有している。

③ 以下のような高度専門職業人としての知識，技能及び自立的に課題を発見し，解決できる実践力を有している。

a）スクールリーダーとしてビジョンを形成し，学校経営の課題を構築しながら，教育上の問題解決を行うマネジメントの実践力

b）授業実践上の課題を洞察し，自らの実践を省察しながら，児童・生徒理解に根ざした授業を開発・改善する高度な実践力

c）児童・生徒の心の状態を察知し，その背景要因を含めて見立てながら，環境を調整することで介入し，支援する実践力

④ 専門的知識・技能を活かして，同僚教師や保護者・地域とともに教育課題の解決に取り

組む協働性を有している。

4　茨城大学教育学研究科の教育内容と方法

以下は茨城大学教育学研究科「大学院学生便覧」から引用した。

4-1　概要

4-1-1　茨城大学大学院教育学研究科を運営するに当たって準拠する規則

学校教育法に基づく大学院設置基準（昭和 49 年 6 月 20 日　文部省令第二十八号）
茨城大学学則
茨城大学大学院学則（以下「大学院学則」）
茨城大学学位規則（以下「学位規則」）
茨城大学大学院教育学研究科規則（以下「研究科規則」）
学位論文の審査及び最終試験実施要項（以下「学位論文審査要項」）
その他各種申し合わせ事項、及び各種ガイドライン等

この便覧は、それらから学生に必要と思われる内容を編集したものである。

4-1-2　教育学研究科の組織構成

茨城大学大学院教育学研究科は、5 専攻 14 専修で構成されている（研究科規則第３条）。

（修士課程）

障害児教育専攻	障害児教育専修
教科教育専攻	国語教育専修
	社会科教育専修
	数学教育専修
	理科教育専修
	音楽教育専修
	美術教育専修
	保健体育専修
	技術教育専修
	家政教育専修
	英語教育専修
養護教育専攻	養護教育専修
学校臨床心理専攻	学校臨床心理専修

（専門職学位課程）

教育実践高度化専攻	学校運営コース
	教育方法開発コース
	児童生徒支援コース

4-1-3　教育学研究科の運営体制（研究科共通）

教育学研究科の諸事項は大学院教育学研究科教員で組織する研究科委員会で審議し、決定する。各専修には専修を代表する専修主任と専修関係の諸事項を担当する専門委員がいる。種々の専門的事項については、各専修の専門委員で構成する専門委員会が審議し、研究委員会に提案する。

4-1-4　主指導教員・副指導教員（修士課程）

学生には、その研究主題に応じ、指導教員を定める（研究科規則第４条）。各専修は年度当初に学生の希望や指導体制を考慮して、主指導教員１名、副指導教員２名以上を決め、所定書式で提出する。大学院教員には指導教員と授業担当教員との区別がある。学生の研究指導と授業をするのが指導教員、授業をするのが授業担当教員である。各専修で確認すること。主指導教員は当該専攻・専修の指導教員の中から選ぶ。副指導教員は研究主題との関係で適切と判断できれば、他専攻・他専修の指導教員・授業担当教員でもよい。

4-1-5　指導体制（専門職学位課程）

学生には、主担当教員と、実習における実習指導大学教員（アドバイザー）及び実習調整大学教員（コーディネーター）を定める。

日常的に連絡の窓口になったり、緊急時に連絡したりするなど、主担当教員が中心となって学生を支援する。また、実習では、実習指導大学教員（アドバイザー）及び実習調整大学教員（コーディネーター）が協力して実習校と連携を取ることで学生への指導・支援を行う。

また講義科目等における指導体制については、課題や内容によって柔軟な形態をとることで、より効果の高い指導を実施する。例えば、各コースで設定されている「課題研究Ⅰ～Ⅳ」では、実習内容を振り返ったり、様々な課題について議論したりしながら、各コースの専任教員と学生が、チームを組んで協議を行ったり、コース全体として協議を行う。

4-1-6　履修方法

（修士課程）

後掲の「研究科規程　別表３」の各専修備考欄に指定された授業科目を履修する（研究科規程第 6 条）。履修する授業科目は必修科目と選択科目（学校臨床心理専修は選択必修科目）とに分かれる。各専修によって指定が違うので別表で確認すること。

ただし、研究科規程別表記載の授業科目のすべてが開講されているとは限らないので注意すること。開講授業科目は本便覧所収の「開講授業科目一覧」に掲載されている。「開講授業科目一覧」で授業科目は各種の科目群「分野」に分類されている。また、再度履修して単位を累加できる授業科目とできない授業科目の区別も示されている。

修了に必要な最低単位は別表備考欄で指定された授業科目 34 単位である（下表及び研究科規程別表参照）。専修毎にバランスの取れた複数の履修モデルを提供しているので、それ

を参考に計画をたてること。前学期または後学期始めに、該当授業の担当教員に履修の承諾を得て、履修科目申告票を提出する。

専　攻			障害児教育	教科教育	養護教育	学校臨床心理
必　修		研究科共通科目 a 群	4	4	4	
選択必修	共通科目	大学院共通科目から	2	2	2	
		研究科共通科目 b 群から	2	2	2	
	専攻科目	障害児教育に関する科目から	１２			
		教科教育に関する科目から	2	１２ (国語教育専修は１４)		
		養護教育に関する科目から			１４	
		学校臨床に関する科目から				１６
選択（研究科内の科目から） ※学校臨床心理専攻のみ専修内の科目から			８＊	１０＊ (国語教育専修は８)	８＊	※１４
特別課題研究（必修）			4	4	4	4
修了要件単位合計			３４	３４	３４	３４

学校臨床心理専修の開講科目のうち、＊印のついている科目を除く。

また、他研究科での授業科目（大学院共通科目を除く）は自由単位（修了要件にしない）として認める。その履修は、前もって当該授業の担当教員及び主指導教員の承諾を得ること。履修を研究科委員会が了承して単位として認められる。

また、教員免許取得等の関係で学部の科目等履修生（単位取得をする）になる場合、在学中 24 単位の修得を認める（科目数は不問とする）。

（専門職学位課程）

後掲の「研究科規程　別表３」の備考欄に指定された授業科目を履修する（研究科規程第 6 条）。履修する授業科目は必修科目と選択科目とに分かれる。各コースによって指定が違うので別表で確認すること。

ただし、研究科規程別表記載の授業科目のすべてが開講されているとは限らないので注意すること。開講授業科目は本便覧所収の「開講授業科目一覧」に掲載されている。また、再度履修して単位を累加できる授業科目とできない授業科目の区別も示されている。

修了に必要な最低単位は別表欄（研究科規程別表参照）で指定された授業科目４６単位である。コース毎にバランスの取れた履修モデルを提供しているので、それを参考に計画をたてること。前学期または後学期始めに、該当授業の担当教員に履修の承諾を得て、履修科目申告票を提出すること。

また、他研究科での授業科目（大学院共通科目を除く）は自由単位（修了要件にしない）

として認める。その履修は、前もって当該授業の担当教員及び主担当教員の承諾を得ること。履修を研究科委員会が了承して単位として認められる。

また、教員免許状取得等の関係で学部の科目等履修生（単位取得をする）になる場合、在学中 24 単位の修得を認める（科目数は不問とする）。

4-1-7　試験及び成績評価（研究科共通）

履修科目の単位の授与は、試験その他の方法によって授業科目の担当教員が行う。（研究科規則第１０条）授業科目の試験又は研究報告書等の成績評価は、100 点をもって満点とし、A+（90 点以上）、A（80 点以上 90 点未満）、B（70 点以上 80 点未満）、C（60 点以上 70 点未満）及び D（60 点未満）の評語で表し、A+、A、B 及び C を合格とする。（同１１条）。

その評価基準は表の通りである。各授業科目の評価方法は、「教務情報ポータルシステム」のシラバスの「成績の評価方法」欄を参照すること。

前学期の科目は 10 月上旬、後学期の科目は年度末に学生各自が「教務情報ポータルシステム」から成績一覧を印刷し確認すること。

区分	点数	評価の内容
Ａ＋	90～100	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
Ａ	80～89	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
Ｂ	70～79	到達目標と学修成果を概ね達成している。
Ｃ	60～69	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
Ｄ	0～59	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

以上Ａ＋～Ｄの評価の他に、「欠試」がある。試験欠席又は報告書未提出の場合は「欠試」となる。授業の出席時数が総授業数の３分の２に達しない場合は、試験を受けても単位は認定されずＤ評価となる。追試験は研究科委員会の議を経て行われる（研究科規則第１０条２）。追試験はやむを得ない事由のある「欠試」の場合のみに認められる。一度単位が認定された評価は再履修しても変更できない。Ｄ評価、欠試の場合は再履修ができる。単位累加可の授業以外は、既に単位が認定された授業を再履修しても単位は認定されない。印刷し交付された成績に関して説明を希望する場合は、当該教員又は学務第二係の相談窓口に申し出ることができる。

4-1-8　修了研究としての学位論文（修士課程）

特別課題研究で指導を受け、指定された期限までに学位論文（大学院学則に規定された特定課題の研究成果を含む）を提出する（研究科規則第 12 条）。学位論文の審査会は所属専攻の指導教員の１名と研究科内の内容に関係する教員２名以上をもって組織される（学位規則第 12 条の２）。審査員は原則として主指導教員と副指導教員２名である。学位論文は、別に定める評価基準と審査方法により可・不可の二種に評価される。なお、前述の「大学院学則に規定された特定の課題の研究成果」とは、演奏・演技・作品及び関連論文を指す。

各専修における学位論文に関する基準等については、「Ⅳ 各専修の履修計画指針」を参照すること。

4-1-9　最終試験と学位論文の公開（修士課程）

最終試験は学位論文を中心として､それに関連する事項について行う(学位規則第 14 条)。学位論文は各専修における発表会等で公開する。合格した学位論文は、研究科で刊行する抄録集に概要を掲載できる。その際、国立教育政策研究所の教育情報検索システムによる電子化を了承する。

4-1-10　修了要件と学位

（修士課程）

研究科に２年以上在籍し、研究科指定の科目 34 単位修得し、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すると修了でき、修士（教育学）が与えられる（大学院学則第 21 条の２）。在籍期間については１年、３年と例外的制度がある（研究科規則第 9 条、第 14 条参照）。

（専門職学位課程）

研究科に２年以上在学し、研究科指定の科目について４６単位修得することとする。（研究科規程第 14 条の 2 参照）

大学院の課程を修了した者には、教職修士（専門職）が与えられる（大学院学則第 21 条の２）。在籍期間については１年、３年と例外的制度がある（研究科規程第 9 条、第 14 条参照）。

4-1-11　学生相談の体制（研究科共通）

学生が学習、経済、進路、人間関係、その他各種困難な事態に直面した場合は、専修主任、専修専門委員に相談されたい。また、専修を超えた研究科全体としての相談窓口も設けているので、そちらへ相談したい場合は、学務第二係の相談受付窓口に申し出ること。秘密は厳守される。

4-1-12　奨学金・授業料免除・奨学金返還免除（研究科共通）

日本学生支援機構の奨学金貸与や授業料免除を希望する学生は、年度当初に募集要項を配布しているので所定の窓口に取りに行くこと。また、日本学生支援機構の奨学金貸与を受けた者のうち、特に優れた業績をあげた者を奨学金返還免除候補者として大学が推薦する制度がある。推薦を希望する者には第２年度の１２月頃に申請書を配布するが、第１年度から条件に合うように留意すること。

4-1-13　学位論文の審査及び最終試験実施要項

（昭和 63 年 12 月 21 日教育学研究科委員会決定）

1.　趣旨

修士（教育学）の学位授与に関しては、茨城大学大学院学則、茨城大学学位規則（以下「学位規則」という。）及び茨城大学大学院教育学研究科規則（以下「教育学研究科規則」という。）によるものほか、この要項による。

2.　学位論文審査

(1) 論文の提出資格

所属専修に１年以上在学し、修士課程修了見込みの者。

(2) 論文の提出期限

１月３１日（９月修了予定の者については、７月３１日）とする。（提出日が土・日曜日にあたる場合は次の修業日とする。）

(3) 論文の提出部数

１編３部とする。（正本１部、副本２部）

(4) 論文の提出方法

論文には論文要旨（2、000 字以内）及び論文審査願を添付し、指導教員の承認を得て、研究科長に提出する。

ただし、教育学研究科規則第９条第１項の規定に基づき、専修領域によって特定の課題についての研究作品をもって代える場合は、その関連論文を添えて提出する。

(5) 論文審査会・審査員

学位規則第 12 条の規定に基づき審査会を設置する。審査員は原則として主指導教員を主査、副指導教員２名を副査とする。各専修においては審査の一環として、発表会等論文内容を公開する場を設けるものとする。

(6) 評価

学位論文の評価は可・不可の二種とし、教育に関する優れた知見を修得したことが認められ、学位論文が次のいずれかに該当する場合を可とする。

①高度な研究又は実践の能力を修得したと認められる。

②修士課程修了時の研究論文としても妥協性、または独創性が認められる。

(7) 学生への明示

この要項に基づいて各専修で設定する学位論文及び茨城大学大学院学則第２２条に規定された「特定の課題」に関する評価基準、審査方法及び最終試験の方法等については、該当学生にあらかじめ明示するものとする。

3.　論文題目の変更

論文題目を変更する場合は、指導教員の承認を得て、研究科長に届出なければならない。

4.　最終試験

最終試験は、学位規則第 14 条の規定に基づき実施するものとする。

5.　論文の審査及び最終試験の期日

論文の審査及び最終試験は、2 月 20 日（９月修了予定の者については、８月末日）まで　に終了し、審査会はその結果を文書をもって研究科委員会に報告しなければならない。（期日が土・日曜日にあたる場合は前の修業日とする。）

6.　論文の保管

審査に合格した論文の１部は、教育学研究科に保管する。

7.　その他

この要項によりがたいときは、その都度、研究科委員会に付議し決定する。

4-2　共通科目の履修について

4-2-1　大学院授業科目

茨城大学大学院は、知識基盤社会の構築を担う高度専門職業人養成と知識基盤社会を支える高度で知的な素養のある人材の育成をめざしています。そのために、専門分野に関する高度の専門的知識および能力を習得するとともに、幅広い学識と専門分野に関連する基礎的素養を培うことを目標としています。これらの目標を実現するため、大学院授業科目は次のような科目で構成されています。

(1)　共通科目

1) 大学院共通科目：幅広い学識と俯瞰的視野及び職業的素養などを涵養するための科目です。

2) 研究科共通科目：教育学研究科が開講する科目で、専門に近い領域で基盤的な学識や素養を涵養するための科目です。

(2)　専攻科目

専門分野に関する高度の専門的知識および能力を習得するための科目です。

(3)　独立及び横断型プログラム等の科目

研究科や専攻をまたぐ横断的分野や特定の職種に特化した分野の科目です。プログラムを修了すると「修了認定証」が交付されます。

4-2-2　修了要件

教育学研究科の各専攻を修了するためには、教育学研究科規則に示した３４単位以上を

修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、学位論文の最終審査に合格することが必要です。

学校臨床心理専攻を除く各専攻においては、大学院共通科目２単位以上、研究科共通科目６単位以上（ａ群：２科目４単位が必修、ｂ群：どちらか１科目２単位を選択必修）の修得が必要です。（学校臨床心理専攻においては、大学院共通科目および研究科共通科目の修得は修了要件に含まれません。）

4-2-3　共通科目の授業科目

科目群		科目名	単位	担当教員
大学院共通科目		地球環境システム論Ⅰ	1	横木、北
		地球環境システム論Ⅱ	1	山村、岡田
		持続社会システム論Ⅰ	1	中川他
		持続社会システム論Ⅱ	1	田村、蓮井
		人間システム基礎論Ⅰ	1	伊藤、小原
		人間システム基礎論Ⅱ	1	上地、関、阿部
		学術英会話	2	非常勤講師
		国際コミュニケーション基礎	2	鈴木
		研究と教育-知の往還をめぐって-	2	教育学部教員
		科学と倫理	2	曽良
		実学的産業特論	2	非常勤
		学術情報リテラシー	1	羽渕
		霞ヶ浦環境科学概論	1	黒田、吉田他
		原子科学と倫理	1	菊地
		地域サステイナビリティ農学概論	1	小松崎他
		食料の安定生産と農学	1	新田
		実践国際コミュニケーション	2	鈴木
		先端科学トピックスＡ	1	工学部教員
		先端科学トピックスＢ	1	工学部教員
		感性数理工学特論	1	湊
		知的所有権特論	1	梅比良
		バイオテクノロジーと社会	1	安西他
研究科共通科目	ａ群	地域教育資源フィールドスタディ	2	君塚、小林
		授業展開ケーススタディ	2	君塚他
	ｂ群	教科コラボレートケーススタディ	2	関係教員
		学校教育総合研究	2	村野井、佐藤、望月
	ｃ群	アクティブ・ラーニングの理論と実践	2	小川
		学校教育と現代社会	2	佐藤
		ライフキャリア論	2	望月
		教育方法学特論	2	未定
		認知学習心理学	2	関
		特別支援教育実践論	2	新井
		小学校英語演習	2	君塚他
	ｂ群	サステイナビリティ教育特論Ⅰ	1	郡司他
		サステイナビリティ教育特論Ⅱ	1	郡司他
		サステイナビリティ教育演習Ⅰ	1	関係教員
		サステイナビリティ教育演習Ⅱ	1	関係教員
		サステイナビリティ教育演習Ⅲ	1	関係教員

4-2-4　履修上の注意

(1)　大学院共通科目の履修申告

学年または学期の始めに、該当授業の担当教員に履修の承諾を得て、履修科目一覧を研究

科長に提出して下さい。該当授業の担当教員に必要事項を記入して提出した履修科目申告票が受理されれば、履修の承諾となります。履修科目一覧は専修主任及び主指導教員の承諾を得て学務第二係へ提出して下さい。

(2)　大学院共通科目は、基本的には、３キャンパス遠隔講義として同時開講しますので、開講時間やそれぞれのキャンパスでの受講する教室に注意して下さい。

(3)　教育職員免許状（専修免許状）の取得希望者は、免許の取得に必要な単位数に大学院共通科目を含めることはできませんので、注意して下さい。

4-3　サステイナビリティ学教育プログラムの履修について

4-3-1　サステイナビリティ学教育プログラムの履修について

(1)　サステイナビリティ学教育プログラムの趣旨

茨城大学は、平成 18 年 5 月に「地球変動適応科学研究機関（ICAS：Institute for Global Change Adaptation Science）」を設置し、東京大学を基幹校とする「サステイナビリティ学連携研究機構 (Integrated Research System for Sustainability Science: IR3S)」に主要５大学（他に、京都大学、大阪大学、北海道大学）の一員として参加、「アジア・太平洋の地域性を生かした気候変動への適応」を研究テーマに、全学をあげて、地球環境と社会の持続性（サステイナビリティ）を確保するための新しい学問の創造をめざしています。教育面では、平成 21 年４月から本学全研究科に共通した「サステイナビリティ学教育プログラム」を創設し、サステイナビリティ学研究の成果を生かしつつ、アジア・太平洋地域の現場の問題解決を担う人材育成を行っています。

環境問題やエネルギー・資源の不足、水・食料の逼迫、人口問題などを解決して、社会の持続性（サステイナビリティ）をいかに確保するかは現代の大きな課題になっています。本教育プログラムは、基盤科目や海外及び国内での現場演習を通して、これらの問題を把握する俯瞰的視点と専門分野の知識をつなぐ分野横断的な勉学の機会を提供します。

教育学研究科で実施する「サステイナビリティ学教育プログラム」では、上記の全学の目的に加え、あらゆる教育的場面において、サステイナビリティの視点をもって活動ができる以下の人材を育成します。

・地球環境問題、地域環境問題など、持続可能な社会を実現するための諸課題に関する俯瞰的・横断的知識をもつ。
・学校教育や生涯学習等あらゆる教育機会において、持続可能な社会にむけた教育（Education for Sustainable Society）を自ら計画・実施する意欲、技能、知識をもつ。
・持続可能な社会を実現する観点から、未来を生きる次世代の構成員を育成する高い意識をもつ。

当該プログラムの修了要件を満たした院生には、教育学研究科長名で「教育学研究科サステイナビリティ学プログラム修了証」が与えられます。また、IR3S 主要５大学は共同教育プログラムを設置し、この要件を満たした院生には、共同教育プログラム修了認定証が授与されます。この運営は、平成 22 年度から一般社団法人「サステイナビリティ・サイエンス・

コンソーシアム（SSC）」に引き継がれ、認定証は「SSC 共同教育プログラム修了認定証」になります。

(2)　平成２８年度教育学研究科「サステイナビリティ学プログラム」科目一覧

科目区分		科目名	単位	SSC 共同教育プログラム	必要単位数
コア科目	基盤科目	サステイナビリティ学最前線（必修）	2	「俯瞰型科目」	2
		地球環境システム論 I	1●		6
		地球環境システム論 II	1●		
		持続社会システム論 I	1●		
		持続社会システム論 II	1●		
		人間システム基礎論 I	1●		
		人間システム基礎論 II	1●		
	演習科目	国際実践教育演習	2		
		国内実践教育演習	2		
		ファシリテーション能力開発演習 I	1		
		ファシリテーション能力開発演習 II	1		
		サステイナビリティ学インターンシップ	2		
専門科目	教育学研究科専門科目	サステイナビリティ教育特論 I（＊）	1●	「選択科目」	1
		サステイナビリティ教育特論 II（＊）	1●		4
		サステイナビリティ教育演習 I	1●		
		サステイナビリティ教育演習 II	1●		
		サステイナビリティ教育演習 III	1●		
		地域教育資源フィールドスタディ	2●		
		地域生態学特論	2●		
		食物学特論	2●		
		被服学特論	2●		

（＊）「サステイナビリティ教育特論I」または「サステイナビリティ教育特論II」を必ず履修する。

（●）●印を付した科目のみ修了要件としてカウントされる。それ以外は修了要件にならないので注意すること。

(3)　プログラムの修了要件と履修上の注意

1)　（プログラムの修了要件）前表に示す基盤科目と演習科目から合わせて 6 単位、教育学研究科専門科目から 4 単位の合計 10 単位を履修すること。ただし、基盤科目「サステイナビリティ学最前線」はサステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム（SSC）参加大学が協力して開講する科目で、必修です。

また、「サステイナビリティ教育特論 I」または「サステイナビリティ教育特論 II」のいずれかの科目を必ず履修すること。なお、「SSC 共同教育プログラム運営規則」でいう「俯瞰型科目」及び「サステイナビリティ学関連科目」とは上の表に示すとおりです。

2)　基盤科目及び演習科目は、地球変動適応科学研究機関（ICAS）の協力の下で開講する科目です。

3)　「地球環境システム論 I」、「持続社会システム論 I」、「人間システム基礎論 I」は、本プログラムの科目かつ大学院共通科目として申告できます。

4)　「国際実践教育演習」及び「国内実践教育演習」、「サステイナビリティ教育演習 III」を履修する場合は、「学生教育研究災害保険」に加入し、担当教員の指示に従うこと。

5)　このプログラムの履修を希望する者は、指導教員と相談し了解を得た上で、別紙「サステイナビリティ学プログラム履修届」を指定された期日までに学務第二係に提出して下さい。

6)　修了要件を満たした学生には、教育学研究科長名で「教育学研究科サステイナビリティ

学プログラム修了証」が与えられます。また、５大学で共通の認定証「SSC 共同教育プログラム修了認定証」が SSC での審議を経て授与されます。

7) 「教育学研究科サステイナビリティ学プログラム修了認定証」の発行申請にあたっては、別紙「サステイナビリティ学プログラム修了認定証発行願」を指定された期日までに、学務第二係に提出してください。

(4)　その他

1) 修了認定証を授与された者が、不正に修了認定を受けた事実が判明した場合は、修了の認定を取消、修了認定証を返還しなければなりません。

2) 修了認定証の再発行を受けようとする者は、研究科長に願い出てください。

4-4　教育職員免許について

（修士課程）

専修免許状の取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数は次の表１のとおりとする。ただし、専修免許状の授与資格を得ることができる者は、すでに当該免許の一種免許状を取得されている者（授与資格を得ている者を含む。）に限られる。

なお、各専攻・専修で認定を受けている免許状の種類及び教科については、表２を参照すること。

表１

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数	科目の区分
幼稚園教諭専修免許状	修士の学位を有すること	２４	教科又は教職に関する科目
小学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	２４	教科又は教職に関する科目
中学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	２４	教科又は教職に関する科目
高等学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	２４	教科又は教職に関する科目
特別支援学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること	２４	特別支援学校教育に関する科目

表２

専　攻	専　修	幼稚園教諭専修免許状	小学校教諭専修免許状	中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状	養護教諭専修免許状	特別支援学校教諭専修免許状
障害児教育	障害児教育						○
教科教育	国語教育	○	○	国語	国語		

	社会科教育		○	社会	地理歴史、公民		
	数学教育	○	○	数学	数学		
	理科教育		○	理科	理科		
	音楽教育	○	○	音楽	音楽		
	美術教育	○	○	美術	美術、工芸		
	保健体育	○	○	保健体育	保健体育		
	技術教育			技術	工業		
	家政教育		○	家庭	家庭		
	英語教育			英語	英語		
養護教育	養護教育			保健	保健	○	
学校臨床心理	学校臨床心理	○	○	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、家庭、工業、英語	○	

<u>※表２に基づき教育職員免許状を取得する場合は、Ⅲ開講授業科目（p.27）の開講授業科目一覧に記載されている各専修免許状の種類・教科毎の授業科目を２４単位以上修得するものとする。</u>

（専門職学位課程）

本専攻において、授業科目のうちから 24 単位以上の所定の単位を修得した者は、以下の専修免許状授与の所要資格（以下「授与資格」という。）を得ることができる。

ただし、専修免許状の授与資格を得ることができる者は、すでに当該免許の一種免許状を授与されている者（授与資格を得ている者を含む。）に限られる。

免許状の種類	教　科
幼稚園教諭専修免許状	
小学校教諭専修免許状	
中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業指導、英語
高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、家庭、工業、職業指導、英語
養護教諭専修免許状	

4-5　開講科目

①研究科共通科目（必修）※学校臨床心理専攻を除く。〔担当教員欄（　）書きは、当該教員の研究領域を示す。〕

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目a群	P-EDU-511	地域教育資源フィールドスタディ	2	前	水	4	講義	×	君塚淳一、小林英美	（教職）全専修免許状に対応					不可
共通科目a群	P-EDU-631	授業展開ケーススタディ	2	後	水	4	演習	×	君塚淳一	（教職）全専修免許状に対応					不可

②-1研究科共通科目（選択必修）　※学校臨床心理専攻を除く。

共通科目b群	P-EDU-511	学校教育総合研究	2	前	月	5	講義	×	村野井均、佐藤環、望月厚志	（教職）全専修免許状に対応					不可
共通科目b群	P-EDU-511	教科コラボレートケーススタディ	2	休講			講義	×		（教職）全専修免許状に対応					不可

②-2研究科共通科目（選択）　※学校臨床心理専攻を除く。

共通科目c群	P-EDU-531	アクティブ・ラーニングの理論と実践	2	前	木	2	講義	×	小川哲哉	（教職）全専修免許状に対応					不可
共通科目c群	P-EDU-511	学校教育と現代社会	2	前	集中		講義	×	佐藤　環	（教職）全専修免許状に対応					不可
共通科目c群	P-EDU-511	ライフキャリア論	2	前	集中		講義	×	望月厚志	（教職）全専修免許状に対応					不可
共通科目c群	P-EDU-511	認知学習心理学	2	前	火	2	演習	×	関　友作	（教職）全専修免許状に対応					不可
共通科目c群	P-EDU-511	特別支援教育実践論	2	前	月	1	講義	×	新井英靖	不可	（教職）対応	（教職）対応	不可	不可	不可
共通科目c群	P-EDU-511	小学校英語演習	2	前	集中		演習	×	君塚淳一　他	不可	（教職）対応	不可	不可	不可	不可
共通科目c群	P-EDU-511	小学校英語演習	2	前	集中		演習	×	君塚淳一　他	不可	（教職）対応	不可	不可	不可	不可
共通科目c群	P-EDU-511	小学校英語演習	2	前	集中		演習	×	君塚淳一　他	不可	（教職）対応	不可	不可	不可	不可

共通科目d群	P-EDU-531-SEP	サステイナビリティ教育特論Ⅰ	1	前	集中		講義	×	郡司晴元　他	不　可	不可
共通科目d群	P-EDU-531-SEP	サステイナビリティ教育特論Ⅱ	1	休講			講義	×		不　可	不可
共通科目d群	P-EDU-531-SEP	サステイナビリティ教育演習Ⅰ	1	休講			演習	×		不　可	不可
共通科目d群	P-EDU-533-SEP	サステイナビリティ教育演習Ⅱ	1	休講			演習	×		不　可	不可
共通科目d群	P-EDU-533-SEP	サステイナビリティ教育演習Ⅲ	1	休講			演習	×		不　可	不可

③大学院共通科目（選択必修） ※学校臨床心理専攻を除く。

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
大学院共通科目	KM-INS-511-SEP	地球環境システム論Ⅰ（※）	1	前	月	1	講義	×	横木裕宗、北和之	不 可					不可
	KM-SED-511-SEP	持続社会システム論Ⅰ（※）	1	後	月	1	講義	×	中川光弘	不 可					不可
	KM-MUL-511-SEP	人間システム基礎論Ⅰ（※）	1	後	水	1	講義	×	伊藤哲司、小原規宏	不 可					不可
	KM-SED-511-SEP	地球環境システム論Ⅱ（※）	1	後	金	2	講義	×	山村靖夫、岡田　誠	不 可					不可
	KM-MUL-511-SEP	持続社会システム論Ⅱ（※）	1	前	金	2	講義	×	田村誠、蓮井誠一郎	不 可					不可
	KM-INS-531-SEP	人間システム基礎論Ⅱ（※）	1	前	月	4	講義	×	上地勝、関友作、阿部信一郎	不 可					不可
	KM-ENG-513	学術英会話	2	前	水	1	講義	×	畑中泰道	不 可					不可
	KM-COM-513	国際コミュニケーション基礎	2	前	月	2	講義	×	鈴木千加子	不 可					不可
	KM-COM-613	実践国際コミュニケーション	2	前	水	2	講義	×	鈴木千加子	不 可					不可
	KM-EDS-631	研究と教育－知の往還をめぐって－	2	後	水	5	講義	×	松坂晃、小林英美、伊藤孝、片口直樹	不 可					不可
	KM-SHS-511	科学と倫理	2	前	集中		講義	×	曽良達生	不 可					不可
	KM-INS-513	実学的産業特論	2	後	水	5	講義	×	鵜殿治彦	不 可					不可
	KM-FOI-521	学術情報リテラシー	1	前	集中		講義	×	高橋修	不 可					不可
	KM-ENC-532	霞ケ浦環境科学概論	1	前	集中		講義	×	黒田久雄、吉田貢士、中里亮治、藤田昌史	不 可					不可
	KM-ETH-511	原子科学と倫理	1	後	集中		講義	×	菊地賢司	不 可					不可
	KM-PEA-511	食料の安定生産と農学	1	前	木	4	講義	×	新田洋司　他	不 可					不可
	KM-INS-511	バイオテクノロジーと社会	1	前	集中		講義	×	安西弘行、立川雅司、古谷綾子	不 可					不可
	KM-ENC-512	地域サステイナビリティ農学概論	1	後	集中		講義	×	小松崎将一、太田寛行、成澤才彦、金子信博	不 可					不可
	KM-INS-511	先端科学トピックスB	1	前	木	5	講義	×	工学部教員	不 可					不可
	KM-HUI-511	感性数理工学特論	1	後	水	2	講義	×	湊淳	不 可					不可
	KM-INS-511	知的所有権特論	1	前	集中		講義	×	梅比良正弘 他	不 可					不可

（※）印の科目は「サステイナビリティ学プログラム」にも対応した科目

④サステイナビリティ学プログラム

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	修了要件	専修免許区分					
											教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
											幼	小	中	高	養教	特別支援
基盤科目	K-INS-522-SEP	サステイナビリティ学最前線	2	前	集中		講義	×	田村誠　他	×	不 可					不可
	KM-INS-511-SEP	地球環境システム論Ⅰ(※)	1	前	月	1	講義	×	横木裕宗、北和之	×	不 可					不可
	KM-SED-511-SEP	持続社会システム論Ⅰ(※)	1	後	月	1	講義	×	中川光弘	×	不 可					不可
	KM-MUL-511-SEP	人間システム基礎論Ⅰ(※)	1	後	水	1	講義	×	伊藤哲司、小原規宏	×	不 可					不可
	KM-SED-511-SEP	地球環境システム論Ⅱ(※)	1	前	金	2	講義	×	山村靖夫、岡田誠	×	不 可					不可
	KM-MUL-511-SEP	持続社会システム論Ⅱ(※)	1	前	金	2	講義	×	田村誠、蓮井誠一郎	×	不 可					不可
	KM-INS-531-SEP	人間システム基礎論Ⅱ(※)	1	前	月	4	講義	×	上地勝、関友作、阿部信一郎	×	不 可					不可
演習科目	K-INS-531-SEP	ファシリテーション能力開発演習Ⅰ	1	前	集中		演習	×	山岸裕	×	不 可					不可
	K-INS-531-SEP	ファシリテーション能力開発演習Ⅱ	1	前	集中		演習	×	山岸裕	×	不 可					不可
	K-INS-523-SEP	国際実践教育演習	2	前	集中		演習	×	田村誠　他	×	不 可					不可
	K-INS-523-SEP	国内実践教育演習	2	前	集中		演習	×	関係教員	×	不 可					不可
	K-INS-523-SEP	サステイナビリティ学インターンシップ	2	未定				×	関係教員	×	不 可					不可
教育学研究科専門科目	P-EDU-531-SEP	サステイナビリティ教育特論Ⅰ	1	前	集中		講義	×	郡司晴元　他		不 可					不可
	P-EDU-531-SEP	サステイナビリティ教育特論Ⅱ	1	休講			講義	×	郡司晴元　他		不 可					不可
	P-EDU-531-SEP	サステイナビリティ教育演習Ⅰ	1	休講			演習	×			不 可					不可
	P-EDU-533-SEP	サステイナビリティ教育演習Ⅱ	1	休講			演習	×			不 可					不可
	P-EDU-533-SEP	サステイナビリティ教育演習Ⅲ	1	休講			演習	×			不 可					不可
	P-EDU-511	地域教育資源フィールドスタディ(※)	2	前	水	4	講義	×	君塚淳一、小林英美		(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-ENC-511-SEP	地域生態学特論	2	前	火	3	講義	×	阿部信一郎		不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-FOS-511-SEP	食物学特論	2	前	木	2	講義	○	西川 陽子		不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	P-CTS-631-SEP	被服学特論	2	前	火	2	講義	○	木村　美智子		不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可

(※)印の科目は、大学院共通科目または研究科共通科目にも対応した科目

⑤障害児教育専攻　障害児教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-EDU-531	障害学総合研究	2	後	水	2	講義	○	荒川智・細川美由紀・田原敬	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
障害児教育	P-EDU-511	障害児教育学特論Ⅰ	2	前	火	5	講義	○	教授 荒川智(障害児教育学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-EDU-631	障害児教育学演習Ⅰ	2	後	火	5	演習	○	教授 荒川智(障害児教育学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-EDU-511	障害児教育学特論Ⅱ	2	前	月	4	講義	○	准教授 新井英靖(障害児教育学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-EDU-631	障害児教育学演習Ⅱ	2	後	水	1	演習	○	准教授 新井英靖(障害児教育学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
障害児心理	P-EDU-511	障害児心理学特論Ⅰ	2	前	火	2	講義	○	准教授　細川美由紀(障害児心理学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-EDU-631	障害児心理学演習Ⅰ	2	後	火	2	演習	○	准教授　細川美由紀(障害児心理学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-EDU-511	障害児心理学特論Ⅱ	2	前	火	4	講義	○	特任教授 東條吉邦(障害児心理学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-EDU-631	障害児心理学演習Ⅱ	2	後	火	4	演習	○	特任教授 東條吉邦(障害児心理学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
障害児生理	P-BRS-511	障害児生理学特論Ⅰ	2	前	木	1	講義	○	教授 勝二博亮(障害児生理学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-631	障害児生理学演習Ⅰ	2	後	金	3	演習	○	教授 勝二博亮(障害児生理学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-511	障害児生理学特論Ⅱ	2	前	月	2	講義	○	講師　田原　敬(障害児生理学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
	P-BRS-631	障害児生理学演習Ⅱ	2	後	月	2	演習	○	講師　田原　敬(障害児生理学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不 可					不可

⑥教科教育専攻　国語教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-MUL-511	言語文化総合研究	2	前	月	4	講義	×	齋木・増子・川嶋・昌子・鈴木・宮﨑	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-EDU-511	初等国語教育授業設計	2	前	木	3	講義	×	昌子・鈴木・増子・川嶋・齋木・宮﨑	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	中等国語教育授業設計	2	後	木	4	講義	×	昌子・鈴木・増子・川嶋・齋木・宮﨑	不可	不可	(教職)国語	(教職)国語	不可	不可
国語科教育	P-EDU-531	国語科教育学特論Ⅰ	2	前	木	1	講義	×	准教授　鈴木一史(国語科教育学)	不可	不可	(教職)国語	(教職)国語	不可	不可
	P-EDU-631	国語科教育学演習Ⅰ	2	後	木	1	演習	×	准教授　鈴木一史(国語科教育学)	不可	不可	(教職)国語	(教職)国語	不可	不可
	P-EDU-511	国語科教育学特論Ⅱ	2	前	月	2	講義	×	教授 昌子佳広(国語科教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-631	国語科教育学演習Ⅱ	2	後	月	2	演習	×	教授 昌子佳広(国語科教育学)	不可	不可	(教職)国語	(教職)国語	不可	不可
国語学	P-LIN-511	古典語特論	2	前	火	5	講義	×	教授 川嶋秀之(国語学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-LIN-511	現代語演習	2	後	木	5	演習	×	教授 川嶋秀之(国語学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
国文学	P-LIT-511	近代文学特論	2	前	金	5	講義	×	准教授　宮﨑尚子(国文学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-LIT-631	現代文学研究Ⅱ	2	後	金	5	演習	×	准教授　宮﨑尚子(国文学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
漢文学	P-CHC-631	漢文学特論	2	前	火	2	講義	×	教授 増子和男(漢文学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-CHC-631	漢文学研究	2	後	月	4	演習	×	教授 増子和男(漢文学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
書道	P-EDU-531	書写書道教育研究	2	前	金	4	講義	×	教授 齋木久美(書写書道)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-631	書写書道教育演習	2	後	金	3	演習	×	教授 齋木久美(書写書道)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不　可					不可

⑦教科教育専攻　社会科教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-INS-511	社会・文化総合研究Ⅰ	2	前	水	2	講義	×	藤崎・木村(競)、田瀬	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-INS-511	社会・文化総合研究Ⅱ	2	休講			講義	×	29年度休講	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
	P-EDU-531	社会科授業設計Ⅰ	1	4Q	金	2	演習	×	教授　村山朝子(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-EDU-511	社会科授業設計Ⅱ	1	3Q	火	4	演習	×	教授　木村勝彦(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
社会科教育	P-EDU-511	初等社会科教育特論Ⅰ	1	1Q	金	2	講義	×	教授　村山朝子(社会科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	初等社会科教育特論Ⅱ	1	1Q	月	3	講義	×	教授　木村勝彦(社会科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	中等社会科教育特論Ⅰ	1	2Q	金	2	講義	×	教授　村山朝子(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-EDU-511	中等社会科教育特論Ⅱ	1	2Q	月	3	講義	×	教授　木村勝彦(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
	P-EDU-631	社会科教育演習Ⅰ	2	後	金	5	演習	○	教授　村山朝子(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-EDU-631	社会科教育演習Ⅱ	2	後	月	3	演習	○	教授　木村勝彦(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
歴史学	P-HIS-511	日本史特論	2	前	月	4	講義	×	准教授　千葉真由美(日本史)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-HIS-631	日本史演習	2	後	火	3	演習	○	准教授　千葉真由美(日本史)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-HIS-511	西欧史特論	2	前	火	1	講義	×	准教授　藤崎　衛(西欧中世史)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-HIS-631	西欧史演習	2	後	火	1	演習	○	准教授　藤崎　衛(西欧中世史)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
地理学	P-HUG-511	人文地理学特論	2	前	火	2	講義	×	教授 小野寺淳(人文地理学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-HUG-631	人文地理学演習	2	後	火	2	演習	○	教授 小野寺淳(人文地理学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-GEO-511	地誌学特論	2	前	火	4	講義	×	准教授　大島規江(地誌学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-GEO-631	地誌学演習	2	後	月	3	演習	○	准教授　大島規江(地誌学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-GEO-511	自然地理学特論	2	前	金	3	講義	×	特任教授　田瀬則雄(自然地理学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	P-GEO-631	自然地理学演習	2	後	金	3	演習	○	特任教授　田瀬則雄(自然地理学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
政治学	P-POL-511	政治学特論	2	前	火	5	講義	×	教授 賀来健輔(政治学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
	P-POL-631	政治学演習	2	後	火	5	演習	○	教授 賀来健輔(政治学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
社会学	P-SOC-631	社会学特論	2	前	木	3	講義	×	教授 岩佐淳一(社会学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
	P-SOC-631	社会学演習	2	後	木	3	演習	○	教授 岩佐淳一(社会学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
法律学	P-LAW-511	憲法特論	2	前	木	4	講義	×	准教授 中野雅紀(憲法学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
	P-LAW-631	憲法演習	2	後	木	4	演習	○	准教授 中野雅紀(憲法学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
哲学	P-ETH-511	倫理学特論	2	前	金	4	講義	×	教授 木村競(倫理学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
	P-ETH-631	倫理学演習	2	後	金	5	演習	○	教授 木村競(倫理学)	不可	不可	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					不可

※社会・文化総合研究Ⅰと社会・文化総合研究Ⅱは隔年開講

⑥教科教育専攻　数学教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-MAT-511	数学総合研究	2	前	月	2	講義	×	吉井・栗原・根本・梅津・小口・松村	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
	P-EDU-611	数学科教育授業設計	2	後	火	5	講義	×	梅津・小口・栗原	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
数学科教育	P-EDU-511	数学教育学特論	2	前	木	3	講義	×	特任教授 根本博(数学教育学)	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
	P-EDU-611	数学教育学演習	2	後	木	3	演習	○	特任教授 根本博(数学教育学)	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
	P-EDU-511	算数教育学特論	2	前	木	4	講義	×	教授　小口祐一(数学教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-611	算数教育学演習	2	後	木	4	演習	○	教授　小口祐一(数学教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
代数学	P-ALG-511	代数学特論	2	前	木	5	講義	×	准教授　吉井豊(表現論)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
	P-ALG-611	代数学演習	2	後	木	5	演習	○	准教授　吉井豊(表現論)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
幾何学	P-GEM-511	幾何学特論	2	前	金	3	講義	×	准教授　栗原博之(微分幾何学)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
	P-GEM-611	幾何学演習	2	後	金	3	演習	○	准教授　栗原博之(微分幾何学)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
解析学	P-ANA-511	応用数理学特論	2	前	金	2	講義	×	教授 梅津健一郎(応用解析学)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
	P-ANA-611	応用数理学演習	2	後	水	2	演習	○	教授 梅津健一郎(応用解析学)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
応用数学	P-APM-511	応用数学特論	2	前	金	4	講義	×	准教授　松村初(離散数学)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
	P-APM-611	応用数学演習	2	後	金	4	演習	○	准教授　松村初(離散数学)	不可	不可	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不　可					不可

⑨教科教育専攻　理科教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-INS-513	初等自然科学総合研究	1	1Q	月	4	講義	×	矢島・永尾・松川・青島・棗田・伊藤・上栗・阿部	不可	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-531	初等理科授業設計	1	4Q	水	2	演習	×	准教授 郡司晴元(理科教育学) 准教授　宮本直樹(理科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-INS-513	中等自然科学総合研究	1	2Q	月	4	講義	×	矢島・永尾・松川・青島・棗田・伊藤・上栗・阿部	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-EDU-511	中等理科授業設計	1	3Q	水	2	演習	×	准教授 郡司晴元(理科教育学) 准教授　宮本直樹(理科教育学)	不可	不可	(教職)理科	(教職)理科	不可	不可
理科教育	P-EDU-511	初等理科教育学特論	1	1Q	水	2	講義	×	准教授 郡司晴元(理科教育学) 准教授　宮本直樹(理科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-531	初等理科教育学演習	1	1Q	金	2	演習	×	准教授 郡司晴元(理科教育学) 准教授　宮本直樹(理科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	中等理科教育学特論	1	2Q	水	2	講義	×	准教授 郡司晴元(理科教育学) 准教授　宮本直樹(理科教育学)	不可	不可	(教職)理科	(教職)理科	不可	不可
	P-EDU-531	中等理科教育学演習	1	2Q	金	2	演習	×	准教授 郡司晴元(理科教育学) 准教授　宮本直樹(理科教育学)	不可	不可	(教職)理科	(教職)理科	不可	不可
物理学	P-PHY-531	物理学特論	2	前	火	3	講義	×	准教授 永尾敬一(素粒子物理学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-EXP-521	物理学特別実験	2	前	火	1・2	実験	×	教授 矢島裕介(物性物理学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
化学	P-CHE-531	化学特論	2	前	月	2	講義	×	教授 松川覚(化学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-CHE-521	化学特別実験	2	後	金	1・2	実験	×	准教授　青島政之(化学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
生物学	P-BIO-511	生物学特論	2	後	木	1	講義	×	准教授　棗田孝晴(動物生態学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-BIO-521	生物学特別実験	2	前	木	1・2	実験	×	准教授　棗田孝晴(動物生態学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
地学	P-EAS-511	地学特論	2	前	金	3	講義	×	教授 伊藤孝(岩石鉱物学) 准教授 上栗伸一(地質学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-EAS-521	地学特別実験	2	後	金	4・5	実験	×	教授 伊藤孝(岩石鉱物学) 准教授 上栗伸一(地質学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
科学論	P-ENC-511-SEP	地域生態学特論	2	前	火	3	講義	×	教授　阿部信一郎(水域生態学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-ENC-531	地域生態学演習	2	後	月	3	演習	×	教授　阿部信一郎(水域生態学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不　可					不可

⑩教科教育専攻　音楽教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-ART-511	初等音楽文化総合研究	2	前	水	3	講義	×	神部、谷川、山口、田中(宏)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-511	初等音楽教育授業設計	2	後	水	3	講義	×	教授 田中健次(音楽科教育学) 准教授 藤田文子(音楽科教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
音楽科教育	P-ART-511	音楽科教育研究法	2	前	月	4	講義	○	教授 田中健次(音楽科教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-611	音楽科教育特論Ⅰ	2	後	月	2	講義	○	教授 田中健次(音楽科教育学)	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
	P-ART-511	音楽科教育演習	2	前	木	3	演習	○	准教授 藤田文子(音楽科教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-611	音楽科教育特論Ⅱ	2	後	木	4	講義	○	准教授 藤田文子(音楽科教育学)	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
器楽	P-ART-521	器楽研究Ⅰ	2	前	火	4	講義	○	准教授 田中宏明(器楽)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
	P-ART-621	器楽演習Ⅰ	2	後	火	4	演習	○	准教授 田中宏明(器楽)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
	P-ART-521	器楽研究Ⅱ	2	通年	集中		講義	○	非常勤講師 脇岡宗一(器楽)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
声楽	P-ART-521	声楽研究	2	前	火	3	講義	○	教授 谷川佳幸(声楽)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
	P-ART-621	声楽演習	2	後	木	2	演習	○	教授 谷川佳幸(声楽)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
作曲・指揮法	P-ART-521	作曲・指揮法研究	2	前	火	2	講義	○	准教授 山口哲人(作曲・指揮)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
	P-ART-621	作曲・指揮法演習	2	後	月	5	演習	○	准教授 山口哲人(作曲・指揮)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
音楽学	P-ART-511	音楽学研究	2	前	金	4	講義	○	教授 神部智(音楽学)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
	P-ART-611	音楽学演習	2	後	木	3	演習	○	教授 神部智(音楽学)	不可	不可	(教科)音楽	(教科)音楽	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不 可					不可

⑪教科教育専攻　美術教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-ART-531	美術文化総合研究	2	前	金	1	講義	×	甲斐・片口・金子・小泉・向野・齋藤・島・島田	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	美術教育授業設計	2	後	金	1	演習	×	甲斐・片口・金子・小泉・向野・齋藤・島・島田	不可	不可	(教職)美術	(教職)美術	不可	不可
美術教育	P-EDU-531	美術教育研究Ⅰ	2	前	火	2	講義	○	特任教授 金子一夫(美術教育史)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-631	美術教育演習Ⅰ	2	後	火	3	演習	○	特任教授 金子一夫(美術教育史)	不可	不可	(教職)美術	(教職)美術	不可	不可
	P-EDU-611	美術教育研究Ⅱ	2	前	月	2	講義	○	教授 向野康江(芸術教育思想史)	不可	不可	(教職)美術	(教職)美術	不可	不可
	P-EDU-621	美術教育演習Ⅱ	2	後	木	3	演習	○	教授 向野康江(芸術教育思想史)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
絵画	P-ART-521	絵画研究	2	前	火	3	演習	○	准教授 片口直樹(絵画)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術	不可	不可
	P-ART-621	絵画演習	2	後	月	4	演習	○	准教授 片口直樹(絵画)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
彫刻	P-ART-521	彫刻研究	2	前	月	3	演習	○	教授 島剛(彫刻)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-621	彫刻演習	2	後	月	3	演習	○	教授 島剛(彫刻)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術	不可	不可
デザイン	P-ART-531	デザイン研究Ⅰ	2	前	金	3	講義	○	教授 島田裕之(平面デザイン)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-531	デザイン演習Ⅰ	2	後	金	3	演習	○	教授 島田裕之(平面デザイン)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術・工芸	不可	不可
	P-ART-521	デザイン研究Ⅱ	2	前	火	5	講義	○	教授　齋藤芳徳(立体デザイン)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-621	デザイン演習Ⅱ	2	後	火	5	演習	○	教授　齋藤芳徳(立体デザイン)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術・工芸	不可	不可
工芸	P-ART-521	工芸・デザイン研究	2	前	水	3	演習	○	島田裕之・齋藤芳徳	不可	不可	(教科)美術	(教科)工芸	不可	不可
	P-ART-621	工芸・デザイン演習	2	後	水	3	演習	○	島田裕之・齋藤芳徳	不可	不可	(教科)美術	(教科)工芸	不可	不可
美術理論・美術史	P-ART-631	西洋美術史研究	2	前	木	5	演習	○	教授 甲斐教行(美術理論・美術史)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-611	日本美術史研究	2	前	火	4	講義	○	教授 小泉晋弥(美術理論・美術史)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術	不可	不可
	P-ART-631	日本美術史演習	2	後	火	4	演習	○	教授 小泉晋弥(美術理論・美術史)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-631	造形芸術学	2	後	木	5	演習	○	教授 甲斐教行(美術理論・美術史)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不　可					不可

⑫教科教育専攻　保健体育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-HSS-511	保健体育科学総合研究	2	後	火	5	講義	×	日下・勝本・加藤・富樫・中嶋	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-EDU-511	体育授業設計	2	前	火	5	講義	×	吉野・渡邊・上地・大津	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
保健体育科教育	P-EDU-511	体育科教育学特論	2	前	金	2	講義	×	講師　大津展子(保健体育科教育学) 准教授 吉野聡(保健体育科教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-611	体育科教育学演習	2	後	金	2	演習	○	講師　大津展子(保健体育科教育学) 准教授 吉野聡(保健体育科教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	保健体育科教育学特論	2	前	金	4	講義	×	准教授 吉野聡(保健体育科教育学) 講師　大津展子(保健体育科教育学)	不可	不可	(教職)保健体育	(教職)保健体育	不可	不可
	P-EDU-611	保健体育科教育学演習	2	後	金	4	演習	○	准教授 吉野聡(保健体育科教育学) 講師　大津展子(保健体育科教育学)	不可	不可	(教職)保健体育	(教職)保健体育	不可	不可
体育学	P-HSS-511	体育哲学特論	2	前	金	5	講義	×	教授　加藤敏弘(体育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-611	体育哲学演習	2	後	金	5	演習	○	教授　加藤敏弘(体育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-511	体育社会学特論	2	前	水	2	講義	×	教授 日下裕弘(体育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-611	体育社会学演習	2	後	水	2	演習	○	教授 日下裕弘(体育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-511	体育史特論	2	前	月	3	講義	×	准教授　中嶋哲也(体育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-611	体育史演習	2	後	月	3	演習	○	准教授　中嶋哲也(体育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-511	コーチング論特講	2	前	火	4	講義	×	教授 勝本真(体育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-611	コーチング論演習	2	後	火	4	演習	○	教授 勝本真(体育学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
運動学	P-HSS-511	バイオメカニクス特論	2	前	木	3	講義	×	教授 富樫泰一(運動学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-611	バイオメカニクス演習	2	後	木	3	演習	○	教授 富樫泰一(運動学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-511	形態学特論	2	前	月	3	講義	×	准教授　渡邊將司(運動学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-HSS-611	形態学演習	2	後	月	3	演習	○	准教授　渡邊將司(運動学)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
学校保健	P-SCH-611	学校保健特論Ⅰ	2	前	木	1	講義	×	准教授 上地勝(学校保健)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
	P-SCH-611	学校保健管理演習	2	後	木	1	演習	○	准教授 上地勝(学校保健)	不可	不可	(教科)保健体育	(教科)保健体育	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不　可					不可

⑬教科教育専攻　技術教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-SMI-511	技術と生活総合研究	2	前	木	1	講義	×	工藤・堤・佐々木・野崎・榊・臼坂	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	P-SMI-621	技術科授業設計	2	後	木	1	講義	×	工藤・堤・佐々木・野崎・榊・臼坂	不可	不可	(教職)技術	不可	不可	不可
技術科教育	P-EDU-511	技術科教育特論Ⅰ	2	前	木	3	講義	×	教授　工藤雄司(技術科教育法)	不可	不可	(教職)技術	不可	不可	不可
	P-SMI-621	技術科教育演習Ⅰ	2	後	木	3	演習	○	教授　工藤雄司(技術科教育法)	不可	不可	(教職)技術	不可	不可	不可
電気	P-ECC-511	電気工学特論Ⅰ	2	前	木	2	講義	×	教授 榊守(電気工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	P-SMI-621	電気工学演習Ⅰ	2	後	木	2	演習	○	教授 榊守(電気工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	P-PIP-511	電気工学特論Ⅱ	2	前	火	2	講義	×	教授　佐々木忠之(電気工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	P-SMI-621	電気工学演習Ⅱ	2	後	金	2	演習	○	教授　佐々木忠之(電気工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
機械	P-DEE-521	機械工学特論	2	前	火	3	講義	×	特任教授 堤一郎(機械工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	P-SMI-621	機械工学演習	2	後	金	4	演習	○	特任教授 堤一郎(機械工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
金属	P-MEW-511	金属工学特論	2	前	火	4	講義	×	教授 野崎英明(金属工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	P-SMI-631	金属工学演習	2	後	火	4	演習	○	教授 野崎英明(金属工学)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
木材加工	P-WOW-511	木材加工学特論	2	前	木	4	講義	×	准教授　臼坂高司(木材加工)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	P-SMI-621	木材加工学演習	2	後	木	4	演習	○	准教授　臼坂高司(木材加工)	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不　可					不可

⑭教科教育専攻　家政教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-HLS-511	初等生活科学総合研究	2	前	木	3	講義	×	石島恵美子・木村美智子・乾康代・佐藤裕紀子	不可	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-HEE-521	初等家庭科授業設計	2	後	木	3	講義	×	野中美津枝・西川陽子・数井みゆき	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
家庭科教育	P-HEE-511	家庭科教育特論Ⅰ	2	前	水	1	講義	○	准教授　石島恵美子(家庭科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-HEE-631	家庭科教育演習Ⅰ	2	後	水	1	演習	○	准教授　石島恵美子(家庭科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-HEE-511	家庭科教育特論Ⅱ	2	前	金	4	講義	○	教授　野中美津枝(家庭科教育学)	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可
	P-HEE-631	家庭科教育演習Ⅱ	2	後	火	3	演習	○	教授　野中美津枝(家庭科教育学)	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可
食物学	P-FOS-511-SEP	食物学特論	2	前	木	2	講義	○	准教授 西川陽子(食物学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	P-FOS-621	食物学演習	2	後	木	2	演習	○	准教授 西川陽子(食物学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
被服学	P-CTS-631-SEP	被服学特論	2	前	火	2	講義	○	教授 木村美智子(被服学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	P-CTS-631	被服学演習	2	後	火	3	演習	○	教授 木村美智子(被服学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
住居学	P-HOS-511	住居学特論	2	前	火	4	講義	○	教授 乾康代(住居学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	P-HOS-631	住居学演習	2	後	火	4	演習	○	教授 乾康代(住居学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
保育学	P-CHO-511	児童学特論	2	前	月	3	講義	○	教授 数井みゆき(保育学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	P-CHO-631	児童学演習	2	後	月	3	演習	○	教授 数井みゆき(保育学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
家庭経営学	P-FRM-511	家族関係学特論	2	前	金	2	講義	○	准教授　佐藤裕紀子(家庭経営学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	P-FRM-621	家族関係学演習	2	後	火	2	演習	○	准教授　佐藤裕紀子(家庭経営学)	不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不　可					不可

⑮教科教育専攻　英語教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-EDS-533	言語と文化総合研究	2	後	火	3	講義	×	君塚・小林・安原	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
	P-EDS-533	英語科授業設計	2	前	火	3	講義	×	猪井・齋藤	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
英語科教育	P-EDS-533	英語教育学特論Ⅰ	2	前	木	2	講義	○	教授 猪井新一(英語教育学)	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
	P-EDS-533	英語教育学演習Ⅰ	2	後	木	2	演習	○	教授 猪井新一(英語教育学)	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
	P-EDS-532	英語教育学特論Ⅱ	2	前	金	3	講義	×	准教授 齋藤英敏(英語教育学)	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
	P-EDS-532	英語教育学演習Ⅱ	2	後	水	1	演習	○	准教授 齋藤英敏(英語教育学)	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
英語学	P-LIN-533	英語学特論Ⅰ	2	前	火	4	講義	×	講師　安原正貴(英語学)	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
	P-LIN-533	英語学演習Ⅰ	2	後	木	3	演習	○	講師　安原正貴(英語学)	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
英米文学	P-LIT-533	英米文学特論Ⅰ	2	前	月	3	講義	○	教授 君塚淳一(アメリカ文学)	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
	P-LIT-533	英米文学演習Ⅰ	2	後	火	2	演習	○	教授 君塚淳一(アメリカ文学)	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
	P-LIT-533	英米文学特論Ⅱ	2	前	月	2	講義	○	教授 小林英美(イギリス文学)	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
	P-LIT-533	英米文学演習Ⅱ	2	後	月	2	演習	○	教授 小林英美(イギリス文学)	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					不可

⑯養護教育専攻　養護教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-SCH-511	養護学総合研究	2	前	集中		講義	×	瀧澤・斉藤・石原・松坂・子川・廣原・青柳・古池	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
養護学	P-SNT-511	養護教諭論特論	2	前	木	3	講義	×	教授　斉藤ふくみ(養護学)	不可	不可	不可	不可	(養護)対応	不可
	P-SNT-621	養護教諭論演習	2	後	金	3	演習	○	教授　斉藤ふくみ(養護学)	不可	不可	不可	不可	(養護)対応	不可
	P-SCH-511	教育保健経営特論	2	前	火	2	講義	×	教授 瀧澤利行(公衆衛生学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-SCH-631	教育保健経営演習	2	後	金	4	演習	○	教授 瀧澤利行(公衆衛生学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
教育保健活動	P-BAN-511	学校救急看護学特論	2	前	水	2	講義	×	教授 廣原紀恵(看護学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-BAN-631	学校救急看護学演習	2	後	水	1	演習	○	教授 廣原紀恵(看護学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-BAM-511	学校安全特論	2	前	木	1	講義	×	教授　石原研治(学校保健)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-BAM-621	学校安全演習	2	後	木	1	演習	○	教授　石原研治(学校保健)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-SCH-511	ヘルスプロモーション論特論	2	前	金	4	講義	×	准教授　青柳直子(学校保健)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-SCH-621	ヘルスプロモーション論演習	2	後	火	2	演習	○	准教授　青柳直子(学校保健)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
教育生理学	P-CLM-511	教育保健医学特論	2	前	水	1	講義	×	教授　古池雄治(小児科学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-CLM-621	教育保健医学演習	2	後	水	2	演習	○	教授　古池雄治(小児科学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-HSS-511	健康生理学特論	2	前	月	2	講義	×	教授 松坂晃(運動生理学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-HSS-621	健康生理学演習	2	後	月	3	演習	○	教授 松坂晃(運動生理学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-CLM-511	学校疾病論特論	2	前	木	2	講義	×	教授　子川和宏(医学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
	P-CLM-621	学校疾病論演習	2	後	木	2	演習	○	教授　子川和宏(医学)	不可	不可	(教科)保健	(教科)保健	(養護)対応	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					不可

⑰学校臨床心理専攻　学校臨床心理専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
学校臨床基礎	P-PSY-511	臨床心理学特論Ⅰ＊	2	前	木	5	講義	×	教授 守屋英子(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-511	臨床心理学特論Ⅱ＊	2	前	木	3	講義	×	准教授　金丸隆太(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-511	心理療法特論　＊	2	前	木	3	講義	×	教授 守屋英子(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-511	カウンセリング特論　＊	2	後	水	2	講義	×	教授 正保春彦(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-521	臨床心理査定演習Ⅰ　＊	2	1Q	水	1･2	演習	×	守屋英子・金丸 隆太	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-521	臨床心理査定演習Ⅱ　＊	2	2Q	水	1･2	演習	×	金丸隆太･大島聖美	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-521	臨床心理基礎実習Ⅰ　＊	1	前	火	4･5	実習	×	正保春彦･大島聖美	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-521	臨床心理基礎実習Ⅱ　＊	1	後	火	4･5	実習	×	正保春彦･大島聖美	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-511	学校心理学研究法特論	2	休講			講義	○		(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-521	臨床心理研究法演習	2	休講			演習	○		(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-511	家族心理学特論	2	前	火	2	講義	×	野口康彦	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-511	認知心理学特論	2	後	火	3	講義	×	本山宏希	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-511	社会心理学特論	2	前	木	4	講義	×	石井宏典	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-511	人格心理学特論	2	休講			講義	×		(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-511	障害児臨床心理学特論	2	後	木	3	講義	○	非常勤講師　江原勝久	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-531	思春期臨床心理学特論	2	後	木	4	講義	○	講師　大島聖美	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-521	臨床心理学講読演習	2	後	木	5	講義	○	准教授 金丸隆太(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-511	精神医学特論	2	休講			講義	×	准教授　布施泰子(精神医学)	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-511	精神薬理学特論	2	前	火	3	講義	×	准教授　布施泰子(精神医学)	(教職)全専修免許状に対応					不可
学校臨床実践	P-PSY-611	発達臨床心理学特論	2	休講			講義	○		(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-611	学校教育心理学特論	2	休講			講義	×		(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-611	臨床心理行政特論	2	後	火	2	講義	○	講師　大島聖美	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-621	グループアプローチ特論　＊	2	前	集中		講義	○	教授　正保春彦(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-611	児童･生徒指導特論	2	休講			講義	○		(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-621	臨床心理実習Ⅰ　＊	1	前	木	1･2	実習	×	守屋英子・金丸 隆太	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-621	臨床心理実習Ⅱ　＊	1	後	木	1･2	実習	×	守屋英子・金丸 隆太	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-611	投映法特論　＊	2	後	水	1	講義	○	講師　大島聖美	(教職)全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-621	箱庭療法特論＊	2	前	集中		講義	×	教授 守屋英子(臨床心理学)	(教職)全専修免許状に対応					不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不　可					不可

(注意)＊印は学校臨床心理専修所属学生以外は受講不可

①共通科目（必修科目）〔全コース共通〕

科目区分	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	開講時期	曜日	講時	授業形態	単位の累加	履修年次	担当教員	専修免許区分					
											教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
											幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目（必修科目）	P-EDU-531	教育課程編成の計画と実践	2	前	月	3	演習	○	1	佐藤環	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	子ども理解にもとづく学習指導	2	前	木	1	演習	○	1	生越達、打越正貴	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	授業研究の方法と実践	2	前	火	2	演習	○	1	杉本憲子、小口祐一	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-531	教育相談の課題と支援	2	後	金	2	演習	○	1	三輪壽二、藤井とし子	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	特別支援教育の理論と実践	2	前	月	5	演習	○	1	新井英靖、打越正貴	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	学校マネジメント実践演習	2	後	木	3	演習	○	1	加藤崇英	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	学級経営実践演習	2	前	月	2	演習	○	1	藤井とし子、渡部玲二郎	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	教師のライフステージと資質向上	2	前	火	1	演習	○	1	小川哲哉	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	学校と保護者・地域の関係づくり	2	前	火	4	演習	○	1	望月厚志	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	校内研修の企画・立案と実践	2	後	金	3	演習	○	1	打越、加藤、藤井、小川、照屋、坂場、藤田、五島	対応	対応	対応	対応	対応	不可

②学校運営コース

必修科目	P-EDU-631	学校運営課題研究Ⅰ	1	前	木	5	演習	×	1	坂場、藤田、加藤、照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校運営課題研究Ⅱ	1	後	木	5	演習	×	1	坂場、藤田、加藤、照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校運営課題研究Ⅲ	1	前	木	5	演習	×	2	坂場、藤田、加藤、照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校運営課題研究Ⅳ	1	後	木	5	演習	×	2	坂場、藤田、加藤、照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-621	課題発見実習	2	前	集中		実習	×	1	坂場、藤田、加藤、照屋、小川、望月	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-621	学校運営開発実習Ⅰ	3	後	集中		実習	×	1	坂場、藤田、加藤、照屋、小川、望月、打越、村野井、佐藤	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-621	学校運営開発実習Ⅱ	5	通年	集中		実習	×	2	坂場、藤田、加藤、照屋、小川、望月、打越、村野井、佐藤	不可	不可	不可	不可	不可	不可
選択科目	P-EDU-631	教育政策の実施と評価	2	前	金	4	演習	○	1	照屋翔大	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育行財政と法規	2	後	火	4	演習	○	1	照屋翔大	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	スクール・リーダーシップとその実践	2	前	木	3	演習	○	1	加藤崇英	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校を基盤としたカリキュラム開発と実践	2	前	月	4	演習	○	1	五島浩一、照屋翔大	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校危機管理論と実践演習	2	後	月	2	演習	○	1	照屋翔大	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	地域教育経営と「開かれた学校づくり」演習	2	後	火	3	演習	○	1	望月厚志	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校における評価マネジメント実践演習	2	後	木	1	演習	○	1	加藤崇英	対応	対応	対応	対応	対応	不可

③教育方法開発コース

必修科目	P-EDU-631	教育方法開発課題研究Ⅰ	1	前	木	5	演習	×	1	生越、杉本、青柳、打越、小口、鈴木	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育方法開発課題研究Ⅱ	1	後	木	5	演習	×	1	生越、杉本、青柳、打越、小口、鈴木	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育方法開発課題研究Ⅲ	1	前	木	5	演習	×	2	生越、杉本、青柳、打越	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育方法開発課題研究Ⅳ	1	後	木	5	演習	×	2	生越、杉本、青柳、打越	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-621	課題発見実習	2	前	集中		実習	×	1	生越、杉本、青柳、打越、佐藤	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-621	教育方法開発実習Ⅰ	3	後	集中		実習	×	1	生越、杉本、青柳、打越、坂場、藤田、村野井、望月、小川、佐藤	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-621	教育方法開発実習Ⅱ	5	通年	集中		実習	×	2	生越、杉本、青柳、打越、坂場、藤田、村野井、望月、小川、佐藤	不可	不可	不可	不可	不可	不可
選択科目	P-EDU-631	教材研究と授業設計Ⅰ	2	前	金	3	演習	○	1	鈴木一史、佐藤環	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教材研究と授業設計Ⅱ	2	後	火	3	演習	○	1	小口祐一、青柳路子	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	人間形成の現代的課題と学習指導	2	前	木	4	演習	○	1	生越達、鈴木一史	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学習指導・授業づくりの課題と実践	2	後	金	4	演習	○	1	小林祐紀、村野井均	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	授業研究による授業改善	2	後	火	2	演習	○	1	打越正貴、杉本憲子	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育評価の方法	2	前	火	3	演習	○	1	杉本憲子、小林祐紀	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	子ども理解と学習支援	2	後	木	4	演習	○	1	渡部、打越、三輪、藤井、杉本、青柳、生越、丸山	対応	対応	対応	対応	対応	不可

④児童生徒支援コース

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	履修年次	担当教員	専修免許区分					
											教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
											幼	小	中	高	養教	特別支援
必修科目	P-PSY-631	児童生徒支援課題研究Ⅰ	1	前	木	5	演習	×	1	三輪、渡部、丸山、藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	児童生徒支援課題研究Ⅱ	1	後	木	5	演習	×	1	三輪、渡部、丸山、藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	児童生徒支援課題研究Ⅲ	1	前	木	5	演習	×	2	三輪、渡部、丸山、藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	児童生徒支援課題研究Ⅳ	1	後	木	5	演習	×	2	三輪、渡部、丸山、藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-621	課題発見実習	2	前	集中		実習	×	1	三輪、渡部、丸山、藤井、村野井	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-PSY-621	児童生徒支援実習	3	後	集中		実習	×	1	三輪、渡部、丸山、藤井、村野井、望月、小川、佐藤、打越、坂場、藤田	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-PSY-621	学校適応アセスメント実習	3	前	集中		実習	×	2	三輪、渡部、丸山、藤井、村野井、望月、小川、佐藤、打越、坂場、藤田	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-PSY-621	学校適応支援実習	2	後	集中		実習	×	2	三輪、渡部、丸山、藤井、村野井、望月、小川、佐藤、打越、坂場、藤田	不可	不可	不可	不可	不可	不可
選択科目	P-PSY-631	学校不適応問題への理解と対応	2	後	月	4	演習	○	1	三輪壽二、藤井とし子	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	教育カウンセリング実践と事例研究	2	後	月	3	演習	○	1	丸山広人、小林祐紀	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	子どもの発達と学習の過程	2	前	木	3	演習	○	1	村野井均、打越正貴	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	学級経営と個別指導の実践	2	前	月	4	演習	○	1	藤井とし子、丸山広人	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	教育臨床問題と道徳	2	後	火	4	演習	○	1	青柳路子、打越正貴	不可	対応	対応	不可	対応	不可
	P-PSY-631	学級集団づくりとソーシャルスキル教育の実践法	2	前	火	3	演習	○	1	渡部玲二郎、藤井とし子	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	子ども理解と学習支援	2	後	木	4	演習	○	1	渡部、打越、三輪、藤井、杉本、青柳、生越、丸山	対応	対応	対応	対応	対応	不可

（注）

授業科目一覧の専修区分に使用されている略字は以下を表す。

幼・・・幼稚園教諭専修免許状

小・・・小学校教諭専修免許状

中・・・中学校教諭専修免許状

教科（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業指導、英語）

高・・・高等学校教諭専修免許状

教科（国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、家庭、工業、職業指導、英語）

養護・・・養護教諭専修免許状

特別支援・・・特別支援学校教諭専修免許状

5　特別支援教育特別専攻科の教育内容と方法

以下は特別支援教育特別専攻科「履修要項」から引用した。

5-1　特別支援教育特別専攻科の概要

5-1-1　コース編成

特別支援教育特別専攻科は，特別支援学校教諭一種免許状取得コース及び特別支援学校教諭専修免許状取得コースからなる。

5-1-2　修了年限及び修了資格

修了年限は 1 年で，各コースの授業科目を履修基準に従って計 **34** 単位以上修得することによって修了資格を得る。

5-1-3　修了資格

(1)　修了の要件

修了に必要な修得単位数等が定められているので、履修基準にしたがって単位を修得することで修了の要件を満たすことができる。特に、必修単位および教員免許状を取得するのに必要な条件が満たされなければ、修了することができないので、細心の注意を払って履修計画を立てること。

(2)　単位の修得

単位は、授業（講義、演習等）を履修し、期末試験（及び追試験）のほか研究報告（レポート）、随時行う試験、出席及び学修の状況等により合格と判定された場合に修得できる。ただし、修了研究等の単位については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められた場合に修得できる。

(3)　学位・教員免許状

修了に必要な授業科目等を履修し、修了に必要な単位を修得した者は、教育学部教育会議において修了が認定され、修了証書が授与される。また、特別支援学校教諭免許状は修了時に授与される。

教員免許状の取得に必要な要件については、「3. 特別支援学校教諭免許状の取得」を参照すること。

5-2　履修の方法

5-2-1　履修基準

(1)　特別支援学校教諭一種免許状取得コース

「4. 授業科目の概要（一種免コース)」の授業科目より，指定された必修科目を含めて計 34 単位以上修得する。

(2)　特別支援学校教諭専修免許状取得コース

「4. 授業科目の概要（専修免コース)」の授業科目より，指定された必修科目を含めて計 34 単位以上修得する。

5-2-2　単位制度

a.　１単位の時間数

各授業科目は、45 時間の学修を必要とする内容（予習・復習などの自宅学習を含む）をもって１単位と定められている。授業は、講義・演習（１時間の授業につき、２時間の予習又は復習を必要とするもの）と実習等（２時間の授業につき、１時間の予習又は復習を必要とするもの）によって構成されている。

１単位の時間数と学期の単位設定

授業の種類	１単位時間数の内訳		週１講時	週２講時
	大学等での学習	自宅学習（予習・復習）		
講義・演習	１５時間	３０時間	２単位	４単位
実習等	３０時間	１５時間	１単位	２単位

なお、修了研究等の授業科目については、時間数ではなく学修の成果を評価して単位を授与することになっている。

b　.学期と時間割

前学期･後学期それぞれ１６週（１５週＋期末試験）にわたって授業を実施するやり方（セメスター制）と、各学期を更に半分に分け、８週で授業を完結するやり方（クォーター制）を併用して授業を開講する（学年暦参照)。

<table>
<tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td colspan="6">前学期</td><td colspan="6">後学期</td></tr>
<tr><td colspan="4">前学期授業期間</td><td rowspan="2">学外等における各種活動期間（夏季休業）</td><td rowspan="2"></td><td colspan="4">後学期授業期間</td><td rowspan="2">学外等における各種活動期間（春季休業）</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">第1クォーター授業期間</td><td colspan="2">第2クォーター授業期間</td><td colspan="2">第3クォーター授業期間</td><td colspan="2">第4クォーター授業期間</td></tr>
</table>

１日の授業時間は、５つの時間帯に分けられ、それぞれ１講時～５講時と呼ばれる。

１つの講時は単位計算上２時間と換算されるが、実際の時間は９０分である（小・中・高等学校の１時間が４５分であるのと同様)。

c.　集中授業

学期中の平日に限らず、土・日・祭日や休業期間中を含めて、集中的に授業を行うものを集中授業と呼ぶ。校外での実習や本学には不在の特定分野の専門家を招いて授業を行う場合などに行われる。具体的な実施時期などは、各授業毎に掲示される。

5-2-3　評価基準

当該科目の修得内容から、下表の「評点の基準」に基づき、「区分」に示される評価とそれに対応する「評価点」が与えられる。「区分」における各評価は右側に示される「評価の内容」が達成されたことを示す。「評価」はA^+、A、B、C、Dの評語をもって表す。評価は、C以上が合格で単位が与えられ、Dは不合格で単位は認められない。なお、授業の出席時数が、その授業の総授業時間数の３分の２に達しない者には、単位を与えない。

評価の基準

評価区分	評　点	評　価　の　内　容
A^+	90 点以上 100 点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学業成績を上げている。
A	80 点以上 90 点未満	到達目標を達成し、優れた学業成績を上げている。
B	70 点以上 80 点未満	到達目標と学業成果を概ね達成している。
C	60 点以上 70 点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D	60 点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

注意事項

①［教務情報ポータルシステム」により登録されていない授業科目の単位は認められない。

②単位の累加が認められていない授業科目を複数年度にわたって２回以上履修しても、その単位は認められない。

③成績には、「A^+」、「A」、「B」、「C」、「D」の評価のほか、「欠試」（所定の試験等を受けなかった場合）が記録される。

④一度、記録された成績は、原則として変更されない。取得した「**成績**」に記載された評価の内容などに疑問のある場合は、すみやかに教育学部学務第二係あるいは当該授業の担当教員に申し出ること。

⑤「D」、「欠試」となった授業科目は、再び履修を申告できる。ただし、一度、単位を修得した科目はその成績いかんにかかわらず、再履修することはできない（単位の累加が「可」

になっている科目を除く)。

⑥専修免コース学生は、特別支援学校一種免許状の領域追加に必要な授業に限り、一種コースの授業を履修してもよい。

5-2-4　試験

前述したとおり、授業の出席時数がその授業の総授業時間数の３分の２に達しない場合は、たとえ試験を受けたとしても、単位は認定されない。また、試験を受ける際には、学生証を携帯しなければならない。

a.　期末試験

期末試験は、セメスター授業は１６回目、クォーター授業は８回目に行う。期末試験の時間割は、原則的には授業時間割と同一であるが、諸事情により変更されることがある。詳しい時間割は期末試験開始の一週間前に掲示されるので注意すること。

b.　追試験

病気又はやむを得ない理由により定期試験を受験できなかった場合は、所定の願書に診断書その他証明書を添付のうえ、学部長に願い出て追試験の許可を得なければならない。この願い出の期間は、定期試験期間終了後一週間以内である。追試験の期日はその都度指示される。

5-2-5　修了研究

修了研究とは、各自テーマを設定して自ら行う研究活動のことをさす。通常の授業のように学修の時間は定められていないが、学修の成果が評価され、指導教員によって単位を授与することが適切であると認められた場合に単位が修得できる。

11 月に指導教員を定め教室主任の承認を得て、「修了研究題目申告票」を教育学部学務第二係に提出しなければならない。

研究の成果は、論文等によって示され、1 月 31 日（提出期限が土・日曜日にあたる場合は次の修業日とする）までに教育学部学務第二係で提出しなければならない。論文等は、「修了研究審査票」を添付し、教育学部学務第二係に提出する。

5-2-6　教育実習

特別支援学校教諭免許状を取得するためには、教育実習を行わなければならない。教育実習は所定の科目の単位を修得した後、本学部附属特別支援学校で一定期間行われる（原則として 2 週間)。また、実習には実習校での実習の前後に学内で行われる事前・事後指導等が含まれる。

詳細は、「５．教育実習」を参照すること。

5-3　特別支援学校教諭免許状の取得

5-3-1　特別支援学校教諭一種免許状

特別支援学校教諭一種免許状を取得するには、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有し、次の表に示す「特別支援教育に関する科目」の単位を修得しなければならない。

特別支援学校教諭普通免許状（特別支援教育に関する科目）

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">特別支援教育に関する科目</th><th colspan="4">最低修得単位</th></tr>
<tr><th colspan="2">一種</th><th colspan="2">二種</th></tr>
<tr><td colspan="2">特別支援教育の基礎理論に関する科目</td><td colspan="2">2</td><td colspan="2">2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">特別支援教育領域に関する科目</td><td>心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目</td><td>1</td><td rowspan="2">１６</td><td>1</td><td rowspan="2">8</td></tr>
<tr><td>心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目</td><td>2</td><td>1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目</td><td>心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目</td><td colspan="2" rowspan="2">5</td><td colspan="2" rowspan="2">3</td></tr>
<tr><td>心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習</td><td colspan="2">3</td><td colspan="2">3</td></tr>
<tr><td colspan="2">合計修得単位</td><td colspan="2">２６</td><td colspan="2">１６</td></tr>
</table>

[備考]　特別専攻科で取得できる特別支援学校教諭免許状

特別支援学校教諭一種免許状を取得するには、基礎理論に関する科目（①）、特別支援教育領域に関する科目（②、③）、特別支援教育領域外に関する科目（④）、特別支援学校での教育実習（⑤）について、それぞれ所定の単位を修得しなければならない（「5. 授業科目時間割　一種免コース」の特支免許区分の丸番号を参照のこと）。

注意しなければならないのは特別支援教育領域と領域外との区別である。特別支援学校教諭免許状には、知的障害・肢体不自由・病弱・視覚障害・聴覚障害の計 5 領域があるが、茨城大学特別支援教育特別専攻科で取得できるのは、知的障害・肢体不自由・病弱の 3 領域のみである。この 3 領域の科目から計 16 単位修得する必要がある。カリキュラム構造上特別専攻科の学生が取得する特別支援学校教諭一種免許状は､以下の 4 つのパターンである。

パターン１：知的障害領域(8)・肢体不自由領域(4)・病弱領域(4)

パターン２：知的障害領域(12)・肢体不自由領域(4)

パターン３：知的障害領域(12)・病弱領域(4)

パターン４：知的障害領域(16)

注）(　)内の数字は免許法上で取得に必要な最低単位数を示す

なお、開講授業科目との関係で、原則としてパターン１で履修計画を立てること

では、領域以外の科目とは何か？

領域以外とは、前述の 5 領域の中で取得しなかった免許状の領域のことを指す。以下に、パターンごとに領域外のものを示す。

パターン１：視覚障害・聴覚障害
パターン２：病弱・視覚障害・聴覚障害領域
パターン３：肢体不自由・視覚障害・聴覚障害領域
パターン４：視覚障害・聴覚障害・病弱・肢体不自由領域

5-3-2　特別支援学校教諭専修免許状

特別支援学校教諭専修免許状を取得するには、特別支援学校教諭一種免許状を有し、次の表の中から 24 単位以上を修得しなければならない。

授業科目	単位
障害学総合研究	2
障害児教育学特論 I・II	各２
障害児教育学演習 I・II	各２
障害児心理学特論 I・II	各２
障害児心理学演習 I・II	各２
障害児生理学特論 I・II	各２
障害児生理学演習 I・II	各２
特別支援教育コーディネーター特論	2
言語障害教育特論	2
情緒障害教育特論	2
障害児教育学特別研究 I	2
障害児教育学特別研究 II	2
障害児心理学特別研究 I	2
障害児心理学特別研究 II	2
障害児生理学特別研究 I	2
障害児生理学特別研究 II	2

5-4　授業科目の概要

5-4-1　特別支援学校教諭一種免許状取得コース

区分		授業科目	担当教員	単位	時間数	講時	必修	特支免許区分	形態	備考
特別支援教育の基礎理論に関する科目		特別支援教育原論	荒川　智	2	前・2	月・5	必	①	講義	
		障害児教育演習Ⅰ	荒川　智	2	後・2	火・3		①	演習	
		障害児教育演習Ⅱ	新井　英靖	2	後・2	月・4		①	演習	
		特別支援教育基礎演習	荒川　智・東條　吉邦	2	前・2	木・2		①	演習	
		障害者福祉論		2	休講			①	講義	
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害児の心理	細川　美由紀	2	前・2	月・4	必	②	講義	
		知的障害児の生理・病理	勝二　博亮	2	後・2	火・5	必	②	講義	
		障害児心理演習Ⅰ	細川　美由紀	2	後・2	月・4		②	演習	
		障害児心理演習Ⅱ	東條　吉邦	2	後・2	火・5		②	演習	
		障害児生理演習Ⅰ	田原　敬	2	後・2	月・1		②	演習	
		障害児生理演習Ⅱ	勝二　博亮	2	後・2	木・4		②	演習	
		肢体不自由児の心理・生理・病理	岡澤　慎一	2	前期	集中		②	講義	
		病弱児の心理・生理・病理	勝二　博亮	2	前・2	火・4		②	講義	
		知的障害児の生理機能評価法	勝二　博亮	1	4Q・2	金・5		②	講義	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障害児の教育方法	新井　英靖	2	1Q・2	火・1,2	必	③	講義	
		知的障害児教育実践論	関係教員	2	2Q・2	火・1,2	必	③	講義	
		障害児のアセスメント	細川　美由紀	2	前・2	金・3		③	講義	
		肢体不自由児の教育方法	新井　英靖	2	後・2	月・2		③	講義	
		病弱児の教育方法	新井　英靖	2	前・2	月・3		③	講義	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	聴覚障害児の心理・生理・病理	田原　敬	2	後・2	金・2	必	④	講義	
		感覚障害児の生理機能評価法	田原　敬	1	3Q・2	金・5		④	講義	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	感覚障害児の教育	田原　敬	2	前期	集中		④	講義	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	重度重複障害児教育論	新井英靖・勝二博亮	1	1Q・2	金・5	必	④	講義	重複
		発達障害児教育概論	細川　美由紀	2	後・2	金・3	必	④	講義	言語・情緒・LD・ADHD
		特別支援教育コーディネーター特論	大野真裕	2	後・2	月・3		④	講義	言語・情緒・LD・ADHD
		言語障害教育特論		2	休講			④	講義	重複・言語・情緒・LD・ADHD
		情緒障害教育特論	石田　隆雄	2	後・2	金・1		④	講義	言語・情緒・LD・ADHD
		障害児教育総論	荒川　智	1	1Q・2	火・3		④	講義	
		特別支援教育実地研究		3			必	⑤		
		修了研究	全教員	4			必			

注意：　1．修了要件：上記授業科目より３４単位以上修得すること。

2．対応する免許法の記号。

①：特別支援教育の基礎理論に関する科目。

②：特別支援教育領域に関する科目：心身に障害のある幼児,児童又は生徒の心理,生理及び病理に関する科目。

③：特別支援教育領域に関する科目：心身に障害のある幼児,児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目。

④：免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目。

⑤：心身に障害のある幼児,児童又は生徒についての教育実習。

3．特別支援教育実地研究の履修にあたっては、前期開講の専門科目を１６単位履修済であることが望ましい。

5-4-2　特別支援学校教諭専修免許状取得コース

授業科目	担当教員	単位	時間数	講時	必修	特支免許区分	形態		備考
障害学総合研究	荒川智・細川美由紀・田原敬	2	後・2	水・2			講義		
障害児教育学特論Ⅰ	荒川　智	2	前・2	火・5			講義		
障害児教育学特論Ⅱ	新井　英靖	2	前・2	月・4			講義		
障害児教育学演習Ⅰ	荒川　智	2	後・2	火・5			演習		
障害児教育学演習Ⅱ	新井　英靖	2	後・2	水・1			演習		
障害児心理学特論Ⅰ	細川　美由紀	2	前・2	火・2			講義		
障害児心理学特論Ⅱ	東條　吉邦	2	前・2	火・4			講義		
障害児心理学演習Ⅰ	細川　美由紀	2	後・2	火・2			演習		
障害児心理学演習Ⅱ	東條　吉邦	2	後・2	火・4			演習		
障害児生理学特論Ⅰ	勝二　博亮	2	前・2	木・1			講義		
障害児生理学特論Ⅱ	田原　敬	2	前・2	月・2			講義		
障害児生理学演習Ⅰ	勝二　博亮	2	後・2	金・3			演習		
障害児生理学演習Ⅱ	田原　敬	2	後・2	月・2			演習		
特別支援教育コーディネーター特論	大野真裕	2	後・2	月・3			講義		
言語障害教育特論		2	休講				講義		
情緒障害教育特論	石田　隆雄	2	後・2	金・1			講義		
障害児教育学特別研究Ⅰ	荒川　智	2	集中				演習		
障害児教育学特別研究Ⅱ	新井　英靖	2	集中				演習		
障害児心理学特別研究Ⅰ	細川　美由紀	2	集中				演習		
障害児心理学特別研究Ⅱ	東條　吉邦	2	集中				演習		
障害児生理学特別研究Ⅰ	田原　敬	2	集中				演習		
障害児生理学特別研究Ⅱ	勝二　博亮	2	集中				演習		
修了研究	全教員	4			必				

注意：１．修了要件：上記授業科目より３４単位以上修得すること。
　　２．専修免許状取得要件：上記授業科目より２４単位以上修得すること。

5-5　教育実習

5-5-1　教育実習とは

教育実習は、大学在学中に一定期間継続的に特別支援学校等での教育場面に触れることで、教師になるための知識や技能を身につけることを目的とする。具体的には、①教師や子どもが行う教育の実際を観察すること、②様々な教員としての職務に参加すること、③教材研究をして授業を実施すること、④指導計画を作成し授業以外の諸活動を行うことが含まれる。教育実習期間中には、以下の点をふまえて実習先の学校の教育活動に積極的に参加することが求められる。

① 大学での講義や、書物で学んだ教育理論の実際の教育場面への適用を試みる。
② 教育活動の実際に触れ、その全般について体験的に理解を深め、教育の本質を体得する。
③ 学生の立場で教員としての生活を疑似体験し、自己の教職適性を検証する。
④ 実際の教育実践の中で生身の教師・子どもと触れることによって、新たに教育理論を学ぶ意欲を喚起する。

5-5-2　実施時期および期間

9 月～10 月の間に 2 週間以上実施する（予定）。

5-5-3　事前指導および事後指導

教育実習の実施の前後に，事前指導および事後指導を受けなければならない。事前・事後指導を受けたものには 1 単位を授与する。また，特別支援学校の教育実習には，一定の実践経験を有することが望ましいので，教育実習の配当を 4 月～5 月上旬に行い，配当学部の子どもの実態把握や事前・事後のさまざまな指導体験を行うものとする。詳しくは教育実習オリエンテーションの際に連絡する。

6　広報

6-1　情報・広報室の活動

6-1-1　学部ウェブサイトの更新等

年度更新

6-1-2　パンフレットの発行

『茨城大学教育学部　入学案内 2018』　A4 版　30 ページ
『茨城大学教育学部　入学案内 2018 増刊号』　A4 版　4 ページ

6-1-3　オープンキャンパスに関する事項

在学生による相談コーナーの開催

教員による相談コーナーの開催
学生による模擬授業「教師の卵、授業に挑戦」の開催

6-2　進学説明会

実施日	主催・共催等	担　当　者
4 月 21 日(金)	福島県立磐城高等学校	石原研治（養護教育）
5 月 27 日(土)	（株）さんぽう	富樫泰一（人間環境）
5 月 29 日(月)	茨城県立藤代高等学校	石原研治（養護教育）
5 月 30 日(火)	（株）栄美通信	石原研治（養護教育）
6 月 20 日(火)	栃木県立さくら清修高等学校	石原研治（養護教育）
6 月 22 日(木)	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校	石原研治（養護教育）
6 月 23 日(金)	茨城県立佐竹高等学校	石原研治（養護教育）
6 月 26 日(月)	青森県立青森南高等学校	富樫泰一（人間環境）
6 月 30 日(金)	茨城県立下館第一高等学校	富樫泰一（人間環境）
7 月 1 日(土)	専修大学松戸高等学校	富樫泰一（人間環境）
7 月 17 日(月)	（株）大学通信	富樫泰一（人間環境）
7 月 17 日(月)	宇都宮大学	石原研治（養護教育）
7 月 22 日(土)	（株）フロムページ	新井英靖（障害児教育）
9 月 11 日(月)	茨城県立古河第三高等学校	石原研治（養護教育）
9 月 22 日(金)	水戸葵陵高等学校	石原研治（養護教育）
9 月 26 日(火)	（株）栄美通信	石原研治（養護教育）
10 月 5 日(木)	茨城県立牛久栄進高等学校	石原研治（養護教育）
11 月 14 日(火)	茨城県立竹園高等学校	石原研治（養護教育）